

日産純正部品



日産オリジナルナビゲーション

取扱説明書

MJ118D-W
MJ118D-A
MJE18D-EV

日産純正部品
ナビゲーション
PART No.
B8260-79985
B8260-79984
B8260-5SK80

ご使用前に必ずお読みください。

本書の見かた

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

- ◎ 道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をすることがありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制（一方通行など）に従って走行してください。
- ◎ 事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

- 本書の中で使用するマークと意味は次のようになっています。

安全のために守っていただきたいこと。



警告

守らないと生命の危険または重大な損害につながるおそれがあります。



注意

守らないと損害または事故につながるおそれがあります。

システムを使用するときには守っていただきたいこと。



アドバイス

守らないと破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。

システムを使ううえで知っておいていただきたいこと。



知識

知っておくとお車やいろいろな装備を上手に使うことができ便利です。

- 参照して読んでいただきたいページなどを、➡ マークで表示しています。
- 本書ではスイッチや操作画面のメニュー項目などをマークで表示しています。マークの見かたは次のとおりです。

	フロントパネルのスイッチやステアリングスイッチなどを表します。
	操作画面や地図上に表示されるメニューや項目を表します。

- 車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
- 画面は昼間（ライト消灯時）で、表示色を切り替えていない状態で撮影しています。
- 本書で使用している画面やイラストは、仕様によりお客様の車両と異なります。
- お車をゆずられるときは次に所有される方のために、本書をお車に付けておいてください。
- 車両の仕様変更により、本書の内容が実車と一致しない場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

スマートフォンで取扱説明書を閲覧する

スマートフォンを使用して QR コードを読み込むことで、取扱説明書を閲覧することができます。

1	メニュー を押し、 情報・設定 を開き、 情報 → 取扱説明書 にタッチする QR コードが表示されます。
2	QR コードに対応したスマートフォンで画面の QR コードを読み取る

知識

- サイトの閲覧には別途、通信料が発生します。
- スマートフォンで QR コードを読み込むには、アプリケーションのインストールが必要な場合があります。
- スマートフォンやアプリケーションの操作方法は、スマートフォンやアプリケーションの取扱説明書またはヘルプなどをご覧ください。
- 画面のキズや汚れ、光の反射、QR コードのバージョンによっては読み取れない場合があります。

■ QR コードから



■ URL から

URL を直接入力しても閲覧できます。

http://www.nissan.co.jp/OPTIONAL-PARTS/NAVIOM/DOP/manual_mj118d-awev.pdf

MEMO

<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全上のご注意 .8 ■ はじめに設定しておきたいこと .36 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各部の名称とはたらき .18 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本的な使いかた .24 	ご使用前の確認と設定	P.7
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地図画面の見かたと操作 .49 ■ ルートの編集 .119 ■ 地図を更新する .144 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目的地を探す .77 ■ 場所を登録する .126 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ルートの探索と案内 .96 ■ 交通情報を使う .134 	ナビゲーション	P.47
<ul style="list-style-type: none"> ■ オーディオ・テレビの基本操作 .146 ■ CD・オーディオファイルディスクを使う .180 ■ Bluetooth オーディオ機器を使う .212 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラジオを聞く .159 ■ USB 機器/WALKMAN®/SDカードのファイルを使う .188 ■ 外部機器の接続 .218 	<ul style="list-style-type: none"> ■ テレビを視聴する .164 ■ iPod を使う .204 	オーディオ・ビジュアル	P.145
<ul style="list-style-type: none"> ■ バックビューモニター* .220 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドライブレコーダー* .226 		バックビューモニター*・ ドライブレコーダー*	P.219
<ul style="list-style-type: none"> ■ Bluetooth 機器の設定 .228 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ハンズフリーフォンを使う .236 		ハンズフリーフォン	P.227
<ul style="list-style-type: none"> ■ NaviCon を使う .250 			スマートフォン連携	P.249
<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報表示や設定について .258 ■ システム設定 .266 	<ul style="list-style-type: none"> ■ エコ運転診断 .260 ■ 車両のメンテナンス情報設定 .276 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ユーザーの設定 .264 ■ 情報を見る .278 	情報・設定	P.257
<ul style="list-style-type: none"> ■ 困ったとき .282 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 知っておいていただきたいこと .296 		付録	P.281

★ オプションの装着が必要です。

MEMO

安全上のご注意

取り付けや配線について	8
使用方法について	9
異常時の問い合わせ	11
使用上のお願い	12

各部の名称とはたらき

フロントパネル	18
ステアリングスイッチ	22

基本的な使いかた

電源を入れる / 切る	24
タッチパネルの操作	25
フロントパネルの角度と画面の明るさを調整する、 画面表示を消す	26
リスト画面の操作	29
トップメニュー画面の操作	31
文字入力のしかた	33

はじめに設定しておきたいこと

利用開始日を登録する	36
イージーセットアップを行う	37
自宅を登録する	40
Bluetooth 機器を登録する	42

 **警告**

● **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。

 **警告**

- **分解・修理および改造はしない**
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- **音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- **機器内部に、水や異物を入れない**
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。
- **故障や異常な状態のまま使用しない**
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。
- **運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**
必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。
- **雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**
落雷による感電の原因となります。
- **ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する**
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。
- **ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売会社に依頼してください。

 **警告**

- **医療用電気機器などへの影響を確認する**
本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。
- **SD カードなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

 **注意**

- **本機を車載用以外で使用しない**
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。
- **可動部やディスク挿入口に手や指を入れない**
モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

 **警告**

- 異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売会社に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

 **アドバイス**

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合
またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認め
られる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。

走行中の操作制限 / 視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。
また、テレビや USB（ビデオファイル）などの映像ソースは、走行中に映像表示をせず、地図画面に切り替わります。操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけた状態で行ってください。
- 停車するときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず  故障かなと思ったら (P.282) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの日産販売会社へご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。傷が付いたり文字が消えることがあります。

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出る場合があります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。故障ではありません。

ナビゲーションについて

- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくすると GPS の測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路* は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
 - 細街路を走行中の現在地図画面
 - 市街地図を表示しているとき
 - マップマッチングしていないとき
 - 駐停車中


* 細街路とは、道幅 5.5m 未満の道路のことをいいます。


結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。このようなときは、ディスクを取り出して約 1 時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、日産販売会社へご相談ください。

フロントパネルの安全装置について

フロントパネルを閉じるときにパネルの画面に触れると、再度フロントパネルが開きます。

 (OPEN) を押す、または クローズ にタッチするとフロントパネルが閉じます。

フロントパネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、 (OPEN) でフロントパネル操作画面を表示して再度操作してください。

➡ MJ118D-W/MJE18D-EV (P.18)、➡ MJ118D-A (P.20)

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例：登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。

個人情報の消去は、➡ システムを初期化する (P.271)、➡ セキュリティコードを解除する (P.274) で行うことができます。未消去のデータの流出による損害等について、当社では一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

■ 使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、販売会社にご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、販売会社へお問い合わせください。

- 本機の周波数表示は下記の通りです。

2.4 FH 1

2.4：2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH： FH-SS 変調方式を表します。

1： 電波干渉距離は 10m です。

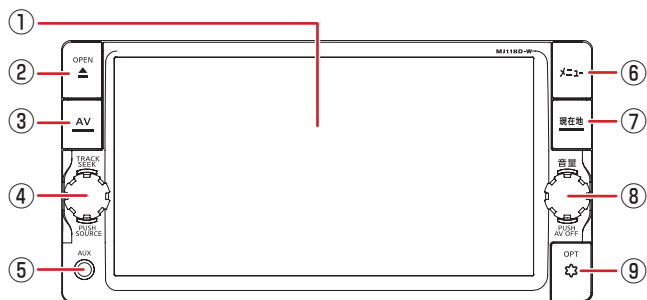
□ □ □： 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

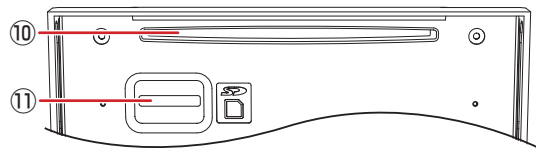
各部の名称とはたらき フロントパネル

本システムは、フロントパネル、ステアリングスイッチの各スイッチを使って操作します。

■ MJ118D-W/MJE18D-EV



フロントパネルオープン時



- ① **ディスプレイ**
地図やメニュー画面、情報などを表示し、タッチパネルで操作ができます。画面表示を消すこともできます。➡ トップメニュー画面の操作 (P.31)
- ② **▲ (OPEN) スイッチ**
フロントパネルの角度調整 ➡ フロントパネルの角度を調整する (P.26) やディスク、SDカードの出し入れを行うためのメニューを表示します。
➡ CD・オーディオファイルディスクを入れる / 取り出す (P.180)、
➡ SDカードを入れる / 取り出す (P.189)
- ③ **AV スイッチ**
・選択中の AV 画面を表示します。➡ AV 画面を表示する (P.149)
・AV 画面表示中に押すと AV メニュー画面を表示します。
- ④ **TRACK SEEK スイッチ**
・左右に回すと：
CD/iPod/WALKMAN[®] /USB/SD/Bluetooth Audio :
音楽、ビデオを 1 つずつ送ったり、戻したりします。
ラジオ /TV : 選局します。

各部の名称とはたらき フロントパネル

- 左右に回したままにすると：

CD/iPod/WALKMAN® /USB/SD/Bluetooth Audio：早戻し、早送りをします。

ラジオ：受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。

- 押す：AV ソースが下記の順に切り替わります。

CD → FM → AM → TV → VTR または ドライブレコーダー★ → AUX → SD
→ WALKMAN® /USB → iPod → Bluetooth Audio

⑤ AUX 端子

市販のポータブルオーディオ機器を接続します。➡ [外部機器を再生する \(P.218\)](#)

⑥ **メニュー** スイッチ

• 押す：トップメニュー画面を表示します。➡ [トップメニュー画面の操作 \(P.31\)](#)

• 押し続ける：画面の表示をオフにします。➡ [画面表示をオフにする \(P.28\)](#)

⑦ **現在地** スイッチ

• 押す：現在地図画面を表示します。➡ [現在地図画面の見かた \(P.49\)](#)

• 押し続ける：画質調整画面を表示します。➡ [画面の明るさを調整する \(P.27\)](#)

⑧ **音量** ロータリースイッチ

• 回す：音量を調整 (0～40) します。

• 押す：AV ソースがオフになります。➡ [ソースをオフにする \(P.150\)](#)

⑨ **OPT** スイッチ

• オプションスイッチ画面で設定した機能の操作をします。

➡ [オプションスイッチをカスタマイズする \(P.275\)](#)

• セキュリティインジケーター ➡ [セキュリティ \(P.267\)](#)

セキュリティインジケーターを ON に設定すると、本機の電源をオフにしたときに

OPT スイッチが点滅します。

⑩ ディスク挿入口

再生用の CD を挿入します。

⑪ SD カード挿入口

SD カードを挿入します。取り出すときは、SD カードを押し込んでください。

📖 知識

ドライブレコーダー装着車の場合

- **TRACK SEEK** スイッチを押したときの AV ソースは、「VTR」が「ドライブレコーダー」の表示になります。

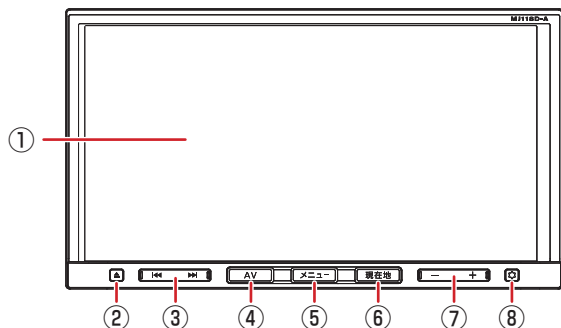
📖 知識

音量 ロータリースイッチ

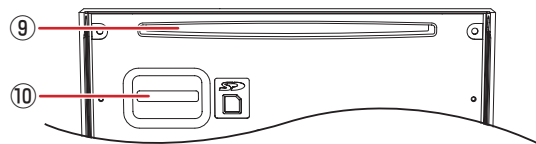
- 音量調整は下記の音が出ているときに個別に調整できます。
AV の音量、交通情報の音量、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量
- システム設定の音量でも、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量の調整ができます。➡ [音量 \(P.267\)](#)

★ オプションの装着により異なります。

■ MJ118D-A



フロントパネルオープン時



① ディスプレイ

地図やメニュー画面、情報などを表示し、タッチパネルで操作ができます。画面表示を消すこともできます。➡ [トップメニュー画面の操作 \(P.31\)](#)

② (OPEN) スイッチ

フロントパネルの角度調整 ➡ [フロントパネルの角度を調整する \(P.26\)](#) やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

➡ [CD・オーディオファイルディスクを入れる / 取り出す \(P.180\)](#)、

➡ [SD カードを入れる / 取り出す \(P.189\)](#)

③ (電源) スイッチ

・押す：

CD/iPod/WALKMAN® /USB/SD/Bluetooth Audio :

音楽、ビデオを1つずつ送ったり、戻したりします。

ラジオ /TV : 選局します。

・押し続ける：

CD/iPod/WALKMAN® /USB/SD/Bluetooth Audio：早戻し、早送りをします。

ラジオ：受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。

④ **AV スイッチ**

・押す：選択中の AV 画面を表示します。➡ [AV 画面を表示する \(P.149\)](#)

AV 画面表示中に押すと AV メニュー画面を表示します。

・押し続ける：AV ソースがオフになります。➡ [ソースをオフにする \(P.150\)](#)

⑤ **メニュー スイッチ**

・押す：トップメニュー画面を表示します。➡ [トップメニュー画面の操作 \(P.31\)](#)

・押し続ける：画面の表示をオフにします。➡ [画面表示をオフにする \(P.28\)](#)

⑥ **現在地 スイッチ**

・押す：現在地図画面を表示します。➡ [現在地図画面の見かた \(P.49\)](#)

・押し続ける：画質調整画面を表示します。➡ [画面の明るさを調整する \(P.27\)](#)

⑦ **[- +] (音量) スイッチ**

押す：音量を調整 (0 ~ 40) します。

⑧ **[*] (OPT) スイッチ**

・オプションスイッチ画面で設定した機能の操作をします。

➡ [オプションスイッチをカスタマイズする \(P.275\)](#)

・セキュリティインジケーター ➡ [セキュリティ \(P.267\)](#)

セキュリティインジケーターを ON に設定すると、本機の電源をオフにしたときに

[*] スイッチが点滅します。

⑨ **ディスク挿入口**

再生用の CD を挿入します。

⑩ **SD カード挿入口**

SD カードを挿入します。取り出すときは、SD カードを押し込んでください。

📖 知識

[- +] (音量) スイッチ

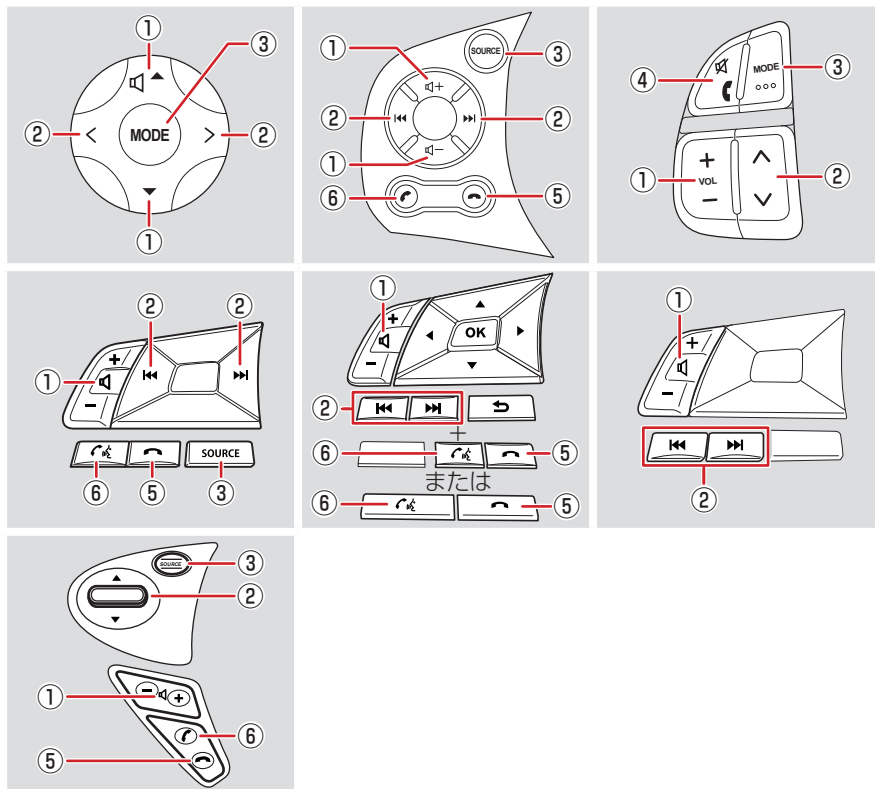
- **+** を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。音量値が 15 以上の場合は、1 回ずつ押してください。
- 音量調整は下記の音が出ているときに個別に調整できます。
AV の音量、交通情報の音量、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量
- システム設定の音量でも案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量の調整ができます。➡ [音量 \(P.267\)](#)

各部の名称とはたらき ステアリングスイッチ

車種によっては、ハンドルにスイッチが付いている場合があります。その場合は、運転中に AV の操作が可能です。

知識

- ハンドルやステアリングスイッチの形状は車種によって異なります。
- 2011年5月以前に発売された車両には対応しておりません。
- 対応車種は日産販売会社へお問い合わせください。



イラストはイメージ図です。

各部の名称とはたらき ステアリングスイッチ

① 音量スイッチ

音量を調整 (0 ~ 40) します。

② トラック・シークスイッチ

・ラジオ：

押す：放送局を切り替えます。

押し続ける：受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。

・TV：

押す：放送局を切り替えます。

・音楽 / ビデオ再生：

押す：前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。

押し続ける：早送り / 早戻しします。

③ **MODE SOURCE** (モード・ソース)

・押す：AV ソースが下記の順に切り替わります。

CD → FM → AM → TV → VTR またはドライブレコーダー★ → AUX → SD
→ WALKMAN® /USB → iPod → Bluetooth Audio

・押し続ける：AV ソースがオフになります。

④ ミュートスイッチ

音量を一時的に消します。もう一度押すと元の音量に戻ります。

：電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

⑤



ハンズフリー通話を終了します。

⑥

電話の着信時に押すと、ハンズフリー通話を開始します。

知識

音量スイッチ

●  /  を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。音量値が 15 以上の場合、1 回ずつ押してください。

● 音量調整は下記の音が出ているときに個別に調整できます。

AV の音量、交通情報の音量、案内音量、ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量

● 使用できない状態の AV ソースには切り替わりません。

ドライブレコーダー装着車の場合

● **MODE SOURCE** (モード・ソース) スイッチを押したときの AV ソースは、「VTR」が「ドライブレコーダー」の表示になります。

★ オプションの装着により異なります。

電源オン

車のキースイッチを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。

※初めて本機を起動したときは、取付確認・設定画面が表示されますので、利用開始日登録 ➡ 利用開始日を登録する (P.36)、およびイージーセットアップ ➡ イージーセットアップを行う (P.37) を行ってください。

電源オフ

車のキースイッチを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。

アドバイス

オート ACC 機能付きの車種の場合

- 本機を操作するには、車のエンジンをかけてください。
- キースイッチ（電源ポジション）を「OFF」にすると、本機の電源もオフになります。詳しくは車両の説明書をご覧ください。

知識

- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合（+Bを外した場合）などには、測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによって、本機の取り付け後に初めて電源をオンにしたときと同じ状態になる場合があります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消えません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- セキュリティを設定している場合、バッテリーを交換した後（+Bを外した後）に初めて電源をオンにすると、セキュリティコードを入力しないと本機は起動しません。
➡ セキュリティコードを設定する (P.272)

タッチパネルの基本操作

■ タッチする

指先で画面を押します。



■ ドラッグする

指先で画面を押さえながら動かします。



■ フリックする

指先で画面の上をすばやくはらいます。



フロントパネルの角度と画面の明るさを調整する、画面表示を消す

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度と画面の明るさを調整できます。角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。

フロントパネルの角度を調整する

1 ▲ (OPEN) を押す

2 0 ~ 6 にタッチして調整する
フロントパネルが選択した角度に調整されます。



📖!知識

- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

1 ▲ (OPEN) を押す

2 -3 ~ 0 にタッチして調整する
選択した視野角に調整されます。



📖!知識

- 視野角をマイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

画面の明るさを調整する

- 1 **現在地** を押し続ける
画面コントロールメニューが表示されます。

- 2 **[-]** または **[+]** にタッチして
調整 (-4 ~ +4) する
選択した明るさに調整されます。



知識

- その他の調整項目は
➡ [画質を調整する \(P.147\)](#) を
ご覧ください。

画面表示をオフにする

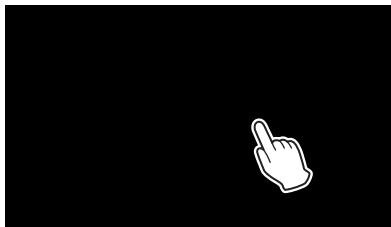
本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。

メニュー を押し続ける、
または **メニュー** を押してトップメニュー画面の
画面消し にタッチする
画面表示が消えます。



画面表示をオンにする

画面表示のオフ中に画面にタッチする
画面表示をオンにする前の画面に戻ります。



知識

- 画面表示のオフ中に本機の電源をオフにすると、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- バックビューモニターが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、バックビューモニターの画面が表示されます。

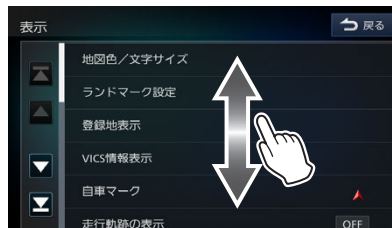
リスト画面の基本操作

■ ドラッグまたはフリック操作

スクロールしたい方向にリストをドラッグ
またはフリックする

ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。

フリックしたときは、スクロール中のリストにタッチすると、スクロールを止めることができます。



■ ページ送り

送りたい方向の ▲ または ▼ にタッチする
▲ または ▼ にタッチするとリストの最初/
最後を表示します。



■ 項目が無効のとき

灰色文字の項目は選択できないため、タッチしても操作することはできません。



■ 前の画面に戻る

 にタッチする

1つ前の画面に戻ります。



基本的な使いかた

トップメニュー画面の操作

トップメニュー画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。**メニュー**を押すとトップメニュー画面が表示されます。

AVメニュー

AVソースを切り替える画面を表示します。

➡ ソースを切り替える (P.146)



右にドラッグまたはフリックするとAVメニュー画面を表示します。

トップメニュー表示エリア*

情報・設定メニュー

情報表示や各種設定を行う画面を表示します。

➡ 情報・設定メニューについて (P.258)



下にドラッグまたはフリックすると情報・設定メニュー画面を表示します。

タッチ

目的地メニュー

目的地検索を行う画面を表示します。

➡ 行き先を探す (P.78)



左にドラッグまたはフリックすると目的地メニュー画面を表示します。

トップメニュー表示エリア*

ルートメニュー

ルートを再探索したり、ルート編集を行う画面を表示します。➡ ルートの編集 (P.119)



本機を使用しないときなどに、画面の表示を消します。➡ 画面表示をオフにする (P.28)

➡ メニューのボタン配置を変更する (P.32)

電話メニュー

電話の発信や設定を行う画面を表示します。➡ 電話画面を表示する (P.236)



* トップメニュー表示エリアは、AVと目的地のそれぞれ4つのボタンを変更することができます。

メニューのボタン配置を変更する

AV メニュー、目的地メニューのボタンを入れ替えることができます。


1 トップメニュー画面で、画面左側の  または画面右側の  にタッチする

2 目的地メニューまたは AV メニュー
画面右上の  にタッチする



3 移動したいボタンにタッチする
AV の右側緑枠、または目的地の
左側青枠は、トップメニュー画面で
表示されるボタンになります。



4 移動させたい位置にタッチする
ボタンの位置が移動して、
メニューのボタン配置が保存されます。
 戻る にタッチすると前の画面に
戻ります。



知識

- **AV** または **目的地** タブにタッチして、AV メニューと目的地メニューを切り替えることができます。
- **操作方法** にタッチすると、操作方法の説明画面が表示されます。
- **マップコード** / **緯度・経度** / **郵便番号** など、画面下部のアイコンがないボタンは配置を変更できません。

基本的な使いかた 文字入力のしかた

文字入力の方法を切り替えることができます。キーボードを使って文字を入力する入力パレットと、携帯電話のように文字を入力するトグル入力の2つがあります。

登録した名称を編集する場合は、文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えることもできます。

入力方法を切り替える

入力切替にタッチする

タッチするたびにキーボードのような入力パレットと携帯電話のようなトグル入力に切り替わります。

入力パレット画面



トグル入力画面



文字の種類を切り替える

切り替える文字の種類にタッチする

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。



切替	タッチするたびにかな(ひらがな)/カナ(カタカナ)/英数/記号に切り替わります。
小文字	小文字に切り替わります。
半角	半角英数文字または記号に切り替わります。

知識

- ナビの目的地設定の名称検索 名称から探す (P.80) では文字の種類を変更できません。施設名の入力時は、「^ヽ」（濁点）や「[゜]」（半濁点）を省略し、清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。



入力パレットで文字を入力する

1 入力したい文字にタッチする

2 変換する場合は、**変換** にタッチする



3 変換候補リストから単語を選んでタッチする
選択した漢字が確定され、
文字入力画面に戻ります。



4 **決定** にタッチする
文字の入力が確定されます。



知識

- **無変換** にタッチすると、文字を変換せず入力した状態で確定します。
- **◀** または **▶** にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して、**修正** にタッチすると文字を消すことができます。
- **修正** にタッチし続けると、入力した文字列が全て消去されます。

トグル入力で文字を入力する

1 「入力切替」にタッチする

2 文字を選んでタッチする



3 変換する場合は、「変換」にタッチする



4 変換候補リストから単語を選んでタッチする
選択した漢字が確定され、
文字入力画面に戻ります。



知識

- 例：「い」を入力する場合、「あ」を2回タッチします。
- 例：「あい」を入力する場合、「あ」をタッチし、「送り」にタッチしたあと、「あ」を2回タッチします。
- 「無変換」にタッチすると、文字を変換せず入力した状態で確定します。
- ◀または▶にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して、「修正」にタッチすると文字を消すことができます。
- 「修正」にタッチし続けると、入力した文字列が全て消去されます。
- 「決定」にタッチすると、文字の入力が確定されます。

はじめに設定しておきたいこと

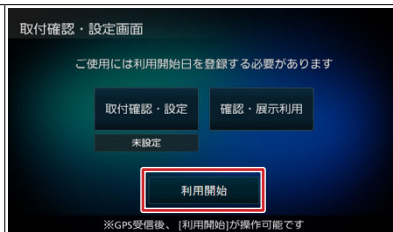
利用開始日を登録する

初回起動時に本機の利用開始日を登録します。

1

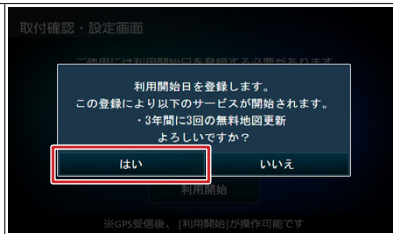
利用開始 にタッチする

利用開始日登録画面が表示されます。



2

はい にタッチする

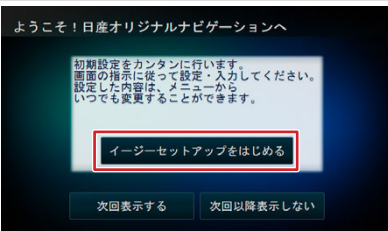




知識

- **利用開始** をタッチできない場合は、車をGPSが受信できる見晴らしの良い場所、ガレージの外などに移動してください。
- **利用開始** 以外にタッチして別の画面になった場合は、車のキースイッチを入れなおしてください。手順1の画面が表示されます。
- 無料地図更新については [👉 地図更新について \(P.144\)](#) をご覧ください。

はじめに設定しておきたいこと イージーセットアップを行う

初回起動時に、本機を使用するための初期設定を行います。イージーセットアップを行うと、自宅の登録など、本機を活用するのに必要な設定をまとめて行うことができます。

1	イージーセットアップをはじめる にタッチする	
2	音量を設定して、次へ▶ にタッチする 音量に関する項目を設定します。 設定項目は ➡ 音量 (P.267) を参照してください。	
3	自宅を設定して、次へ▶ にタッチする 自宅を登録します。 操作方法は ➡ 自宅を登録する (P.40) の手順3から参照してください。	

知識

- **次回表示する** にタッチすると、次回起動時に再度イージーセットアップ画面が表示されます。
- **次回以降表示しない** にタッチすると、次回起動時からイージーセットアップ画面は表示されません。
- イージーセットアップをあとから行うことや、やり直すこともできます。
メニュー を押し、**情報・設定** → **ナビ設定** → **イージーセットアップ** をタッチしてください。
- **戻る** にタッチすると、前の画面へ戻ります。
- **次へ▶** にタッチすると、次の画面を表示します。
- **終了** にタッチすると、イージーセットアップを終了します。

はじめに設定しておきたいこと イーザーセットアップを行う

前のページから

ご使用前の確認と設定

4

Bluetooth を設定して、**次へ▶** に
タッチする

機器登録 : Bluetooth 機器を登録します。

操作方法は

➡ [Bluetooth 機器を登録する \(P.43\)](#)
の手順 2 から参照してください。

機器選択 : 接続する Bluetooth 機器を
選択します。操作方法は

➡ [Bluetooth 機器を接続する \(P.229\)](#)
の手順 2 から参照してください。



5

ユーザー切替を設定して、**次へ▶** に
タッチする

本機では2ユーザー分の設定を保持し、
切り替えることができます。

操作方法は


➡ [ユーザーを切り替える \(P.264\)](#)
の手順 2 から参照してください。

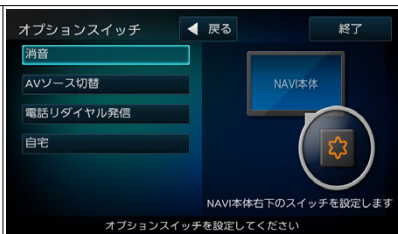


はじめに設定しておきたいこと イーजीセットアップを行う

6

オプションスイッチを設定する

割り当てる機能にタッチします。
割り当てる機能は  オプションスイッチ
をカスタマイズする (P.275) を参照し
てください。



7

終了 にタッチする

イーजीセットアップを終了して現在地図画面を表示します。

はじめに設定しておきたいこと

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単にはじめることができます。

1 **メニュー** を押し、画面右側の **☰** にタッチする

2 **自宅** にタッチする
確認メッセージが表示されます。
はい にタッチする



3 自宅の検索方法を選び、画面にしたがって自宅を検索する地図画面が表示されます。
自宅に設定する にタッチする



4 名称を編集して、**決定** にタッチする
この画面で自宅の名称を編集することができます。
➡ [文字入力のしかた \(P.33\)](#)



知識

- 登録した自宅の名称と電話番号は、後からでも編集することができます。
➡ [登録地を編集する \(P.128\)](#)
- 自宅の位置は変更することができます。
➡ [自宅を変更する \(P.133\)](#)

はじめに設定しておきたいこと 自宅を登録する

5

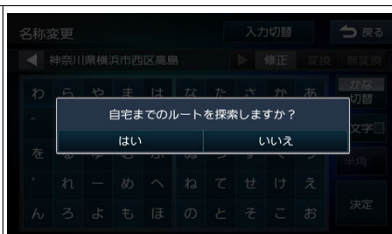
はい または **いいえ** にタッチする

自宅が登録されます。

はい にタッチすると自宅までのルートを探します。

👉 ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)

いいえ にタッチすると目的地メニュー画面に戻ります。



はじめに設定しておきたいこと

Bluetooth機器を登録する

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 機器の登録について

- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、[Bluetooth 対応プロファイル \(P.323\)](#) をご覧ください。
- 本機の電源を入れたときに、ハンズフリーで使用する携帯電話と接続できない場合は、[携帯電話接続確認案内](#)をします。[Bluetooth 携帯電話接続確認案内を設定する \(P.235\)](#)

知識

- Bluetooth 機器の操作方法は、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。



Bluetooth 電話機接続中アイコン

1 / **2** : 「電話 1」 / 「電話 2」に電話機が登録されている場合に表示します。

📶 : 電話機の電波と電池の状態を表示します。

※ Bluetooth 接続されていない場合は、表示されません。

※ 電波と電池の状態の表示は、電話機の表示と異なる場合があります。

※ 電話機の機種によっては、表示されない場合があります。

はじめに設定しておきたいこと

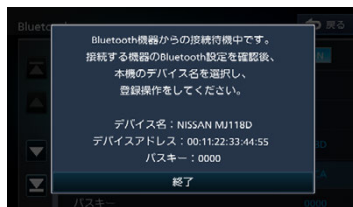
Bluetooth機器を登録する

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth設定** にタッチする

2 **機器登録** にタッチする
登録開始画面が表示されます。



3 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

4 Bluetooth 機器に表示される「NISSAN MJ118D」または「NISSAN MJE18D」を選択する

🚗 アドバイス

- Bluetooth 接続をするには Bluetooth 機能を ON にしておく必要があります。
➡ 本機の Bluetooth 機能をオン / オフする (P.46)
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作できます。

📖 知識

- 本機は Bluetooth のセキュアシンプルペアリングに対応しています。セキュアシンプルペアリングに対応した Bluetooth 機器に接続を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。
- Bluetooth 機器から本機を選ぶときの手順 4 の名前を変えることができます。
➡ 本機のデバイス名を変更する (P.234)



前のページから

5

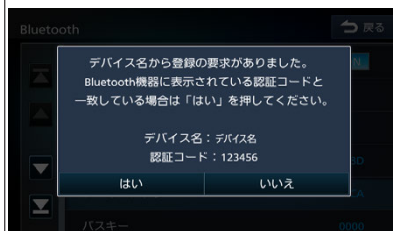
● パスキーが表示された場合 表示された本機のパスキーを Bluetooth機器に入力する

Bluetooth機器によっては、パスキーを入力するときに、この画面が表示されないことがあります。その場合は、本機のパスキーを確認してからBluetooth機器に入力してください。

● 認証コード画面が表示された場合 デバイス名と認証コードを確認し、**はい** にタッチする

Bluetooth機器の登録がはじまります。Bluetooth機器によっては、デバイス名または認証コードのみが表示され、自動的に登録がはじまるものがあります。

登録が完了すると
「Bluetooth機器の登録が完了しました。」
と表示され、登録した機器が
Bluetoothで接続されます。



知識

- パスキーの初期設定は“0000”に設定されています。
➡ Bluetoothの設定をする (P.232)
- HFP、A2DP、SPPはBluetoothのプロファイル名です。
➡ Bluetooth対応プロファイル (P.323)

1 台目を登録する場合

- ハンズフリー通話 (HFP) に対応している機器の場合は、「電話1」に接続されます。
- Bluetooth オーディオ (A2DP) / スマートフォン連携 (SPP) に対応している機器の場合は、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」に接続されます。
➡ Bluetooth機器を接続する (P.229)

2 台目を登録する場合

- ハンズフリー通話 (HFP) に対応している機器の場合は、「電話2」に接続されます。
- 2台接続した場合の発信は、はじめに発信する電話機を選択します。
➡ 電話をかける電話機を選ぶ (P.240)
- Bluetooth オーディオ (A2DP) / スマートフォン連携 (SPP) に対応している場合は、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」の接続が2台目に登録したBluetooth機器に変更されます。
➡ Bluetooth機器を接続する (P.229)
- 「電話1」、「電話2」、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」に接続するBluetooth機器はあとから変更することができます。
➡ Bluetooth機器を接続する (P.229)

はじめに設定しておきたいこと

Bluetooth機器を登録する

■ Bluetooth 電話機を 3 台目以降に登録する場合

ハンズフリー通話 (HFP) に対応している Bluetooth 電話機を 3 台目以降に登録を行うと、下記の画面が表示されます。

ハンズフリー通話をする場合は「電話 1」または「電話 2」に設定する必要があります。

1

<設定項目>にタッチする

ハンズフリー通話するための接続方法を選択します。



<設定項目>

電話 1 / 電話 2	発信や着信に使用します。
接続しない	発信や着信には使用しません。
閉じる	Bluetooth 機器の登録のみを行い、画面を閉じます。

知識

- Bluetooth オーディオ (A2DP) / スマートフォン連携 (SPP) に対応している場合は、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」の接続が登録した Bluetooth 機器に変更されます。
➔ Bluetooth 機器を接続する (P.229)
- 電話 1 / 電話 2 を選択すると、接続していた既存の電話機は接続を解除します。
- 「電話 1」または「電話 2」どちらに設定しても、着信を待ち受けることができます。
- 「電話 1」、「電話 2」、「Bluetooth Audio / アプリケーション連携」に接続する Bluetooth 機器はあとから変更することができます。
➔ Bluetooth 機器を接続する (P.229)
- HFP、A2DP、SPP は Bluetooth のプロファイル名です。
➔ Bluetooth 対応プロファイル (P.323)

はじめに設定しておきたいこと

Bluetooth機器を登録する

本機の Bluetooth 機能をオン / オフする

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth 設定** にタッチする

2 **Bluetooth** にタッチする



地図画面の見かたと操作

地図の見かた	49
Quick メニュー	53
地図の表示方法を切り替える	60
地図をスクロールする	61
地図の縮尺を変える	64
地図を 2 画面表示する	66
地図の表示を設定する	67
地図色や文字サイズを設定する	70
地図に表示するランドマークを設定する	71
走行軌跡表示を設定する	72
自車の現在位置を修正する	73
地図記号の凡例	75

目的地を探す

ナビゲーションの流れ	77
行き先を探す	78
自宅へ帰る	79
名称から探す	80
ジャンルから探す	83
周辺施設から探す	85
登録地から探す	87

住所から探す	88
履歴から探す	89
電話番号から探す	91
マップコードから探す	92
緯度・経度から探す	93
郵便番号から探す	94
提携駐車場を行き先に設定する	95

ルートの探索と案内

目的地に設定してルートを探索する	96
ルートの探索条件を選択して案内を開始する	98
VICS によるルート探索とルート学習	100
ルート探索の設定	101
ルート案内画面の見かた	103
案内ポイントでの割り込み表示	108
音声案内について	111
高速道路での逆走報知について	114
ルート案内の設定	115
ルート案内の終了とルートの再探索	117
目的地を表示する	118

(次のページに続く)

ルートの編集

ルートを編集（ルート変更）する	119
走行中のルート全体の表示やデモ走行を確認する	125

場所を登録する

地点を登録する	126
登録した地点をリストで見る	127
登録地を編集する	128
グループを編集する	130
登録地を消去する	132
自宅を変更する	133

交通情報を使う

VICS 情報を見る	134
------------	-----

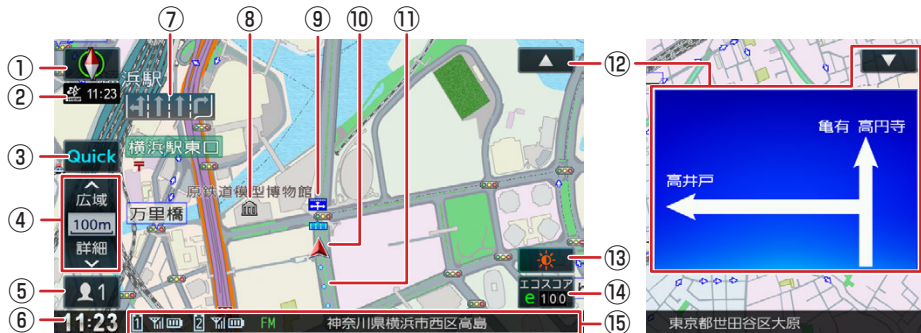
地図を更新する

地図更新について	144
----------	-----

現在地図画面の見かた

フロントパネルの **現在地** を押す

現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① (コンパスボタン) と GPS 受信表示

針の向きで地図の方位を、円の色で GPS の受信状態を表示します。

タッチすると、地図の向きを切り替えることができます。

➡ 地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える (P.60)

緑色の円：現在地の測位ができている状態

灰色の円：現在地の測位ができていない、または測位計算中の状態

② VICS 情報提供時刻



VICS 情報の提供時刻が表示されます。

③ Quick

タッチすると、Quick メニューを表示します。➡ Quick メニューの操作 (P.53)

📖 知識

- 道路の表示
青紫色：高速道路・有料道路
橙色：国道
黄色：主要地方道、県道
青色：フェリー航路
灰色：一般道路、細街路
※細街路：道幅 5.5 m 未満の道路
- 設定や縮尺により、道路の表示がされなかったり、表示色が上記と異なる色で表示されたりする場合があります。
- 走行中は、細街路を表示しません。
※細街路を走行しているときは、細街路を表示します。
※細街路によっては、走行中も消えないものもあります。


- ④ **広域 / 詳細**
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。
➡ ボタンにタッチして縮尺を変える (P.64)
ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。
縮尺表示にタッチし続けるとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。
- ⑤ **👤1 (ユーザーカスタマイズ)**
ユーザー (1、2) を切り替えたり、設定をします。➡ ユーザーを切り替える (P.264)
- ⑥ **時計**
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。
本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。
- ⑦ **レーン情報**
次の交差点のレーン情報が表示されます。
- ⑧ **ランドマーク**
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。
➡ ランドマークの情報を見る (P.52)、
➡ 地図に表示するランドマークを設定する (P.71)
- ⑨ **案内地点**
 : 方面看板の案内地点が表示されます。
 : レーン情報の案内地点が表示されます。
- ⑩ **🚲 (自転車マーク)**
自転車位置と進行方向を示します。
- ⑪ **走行軌跡**
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。➡ 走行軌跡表示を設定する (P.72)
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。➡ 走行軌跡を消去する (P.72)

📖!知識

広域 / 詳細

- 細街路 (道幅 5.5 m 未満の道路) は、駐車中または細街路の走行中に表示されません。市街地図の表示中は、常に細街路が表示されます。

👤1 (ユーザーカスタマイズ)

- NaviCon 接続中に友達マップ機能をオンに設定すると、 が表示されます。
➡ NaviCon 友達マップ機能を使う (P.253)

走行軌跡

- お買い上げ時は、走行軌跡の表示は OFF に設定されています。

⑫ 方面看板

方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。方面看板にタッチすると表示を消します。消すと右上に ▲ が表示され、タッチするともう一度消した方面看板を表示します。

⑬ ※ (明るさアップボタン)

車のライト点灯時に表示され、画面の明るさを切り替えます。

⑭ 簡易エコスコア

エコスコアを簡易的に表示しています。

タッチすると、エコスコア画面が表示されます。➡ [エコ運転診断を確認する \(P.260\)](#)

⑮ 情報バー

接続中の Bluetooth 電話機や選択している AV ソースなどの情報や現在の地の住所などを表示します。

■ 情報バーの表示について



① Bluetooth 電話機の接続表示

現在接続中の Bluetooth 電話機の電波受信状態とバッテリー残量が表示されます。2 台まで表示されます。➡ [Bluetooth 機器の登録について \(P.42\)](#)

② AV ソースアイコン

現在の AV ソースが表示されます。

③ 現在地住所情報または AV 情報表示

現在の自転車位置の住所または AV ソースの情報が表示されます。どちらを表示するかは「住所 / AV 情報表示」で変更することができます。➡ [地図の表示を設定する \(P.68\)](#)

知識

※ (明るさアップボタン)

- 地図色昼夜切替が「時刻連動」に設定されている場合は、ライト点灯時でも明るさアップボタンは表示されません。
➡ [地図色や文字サイズを設定する \(P.70\)](#)

知識

Bluetooth 電話機の接続表示

- Bluetooth 電話機の電波受信状態とバッテリー残量は、電話機の表示と異なる場合があります。

現在地住所情報または AV 情報表示

- お買い上げ時は、「住所」に設定されています。

ランドマークの情報を見る

- 1** 情報を表示したいランドマークのアイコンにタッチする
施設名と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。



- 2** **詳細** にタッチする
詳細な情報が表示されます。



知識

- 複数のランドマークが重なっている場合は、**切替** にタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは、ガソリンスタンド/コンビニ/ファミリーレストラン/ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。
- 地図の向きが 3D ビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

よく使う機能やメニューを登録して呼び出すことができます。また、特別メモリ地点として登録した地点を呼び出します。

Quickメニューの操作

- 1** 現在地 を押し、Quick にタッチする
Quick メニュー画面が表示されます。



- 2** Quickメニューから<操作ボタン>を
選んでタッチする



<操作ボタン>

Quick1 ~ Quick6 設定されているメニューを表示します。

特別メモリ地点 1 ~ 5 グループの「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点5」に登録した地点を目的地に設定して、ルート案内を開始します。

➡ 地点を登録する (P.126)

知識

- **地図画面表示変更** は地図の表示方法の設定画面を表示します。
➡ 地図を2画面表示する (P.66)
- **編集** は Quick1 ~ Quick6 に登録してある機能の変更ができます。➡ Quickメニューのボタンの設定を変更する (P.54)

Quick1 ~ Quick6

- お買い上げ時に設定されているメニューは以下のとおりです。
Quick1: ルート消去
Quick2: ランドマーク設定
Quick3: 再探索
Quick4: スマートフォン連携
Quick5: 音量設定
Quick6: AV設定

特別メモリ地点 1 ~ 5

- 特別メモリ地点 1 ~ 5 で設定した登録地点が高速道路・有料道路付近の場合は、一般道路を目的地に設定します。
- 特別メモリ地点 1 ~ 5 の登録地点を高速道路・有料道路に目的地設定する場合は、目的地メニューの **登録地** から設定してください。➡ 登録地から探す (P.87)

Quickメニューのボタンの設定を変更する

1

現在地 を押し、Quick にタッチして、編集 にタッチする



2

設定するボタンを選んでタッチする



3

登録する<メニュー項目>にタッチする

設定が変更され、Quickメニュー設定画面に戻ります。

登録する機能が表示されていない場合は、上下にスクロールをしてください。



<メニュー項目>

下記の一覧から Quick メニューに登録する項目を選択してください。下記の順番で項目が表示されます。

割り当てなし	メニューは設定されません。Quick1 ～ Quick6 ボタンを表示します。
周辺のコンビニエンスストア	現在地周辺のコンビニエンスストアを検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 周辺施設から探す (P.85) の手順 4 から参照してください。
周辺のカソリンスタンド	現在地周辺のガソリンスタンドを検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 周辺施設から探す (P.85) の手順 4 から参照してください。
周辺の駐車場	現在地周辺の駐車場を検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 周辺施設から探す (P.85) の手順 4 から参照してください。
周辺で食事	現在地周辺の食事ができる施設を検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 周辺施設から探す (P.85) の手順 4 から参照してください。
周辺のトイレ	現在地周辺のトイレを検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 周辺施設から探す (P.85) の手順 4 から参照してください。
名称検索	会社や店舗などの施設名 (読みがな) から行き先を検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 名称から探す (P.80) の手順 2 から参照してください。
ジャンル検索	ジャンル (施設の種類) から行き先を検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ ジャンルから探す (P.83) の手順 2 から参照してください。
自宅検索	本機に登録した自宅までのルートを探索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 自宅へ帰る (P.79) の手順 2 から参照してください。
住所検索	住所から行き先を検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 住所から探す (P.88) の手順 2 から参照してください。
履歴検索	検索履歴からルートを探索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 履歴から探す (P.89) の手順 2 から参照してください。

電話番号検索	電話番号から行き先を検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 電話番号から探す (P.91) の手順 2 から参照してください。
周辺施設検索	現在地やルート沿いの周辺施設を検索する画面を表示します。 操作方法は ➡ 周辺施設から探す (P.85) の手順 2 から参照してください。
再探索	現在地から、探索条件 (推奨、距離、高速、一般、エコ) を変更して、ルートを再探索する画面を表示します。 操作方法は ➡ ルートを再探索する (P.117) の手順 2 から参照してください。
ルート編集	行き先 (目的地・経由地) の順番の変更や消去をする画面を表示します。目的地と経由地が設定されているときに順番の変更や消去ができます。操作方法は ➡ 目的地・経由地の順番を入れ替える (P.121) の手順 2、 ➡ 目的地・経由地を消去する (P.122) の手順 2 から参照してください。
ルート表示	現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。 操作方法は ➡ 走行中のルート全体の表示やデモ走行を確認する (P.125) の手順 2 から参照してください。
ルート情報	ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。
目的地表示	目的地、経由地付近の地図画面を表示します。 操作方法は ➡ 目的地を表示する (P.118) の手順 2 から参照してください。
ルート消去	ルート案内を終了します。 はい にタッチすると、ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。
地図設定	地点のアイコンなど、地図に表示させるものに関する設定の画面を表示します。 操作方法は ➡ 地図の表示を設定する (P.67) の手順 2 から参照してください。
地図色/文字サイズ	地図色や地図の文字サイズなど地図表示の設定をする画面を表示します。 操作方法は ➡ 地図色や文字サイズを設定する (P.70) の手順 2 から参照してください。
ランドマーク設定	地図に表示するランドマークの種類を設定する画面を表示します。 操作方法は ➡ 地図に表示するランドマークを設定する (P.71) の手順 2 から参照してください。
ランドマーク表示/消去	ランドマークの表示 / 非表示を切り替えます。非表示から表示に切り替えたときは、前回設定したパターンが表示されます。

走行軌跡の表示	地図画面に表示する走行軌跡表示の ON/OFF を設定する画面を表示します。 操作方法は 👉 走行軌跡表示を設定する (P.72) の手順 2 から参照してください。
走行軌跡を消去	地図画面に表示する走行軌跡表示を消去する画面を表示します。 操作方法は 👉 走行軌跡を消去する (P.72) の手順 2 から参照してください。
案内設定	ルート案内画面や案内音声など、ルートの案内に関する設定画面を表示します。 操作方法は 👉 ルート案内の設定 (P.115) の手順 2 から参照してください。
探索設定	各種探索条件やルート学習など、ルートの探索に関する設定画面を表示します。 操作方法は 👉 ルート探索の設定 (P.101) の手順 2 から参照してください。
現在地修正	地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正する画面を表示します。 操作方法は 👉 自車の現在位置を修正する (P.73) の手順 3 から参照してください。
AV 設定	音質、音響効果など、本機の AV 設定に関する項目を設定する画面を表示します。 操作方法は 👉 AV の設定をする (P.151) の手順 2 から参照してください。
イコライザー	イコライザーカーブを調整する画面を表示します。 操作方法は 👉 イコライザーを調整する (P.153) の手順 4 から参照してください。
バランス/フェーダー	左右のバランスと前後のフェーダーを調整する画面を表示します。 操作方法は 👉 バランス / フェーダーを設定する (P.155) の手順 3 から参照してください。
音量設定	案内音声や着信 / 受話 / 送話音量などを設定する画面を表示します。👉 音量 (P.267)
Bluetooth 設定	Bluetooth 接続や登録などを設定する画面を表示します。 操作方法は 👉 Bluetooth の設定をする (P.232) の手順 2 から参照してください。
その他設定	車両のメンテナンス情報の設定やGPSアンテナなどの接続確認、システムの初期化などを行う画面を表示します。 👉 その他設定 (P.269)
時計表示	時計の表示を設定する画面を表示します。👉 その他設定 (P.269)

スマートフォン連携	NaviCon 友達マップ機能を設定する画面を表示します。 操作方法は ➡ <u>ナビの友達マップ機能を ON にする (P.253)</u> の手順 5、➡ <u>友達の位置を全体表示する (P.255)</u> の手順 2 から参照してください。
渋滞情報	本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。 操作方法は ➡ <u>VICS 図形 / 文字情報を見る (P.139)</u> の手順 2 から参照してください。 FM VICS の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。 操作方法は ➡ <u>VICS の選局方法を切り替える (P.141)</u> の手順 2 から参照してください。
iPod	iPod のソースに切り替えます。➡ <u>曲を再生する (P.207)</u>
WALKMAN/USB	WALKMAN [®] や USB のソースに切り替えます。 ➡ <u>USB/WALKMAN[®] /SD を再生する (P.191)</u>
SD	SD のソースに切り替えます。➡ <u>USB/WALKMAN[®] /SD を再生する (P.191)</u>
Bluetooth Audio	Bluetooth Audio のソースに切り替えます。➡ <u>曲を再生する (P.212)</u>
AUX	本機に接続した外部オーディオ機器のソースに切り替えます。（MJ118D-W/MJE18D-EV のみ） ➡ <u>外部機器を再生する (P.218)</u>
VTR [★]	本機に接続した外部映像機器のソースに切り替えます。➡ <u>外部機器を再生する (P.218)</u>
ドライブレコーダー [★]	本機に接続したドライブレコーダーの画面に切り替えます。➡ <u>ドライブレコーダーの映像を見る (P.226)</u>
TV	地上デジタル TV 放送を受信します。➡ <u>テレビ画面を表示する (P.164)</u>
FM/AM	FM/AM ラジオ放送を受信します。➡ <u>FM/AM 放送を受信する (P.160)</u>
CD	CD のソースに切り替えます。➡ <u>CD・オーディオファイルディスクを再生する (P.182)</u>
交通情報	交通情報を受信します。➡ <u>ラジオで交通情報を聞く (P.159)</u>
AV OFF	ソースをオフにします。

★ オプションの装着により異なります。

ワンタッチダイヤル1 ~ ワンタッチダイヤル8	ワンタッチダイヤルに登録した電話番号に発信します。 ➡ ワンタッチダイヤルから電話をかける (P.242)
未分類	未分類に登録した地点を表示します。
グループ1 ~ グループ50	グループ1 ~ グループ50に登録した地点を表示します。

地図の表示方法を切り替える

地図の表示方法（向き、2D/3D 表示）を切り替えることができます。表示方法は「2D ヘディングアップ」、「3D ビュー」、「2D ノースアップ」の3つがあります。

地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える

地図画面のコンパスボタンにタッチする

タッチすることにより地図の表示方法が切り替わります。

2D ヘディングアップ画面






3D ビュー画面



知識

- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。
 ④ [地図の表示を設定する \(P.68\)](#)
- 地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

< 表示方法 >

 (2D ヘディングアップ)	進行方向が画面の上方向になるように表示されます。
 (3D ビュー)	進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。 市街地図 ➡ 地図の縮尺を変える (P.64) では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。
 (2D ノースアップ)	地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

地図画面の見かたと操作 地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

スクロールの種類

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。



■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。



■ ポイントスクロール

地図にタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。



📖 知識

- ドラッグ、フリックの操作については、**👉 タッチパネルの基本操作 (P.25)** をご覧ください。
- スクロールした後に **現在地** を押すと、現在地図画面に戻ります。
- 走行中は、連続スクロール、ドラッグスクロールはできません。

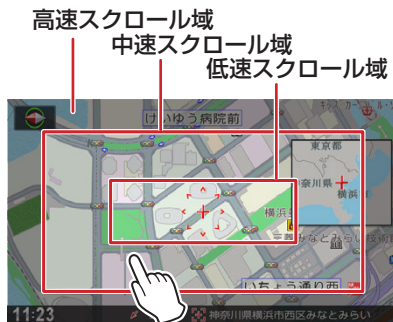
📖 知識

- 地図の向きが 3D ビューのときにポイントスクロールをすると、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

地図画面の見かたと操作 地図をスクロールする

■ 連続スクロール

スクロールしたい方向にタッチし続けると、連続してスクロールします。タッチする位置でスクロールの速さが変わります。



スクロールしたときの地図表示



① (カーソル)

地図画面の中心点に表示されます。

② (地図回転ボタン)

3Dビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

- ③ **切替**：複数のランドマークが重なっている場合にタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- 詳細**：地点詳細情報画面を表示します。
- 登録**：カーソルのある地点を登録します。➡ [地点を登録する \(P.126\)](#)
- 周辺**：周辺の施設を検索します。
- 提携P**：カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。
- ④ **フライビューマップ**
スクロールした地点を広域地図で表示します。
フライビューマップは表示しないようにすることもできます。
➡ [地図の表示を設定する \(P.67\)](#)
- ⑤ **マップコードと緯度・経度表示**
マップコードと緯度・経度を表示するようにできます。
➡ [地図の表示を設定する \(P.67\)](#)
- ⑥ **目的地**：カーソルのある地点を目的地に設定します。
経由地：カーソルのある地点を経由地に設定します。

■ 地点詳細情報画面を表示する

詳細 にタッチする

地点の詳細情報を表示します。



📖!知識

- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合にのみ表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。
- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なとき (Bluetooth 接続中) は、📞 にタッチして電話をかけることができます。

ボタンにタッチして縮尺を変える

広域 または **詳細** にタッチする

それぞれのボタンにタッチし続けると、連続して縮小または拡大されます。



スライダーバーで縮尺を変える

縮尺表示にタッチし、タッチしたままスライダーバーを上下にスライド（ドラッグ）する



知識

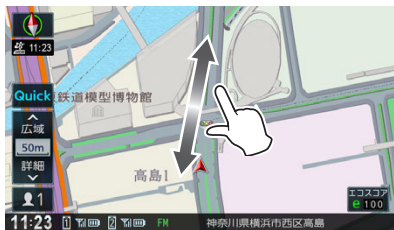
- 市街地図は、100m 以下で表示されます。「100m 縮尺での市街地図表示」を「OFF」にすると、50m 以下で表示できます。設定については
➡ [地図の表示を設定する \(P.67\)](#) をご覧ください。



- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自転車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面
➡ [地図をスクロールする \(P.61\)](#) で縮尺を変えても、**現在地** を押して現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更はできません。

地図を直接操作して縮尺を変える

2本の指でタッチ（ピンチ）して指の間を開く、または閉じて地図の縮尺を変える



地図画面の見かたと操作 地図を2画面表示する

現在地図画面の上に小画面の地図を表示できます（地図2画面表示）。

1

現在地 を押し、Quick → 地図画面表示変更
にタッチする



2

地図2画面 にタッチする
地図が2画面で表示されます。



地図1画面



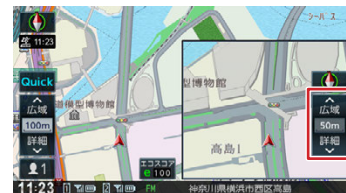
地図2画面



知識

小画面の地図表示について

- 地図のスクロールはできません。
- 地図の表示方法（向き、2D/3D表示）を切り替えることができます。
➡ 地図の表示方法を切り替える (P.60)
- 地図にタッチすると、小画面に縮尺ボタンが表示されます。
お買い上げ時は、「200 m」に設定されています。縮尺を変更した場合は、次回以降変更した縮尺で表示されます。
➡ ボタンにタッチして縮尺を変える (P.64)



その他の設定項目について

- 走行軌跡の表示 については、
➡ 走行軌跡表示を設定する (P.72) をご覧ください。
- ハイウェイモード については、
➡ ハイウェイモード画面の表示設定をする (P.107) をご覧ください。
- ルート表示 については、
➡ 走行中のルート全体の表示やデモ走行を確認する (P.125) をご覧ください。
- VICS 情報表示 については、
➡ VICS 情報の表示設定をする (P.143) をご覧ください。

地図画面の見かたと操作

地図の表示を設定する

地点のアイコンなど、地図に表示させるものに関する設定ができます。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** を開く → **ナビ設定** → **表示** にタッチする




2 **<設定項目>** にタッチする



<設定項目> (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
地図色/文字サイズ	地図色: 1*/2 文字サイズ: 小/中/大* 地図色昼夜切替: 時刻連動*/ 昼色に固定/夜色に固定/ ライト連動	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。 ➡ 地図色や文字サイズを設定する (P.70)
ランドマーク設定	—	地図に表示するランドマークを設定します。 ➡ 地図に表示するランドマークを設定する (P.71)
登録地表示	—	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリにタッチします。もう一度タッチすると選択を解除します。 表示オフ にタッチするとすべて表示しません。
VICS 情報表示	—	地図に表示する VICS 情報を設定します。 ➡ VICS 情報の表示設定をする (P.143)

地図画面の見かたと操作 地図の表示を設定する

項目	設定	説明
自転車マーク	 */ 	自転車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON/OFF*	走行軌跡の ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 ➡ 走行軌跡表示を設定する (P.72)
走行軌跡を消去	—	記憶されている走行軌跡を消去します。➡ 走行軌跡を消去する (P.72)
地図の向き	ノースアップ/ ヘディングアップ*/ 3D ビュー	地図の向きを設定します。
地図の向き (小画面)	ノースアップ/ ヘディングアップ/ 3D ビュー*	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップの ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。
100m 縮尺での市街地図表示	ON*/OFF	100m 縮尺で市街地図の ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 OFF にすると 50m 以下で市街地図が表示されます。
住所 /AV 情報表示	住所*/AV	住所に設定すると現在地図画面の情報バーに現在の住所を表示します。 AV に設定すると再生中の曲やラジオなどの放送局名などを表示します。
冠水注意ポイント表示	ON*/OFF	冠水注意ポイント () の ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 縮尺が 200 m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 冠水注意ポイント表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
市街地図での冠水注意ポイント表示	ON/OFF*	上記の「冠水注意ポイント表示」を“ON”に設定しているときに、市街地図でも冠水注意ポイントの ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。

地図画面の見かたと操作 地図の表示を設定する

項目	設定	説明
エコ運転診断機能を表示	ON*/OFF	現在地図画面でエコ運転診断機能の ON（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。
マップコード表示	ON/OFF*	スクロールしたときの地図や地点表示にマップコードの ON（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。 ➡ スクロールしたときの地図表示 (P.62)
緯度・経度表示	ON/OFF*	スクロールしたときの地図や地点表示に緯度・経度の ON（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。 ➡ スクロールしたときの地図表示 (P.62)
現在地修正	—	自転車位置や向きがずれたときに、地図上の自転車位置と向きを修正します。 ➡ 自転車の現在位置を修正する (P.73)

地図画面の見かたと操作 地図色や文字サイズを設定する

地図色や地図の文字サイズなど地図表示の設定をします。

1

メニュー を押し、情報・設定 ▾ → ナビ設定 → 表示 → 地図色 / 文字サイズ にタッチする

2

<設定項目>にタッチする



<設定項目> (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
地図色	1*、2	地図色を設定します。
文字サイズ	小、中、大*	小、中、大から文字サイズを設定します。
地図色昼夜切替	時刻連動* : GPS から取得した自転車位置と日付、時刻をもとに自動で地図画面の配色を切り替えます。 昼色に固定 : 常に昼色の地図を画面に表示します (昼画面)。 夜色に固定 : 常に夜色の地図を画面に表示します (夜画面)。 ライト連動 : 車のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)	

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニ / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示されます。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **ナビ設定** → **表示** → **ランドマーク設定** にタッチする

2 設定するパターンにタッチする
ランドマークの表示パターンを 3 つまで登録できます。



3 表示するランドマークのジャンルを選択 にタッチする
地図に表示するランドマークが設定されます。
戻る にタッチして情報・設定メニューに戻ります。

タッチすると (チェックマーク) が付きます。
もう一度タッチすると、選択が解除されます。



知識

- **表示オフ** にタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。
- 駐車場、宿泊、トイレ以外のジャンルは、ジャンル名にタッチするとジャンル内の各施設について個別に設定ができます。



地図画面の見かたと操作 走行軌跡表示を設定する

地図画面に表示する走行軌跡表示の ON/OFF を設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ▾ → **ナビ設定** → **表示** にタッチする

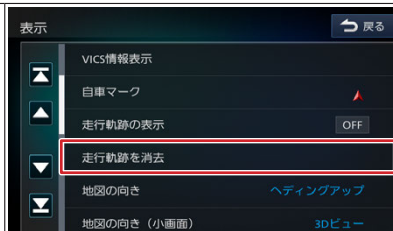
2 **走行軌跡の表示** にタッチする
ON : 走行軌跡を水色の点で表示します。
OFF : 走行軌跡を表示しません。
走行軌跡の表示が設定されます。



■ 走行軌跡を消去する

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ▾ → **ナビ設定** → **表示** にタッチする

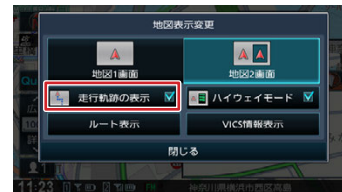
2 **走行軌跡を消去** にタッチする



3 **はい** にタッチする
走行軌跡が消去されます。

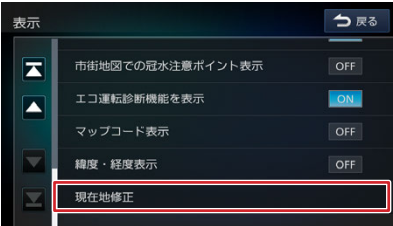

📖 知識

- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 走行軌跡の間隔は、約 100m 単位になります。地図の縮尺により表示される間隔は変わります。
- 「走行軌跡の表示」を“OFF”に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。
- **現在地** を押し、**Quick** → **地図画面表示変更** → **走行軌跡の表示** にタッチしても、走行軌跡表示の ON/OFF を切り替えることができません。
 (チェックを付ける) : 走行軌跡を水色の点で表示します。
 (チェックを外す) : 走行軌跡を表示しません。



地図画面の見かたと操作 自転車の現在位置を修正する

地図の表示が実際の自転車の位置や向きとずれたときに、地図の自転車位置と向きを修正します。

1	メニュー を押し、情報・設定 ▾ → ナビ設定 → 表示 にタッチする
2	<p>現在地修正 にタッチする 地図が表示されます。</p> 
3	<p>地図をスクロールして、自転車マークを 実際の位置に合わせる</p> 
4	向きを修正 にタッチする

知識

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。
➡ 地図の縮尺を変える (P.64)

地図画面の見かたと操作 自転車の現在位置を修正する

前のページから

5

**〔 〕 または [] にタッチして、
自転車の向きを設定する**



6

〔決定〕 にタッチする
自転車位置が修正され、現在地図画面が表示されます。

知識

- 手順6で〔決定〕にタッチする前なら、〔位置を修正〕または〔向きを修正〕にタッチして、何度でも自転車位置や向きを修正することができます。
- 手順6で〔決定〕にタッチする前に〔戻る〕にタッチすると、修正した自転車位置や向きは破棄されて、表示画面に戻ります。

地図画面の見かたと操作

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

地図記号の凡例



記号	名称
	信号機
	都道府県庁舎
	市特別区庁舎
	町村指定都市区庁舎
	官庁公共施設
	警察
	消防
	学校
	郵便局
	病院
	デパート / スーパー
	カー用品店
	IC

記号	名称
	SA
	PA
	パーキング
	工場
	飛行場
	フェリー
	港
	料金所
	マリーナ
	史跡名所
	城跡
	神社
	寺院
	教会

記号	名称
	海水浴場
	ゴルフ場
	スキー
	キャンプ
	遊園地
	動物園
	公園
	ホテル
	スタジアム
	スポーツ施設
	植物園
	美術館
	博物館
	水族館

記号	名称
	図書館
	テーマパーク
	城・天守閣
	展望タワー
	温泉
	山頂
	自衛隊
	墓地
	ボウリング場
	サッカー
	競馬場ウィンズ
	大学
	短大
	高専

記号	名称
	高校
	中学校
	小学校
	特別支援学校
	保健所
	税務署
	発電所
	裁判所
	灯台
	ホール
	スマート IC
	その他の目的物
	NTT
	サーキット

記号	名称
	テニスコート
	ディスカウントストア

記号	名称
	ビルアパート名称
	道の駅
	ヘリポート

記号	名称
	乗馬
	体育館
	牧場

記号	名称
	自動車学校
	トンネル
	船着場(観光船等)

記号	名称
	野球場
	展望台

- サービスエリア (SA) やパーキングエリア (PA) などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称
	IC
	スマートIC
	SA
	PA
	JCT
	IC/JCT (併設)

記号	名称
	IC/SA (併設)
	IC/PA (併設)
	SA/JCT (併設)
	PA/JCT (併設)
	料金所

記号	名称
	スマートIC
	ガソリンスタンド
	ショッピング
	レストラン
	スナック
	ドッグラン

記号	名称
	ハイウェイ オアシス
	インフォメーション
	休憩所
	ハイウェイ情報 ターミナル

記号	名称
	ベビーコーナー
	ATM
	障害者用トイレ
	トイレ

📖 知識

- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。
また、複数の施設を代表して1つのマークで表示されることもあります。

①

行き先を探す

「目的地」画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。

➡ 行き先を探す (P.78)



地図画面から

地図をスクロールして行き先を探します。

➡ 地図をスクロールする (P.61)



②

行き先に設定する

「目的地」にタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。

➡ 目的地に設定してルートを探索する (P.96)



知識

- 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。
➡ 経由地を追加する (P.120)

③

ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。

➡ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)



推奨 / 距離 / 高速 / 一般 / エコ
指定した条件でルートを探索します。
➡ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)

入インターチェンジ / 出インターチェンジ
利用するインターチェンジを変更します。
➡ 利用するインターチェンジを変更する (P.123)
高速道路・有料道路を使用するときに表示されます。

ルート情報

選択したルートの情報を確認します。
➡ 走行中のルート全体の表示やデモ走行を確認する (P.125)

④

案内を開始する

案内開始にタッチする

ルート案内がはじまります。



ルート案内を開始した後は

- 経由地の設定・入れ替え
途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。
➡ 経由地を追加する (P.120)、➡ 目的地・経由地の順番を入れ替える (P.121)
- ルート消去
ルート案内を中止します。
➡ ルート案内を終了する (P.117)

目的地を探す 行き先を探す

本機の目的地メニュー画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探ることができます。

1

メニュー を押し、画面右側の [◀] にタッチする

2

<メニュー項目> を選択する



知識

- スマートフォンアプリケーションの「NaviCon」を利用して目的地を設定することもできます。
詳しくは ➡ NaviCon の操作 (P.252) をご覧ください。

<メニュー項目>

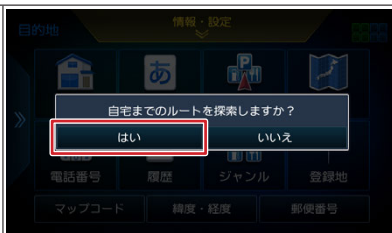
自宅	現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。 あらかじめ自宅の登録が必要です。	➡ 自宅へ帰る (P.79) ➡ 自宅を登録する (P.40)
名称	施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。	➡ 名称から探す (P.80)
周辺施設	現在地やルート沿いの周辺施設をジャンルで探します。	➡ 周辺施設から探す (P.85)
住所	住所から行き先を探します。	➡ 住所から探す (P.88)
電話番号	電話番号を入力して行き先を探します。	➡ 電話番号から探す (P.91)
履歴	いままでにルートを探索した行き先から探します。	➡ 履歴から探す (P.89)
ジャンル	食事や買い物など、ジャンルで行き先を探します。	➡ ジャンルから探す (P.83)
登録地	本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。	➡ 登録地から探す (P.87)
マップコード	マップコードを入力して行き先を探します。	➡ マップコードから探す (P.92)
緯度・経度	緯度・経度を入力して行き先を探します。	➡ 緯度・経度から探す (P.93)
郵便番号	郵便番号を入力して行き先を探します。	➡ 郵便番号から探す (P.94)

目的地を探す 自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。
あらかじめ本機に自宅を登録しておく必要があります。➡ [自宅を登録する \(P.40\)](#)

1 **メニュー** を押し、画面右側の **☰** にタッチして、
目的地メニューで **自宅** にタッチする

2 **はい** にタッチする



3 探索条件にタッチして **案内開始** にタッチする
自宅へのルート案内が開始されます。
➡ [ルートの探索条件を選択して案内を開始する \(P.98\)](#)



知識


- 自宅が未登録の場合は、「自宅が登録されていません。自宅を登録しますか?」というメッセージが表示され、**はい** を選ぶと自宅を登録できます。

目的地を探す 名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1	<p>メニュー を押し、画面右側の ≪ をタッチして、目的地メニューで 名称 にタッチする</p>
2	<p>施設の名前を入力して、検索 にタッチする</p> 
3	<p>目的の施設にタッチする 表示する順番を変えることができます。 距離順：検索結果を距離順で表示します。 名称順：検索結果を名称順で表示します。 ジャンルで絞り込む → ジャンルで絞り込む (P.81)、エリア指定 → エリアを指定して検索する (P.82) にタッチすると、検索結果を絞り込むことができます。</p> 
4	<p>決定 にタッチする 地点情報画面が表示されます。 → 目的地に設定してルートを探る (P.96)</p>

知識

- 入力候補：文字を入力するたびに、過去に入力 / 検索した文字列の中から表示優先度の高いものを順に入力候補として表示します。
- **一覧** にタッチすると、入力候補を最大 5 件表示します。
- 施設名の入力は通常の文字で入力してください。
 - 「・」（濁点）や 「°」（半濁点）は省略できます：例）が→か、ぱ→は
 - 「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）：例）っ→つ、ゃ→や
- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が 5 件以下になると、自動的に手順 3 の画面が表示されます。
- 手順 3 で検索した施設は、200 件まで表示します。
- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なとき（Bluetooth 接続中）は  にタッチして電話をかけることができます。
- **≪≪** にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

■ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

※ MJE18D-EV では、EV 充電スポットがリストのはじめにあり、すばやく選ぶことができます。

1 検索結果画面 ➡ 名称から探す (P.80) の手順 3 で **ジャンルで絞り込む** にタッチする

2 検索したいジャンルにタッチする
さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。
全て検索 にタッチすると、選択ジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。





3 目的の施設にタッチする
表示する順番を変えることができます。
距離順：検索結果を距離順で表示します。
名称順：検索結果を名称順で表示します。
エリア指定 ➡ エリアを指定して検索する (P.82) にタッチすると、検索結果を絞り込むことができます。



4 **決定** にタッチする
地点情報画面が表示されます。
➡ 目的地に設定してルートを探る (P.96)

知識

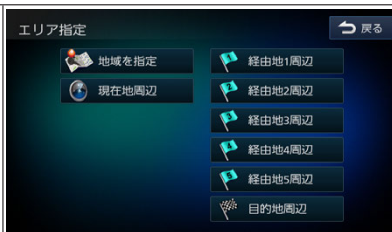
- 手順 2 で検索した施設は、200 件まで表示します。
- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なとき（Bluetooth 接続中）は  にタッチして電話をかけることができます。
-  にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

■ エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 検索結果画面 ➡ 名称から探す (P.80) の手順 3 で **エリア指定** にタッチする

2 指定したい項目にタッチする
地域を指定 : 地域 (都道府県から) を入力して検索します。
現在地周辺 / **目的地周辺** / **経由地 1 周辺** ~ **経由地 5 周辺** : 指定した地点の周辺地図が表示されます。





3 目的の施設にタッチする
表示する順番を変えることができます。
距離順 : 検索結果を距離順で表示します。
名称順 : 検索結果を名称順で表示します。



4 **決定** にタッチする
地点情報画面が表示されます。
➡ **目的地に設定してルートを探る** (P.96)

知識

- 手順 2 の **目的地周辺** / **経由地 1 周辺** ~ **経由地 5 周辺** は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。
- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なとき (Bluetooth 接続中) は  にタッチして電話をかけることができます。
-  にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

目的地を探す ジャンルから探す

食事や買い物など、目的のジャンルから行き先を探します。

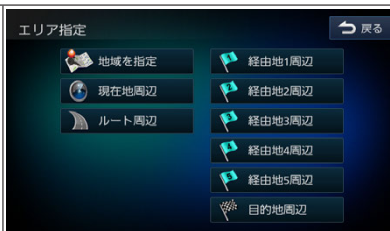
※ MJE18D-EV では、EV 充電スポットがリストのはじめにあり、すばやく選ぶことができます。

1 **メニュー** を押し、画面右側の **戻る** をタッチして、目的地メニューで **ジャンル** にタッチする

2 検索したいジャンルにタッチする
さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。
全て検索 にタッチすると、選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。



3 指定したい項目にタッチする
地域を指定：地域（都道府県から）を入力して検索します。
現在地周辺 / **経由地 1 周辺** ～ **経由地 5 周辺** / **目的地周辺**：指定した地点の周辺地図を表示します。
ルート周辺：ルート前方にある施設を表示します。



知識

- 手順 3 の **ルート周辺** / **経由地 1 周辺** ～ **経由地 5 周辺** / **目的地周辺** は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されません。
- 手順 3 の **ルート周辺** は現在地周辺の半径 10km 以内でルート前方両側にある施設を検索します。（最大 200 件）その他は指定した地点を中心とした半径 50km 以内で検索します。（最大 200 件）
- **ルート周辺** 検索をしたときに、一般道路のルート周辺に高速道路・有料道路の施設が表示されることがあります。

目的地を探す ジャンルから探す

前のページから

4 目的の施設にタッチする





5 決定 にタッチする

地点情報画面が表示されます。

➡ 目的地に設定してルートを探る (P.96)

知識

- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なおき (Bluetooth 接続中) は  にタッチして電話をかけることができます。
-  にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

目的地を探す 周辺施設から探す

現在地やルート沿いの周辺施設を探します。

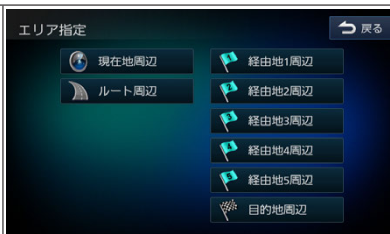
※ MJE18D-EV では、EV 充電スポットがリストのはじめにあり、すばやく選ぶことができます。

1 **メニュー** を押し、画面右側の **◀** をタッチして、**目的地メニュー** で **周辺施設** にタッチする

2 **検索したいジャンルにタッチする**
さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。
全て検索 にタッチすると、選択したジャンル全て（下層の分類も含む）で検索します。



3 **指定したい項目にタッチする**
現在地周辺 / **経由地 1 周辺** ~ **経由地 5 周辺** / **目的地周辺** : 指定した地点の周辺地図を表示します。
ルート周辺 : ルート前方にある施設を表示します。



知識

- 手順 3 の **ルート周辺** / **経由地 1 周辺** ~ **経由地 5 周辺** / **目的地周辺** は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されません。
- 手順 3 の **ルート周辺** は現在地周辺の半径 10km 以内でルート前方両側にある施設を検索します。(最大 200 件) その他は指定した地点を中心とした半径 50km 以内で検索します。(最大 200 件)
- **ルート周辺** 検索をしたときに、一般道路のルート周辺に高速道路・有料道路の施設が表示されることがあります。

前のページから

4 目的の施設にタッチする





5 決定 にタッチする

地点情報画面が表示されます。

➡ 目的地に設定してルートを探る (P.96)

知識

- 施設に電話番号情報があり、ハンズフリー通話が可能なき (Bluetooth 接続中) は  にタッチして電話をかけることができます。
-  にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

目的地を探す 登録地から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

- 1** **メニュー** を押し、画面右側の **◀** をタッチして、**目的地メニュー** で **登録地** にタッチする

- 2** **グループ名** にタッチする
未分類、**グループ1** ~ **グループ50** を選んだ場合は、手順 3 へ進んでください。
未分類、**グループ1** ~ **グループ50** 以外を選んだ場合は、地点情報画面が表示されます。
➡ **目的地** に設定してルートを探索する (P.96)



- 3** **目的の施設** にタッチし、**決定** にタッチする
地点情報画面が表示されます。
➡ **目的地** に設定してルートを探索する (P.96)



📖 知識

- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は [➡ 地点を登録する \(P.126\)](#) をご覧ください。
- 登録地点の編集については、[➡ 登録地を編集する \(P.128\)](#) をご覧ください。
- **◀◀** にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

目的地を探す 住所から探す

住所から行き先を探します。

1

メニュー を押し、画面右側の **≪** をタッチして、
目的地メニューで **住所** にタッチする

2

画面に従って行き先にしたい住所を
選ぶ

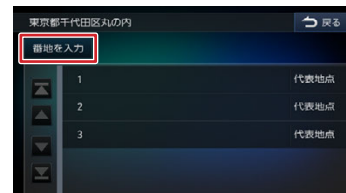
地点情報画面が表示されます。

➡ 目的地に設定してルートを探索する
(P.96)



知識

- 最初に現在地周辺の都道府県が4つまで表示されます。
- **あ**～**わ** にタッチすると都道府県名、市区町村名、地名を頭だしします。
(例：**あ** にタッチすると「あ」を頭だしします。もう一度 **あ** にタッチすると、「い」を頭だしします。)
- **代表地点** にタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。
- **番地を入力** にタッチすると番地の入力画面が表示されます。番地（丁目、番、号など）を10キーで入力できます。



目的地を探す 履歴から探す

いままでにルートを探した行き先を探します。

- 1 **メニュー** を押し、画面右側の **◀** をタッチして、**目的地メニュー** で **履歴** にタッチする

- 2 **検索履歴** にタッチする





- 3 **決定** にタッチする
地点情報画面が表示されます。
➡ [目的地に設定してルートを探索する \(P.96\)](#)

📖 知識

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に消去されます。
- **◀◀** にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

履歴を消去する

履歴地点を消去します。

<p>1</p>	<p>検索履歴画面で 消去 にタッチする</p>	 A screenshot of the '検索履歴' (Search History) screen. It shows a map of the area around Utsunomiya Station and a list of search results on the right. The '消去' (Delete) button at the bottom of the list is highlighted with a red box.
<p>2</p>	<p>消去する履歴地点にタッチする 履歴は複数選択することもできます。 選択した項目は <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) が付きます。 全て選択：リスト内のすべての地点を選択します。 全て解除：リスト内のすべての地点の選択を解除します。</p>	 A screenshot of the '検索履歴消去' (Delete Search History) screen. The list of search results is shown with checkboxes next to each item. At the bottom, there are buttons for '全て選択' (Select All), '全て解除' (Deselect All), and '消去' (Delete).
<p>3</p>	<p>消去 にタッチして、はい にタッチする 選択した履歴地点が消去されます。</p>	

知識

- 消去した履歴地点は元に戻せません。消去する履歴を間違えないように操作してください。
- **◀◀** にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

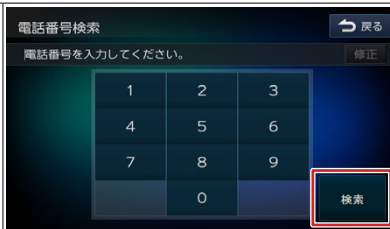
目的地を探す 電話番号から探す

電話番号から行き先を探します。

1 **メニュー** を押し、画面右側の **☰** をタッチして、**目的地メニュー** で **電話番号** にタッチする

2 **電話番号** をハイフン (-) なしで入力して、**検索** にタッチする
修正 にタッチすると、カーソルの前にある文字を消去します。
タッチし続けると全ての文字を消去します。

複数の施設情報があつた場合は、手順 3 へ進みます。
施設情報が 1 件のみの場合は、地点情報画面が表示されます。
➡ **目的地に設定してルートを探る** (P.96)



3 **決定** にタッチする
地点情報画面が表示されます。➡ **目的地に設定してルートを探る** (P.96)

📖 知識

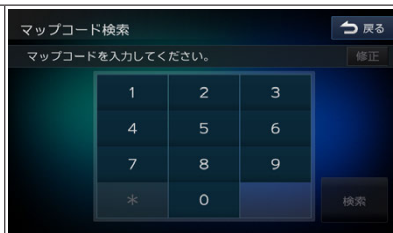
- 電話番号の全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。**検索** にタッチする必要はありません。
- 入力した電話番号に該当する施設がない場合は、「入力した電話番号の施設がありません。付近の地図を表示します。」というメッセージが表示され、局番が使用されている地域の代表地点の地図が表示されます。
- 局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 訪問宅（個人宅）の検索はできません。

目的地を探す マップコードから探す

マップコードから行き先を探します。

- 1** **メニュー** を押し、画面右側の **⏪** をタッチして、
目的地メニューで **マップコード** にタッチする

- 2** **マップコードを入力する**
修正 にタッチすると、カーソルの前にある文字を消去します。
タッチし続けると全ての文字を消去します。



- 3** **検索** にタッチする
地点情報画面が表示されます。➡ **目的地に設定してルートを探る (P.96)**

知識

- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページをご覧ください。
<http://www.e-mapcode.com/>

目的地を探す 緯度・経度から探す

緯度・経度から行き先を探します。

- 1** **メニュー** を押し、画面右側の **◀** をタッチして、
目的地メニューで **緯度・経度** にタッチする

- 2** **緯度・経度を入力する**
修正 にタッチすると、カーソルの前にある文字を消去します。
タッチし続けると全ての文字を消去します。



- 3** **検索** にタッチする
地点情報画面が表示されます。➡ **目的地に設定してルートを探る** (P.96)

📖 知識

- 入力した緯度・経度に該当がない場合は、メッセージが表示されます。
- 緯度・経度は、日本測地系の数値を入力してください。

目的地を探す 郵便番号から探す

郵便番号から行き先を探します。

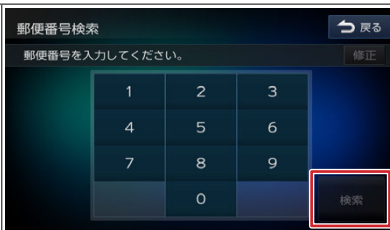
1

メニュー を押し、画面右側の **☰** をタッチして、
目的地メニューで **郵便番号** にタッチする

2

郵便番号をハイフン (-) なしで入力して、
検索 にタッチする
修正 にタッチすると、カーソルの前にある文字を消去します。
タッチし続けると全ての文字を消去します。

複数の施設情報があつた場合は、
手順 3 へ進みます。
施設情報が 1 件のみの場合は、
地点情報画面が表示されます。
➡ 目的地に設定してルートを探索する (P.96)



3

決定 にタッチする
地点情報画面が表示されます。➡ 目的地に設定してルートを探索する (P.96)

知識

- 郵便番号の全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。**検索** にタッチする必要はありません。
- 郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 入力した郵便番号に該当がない場合は、メッセージが表示されます。

目的地を探す 提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、**提携P**が表示されます。提携駐車場を目的地に設定することができます。

1 地点情報画面で **提携P** にタッチする



2 目的の駐車場にタッチする



3 **決定** にタッチする

地点情報画面が表示されます。

➡ 目的地に設定してルートを探索する (P.96)

知識

- ◀◀◀ にタッチすると、名称をスクロールして表示します。

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

1

👉 行き先を探す (P.78) で目的地を設定する

地点情報画面が表示されます。

2

目的地 にタッチする

表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。

すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。

👉 ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)



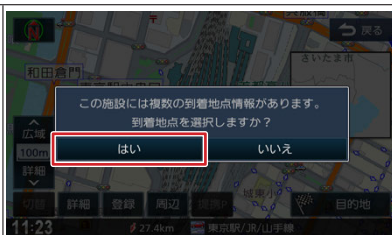
📖!知識

- ルート探索時にスマート IC やフェリーを使用するように設定することができます。
👉 ルート探索の設定 (P.101)
- **提携P** が表示されたときは
👉 提携駐車場を行き先に設定する (P.95) をご覧ください。
- 経由地を設定する場合は
👉 経由地を追加する (P.120) をご覧ください。
- 「目的地（経由地）付近に高速道 / 有料道が存在します。目的地（経由地）をどちらの道路に設定しますか？」と表示されたとき
 - **高速道/有料道**：高速道路・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
 - **一般道**：一般道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか？」と表示されたときは、👉 複数の到着地点情報があったとき (P.97) をご覧ください。

■ 複数の到着地点情報があったとき

検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 はい にタッチする



2 目的の施設にタッチする



3 決定 にタッチする

選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索がはじまります。

➡ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)

1	<p><ルートの探索条件>にタッチする</p> <p>目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および入口と出口のIC名が表示されます。</p>	
2	<p>案内開始 にタッチする</p> <p>ルート案内が開始されます。</p> <p>➡ ルート案内画面の見かた (P.103)</p> <p>目的地に到着すると、自動的にルート案内を終了します。</p>	

📖!知識

- ルート情報** にタッチすると、選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。
- 入インターチェンジ** / **出インターチェンジ** にタッチすると、利用するインターチェンジを変更します。

➡ 利用するインターチェンジを変更する (P.123) 高速道路・有料道路を使用するときに表示されます。

<ルートの探索条件>

推奨	本機が推奨するルートです。
距離	走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。
高速	高速道路・有料道路を優先的に通るルートです。
一般	一般道路を優先的に通るルートです。一般道路だけで目的地に到達できない場合は、高速道路・有料道路を通るルートになることがあります。
IC	高速道路・有料道路を使用し、一般道路では走行距離が短くなるルートです。
全行程	すべての条件でルートを探します。各条件のルートと比較することができます。


📖!知識

- 目的地を設定したあと **案内開始** にタッチする前に走行すると、ルート案内を開始します。
- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「¥～以上」または「¥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。
- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。
- ルート上に時間規制道路がある場合は、自動で自車位置からのルートを再計算します。時間規制情報は、地図データベース作成当時のものです。実際の規制情報と異なる場合があります。


探索条件について

- **距離** を選択した場合、細い道路ばかりのルートや、高速道路・有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。

スマート IC を利用したルートの案内について

- ルート検索にスマート IC を利用する場合は、設定が必要です。➡ [ルート探索の設定 \(P.101\)](#)
- スマート IC を利用したルートの場合は、「料金」表示にスマート IC アイコン () が表示されます。
- スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

フェリーを利用したルートの案内について

- ルート検索にフェリーを利用する場合は、設定が必要です。➡ [ルート探索の設定 \(P.101\)](#)
- 「フェリーを利用した探索」を“ON”にしてもフェリー航路を優先しない場合があります。
- フェリーを利用したルートの場合は、「所要時間」表示にフェリーアイコン () が表示されます。
- 「料金」表示にはフェリーの使用料は含まれていません。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみをの航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間や運行状況などをご確認ください。

VICSによるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報（通行止めなど）を受信している場合、規制を考慮したルートを探します。
- ルート案内中に規制のある箇所近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

■ 渋滞考慮探索（最適時間考慮探索）

最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。（最適時間考慮探索）

ルート学習による自宅周辺の探索

ルート案内中に自宅から半径約 2km 以内で案内ルートを外れて別のルートを数回走行すると、そのルートを学習します。学習したルートは自宅周辺の探索に使用します。学習するまでの走行回数は、道路の種類や道路幅で異なります。狭い道路や案内ルートよりも距離が遠い場合などは学習するまでの回数が増えます。

- 学習した結果をルート探索に使用しないように設定することもできます。
 ➡ [ルート探索の設定 \(P.102\)](#)
- 学習したルートを初期化することもできます。 ➡ [ルート探索の設定 \(P.102\)](#)
- 本機に登録した自宅を消去、変更したときと、本機の地図更新を行った場合も学習したルートは初期化されます。
- 下記の検索条件ではルート学習を行いません。
 - 本機に自宅を登録していない
 - ルート案内をしていない
 - 自宅から半径約 2 km を超える場所
 - 案内ルートをまたぐ細街路
 - 上記以外でも道路状況によって学習しない場合があります。

📖 知識


- ナビ設定の「最適時間を考慮した探索」で渋滞考慮探索をするか設定します。
 ➡ [ルート探索の設定 \(P.102\)](#)
- 渋滞考慮探索は、ルート探索時点で所要時間が最短と予測されるルートを表示するものであり、必ずしも渋滞を回避するものではありません。渋滞の道路を案内したり、渋滞の無い道路を迂回したりする場合があります。また実際の最適時間ルートとならない場合があります。

ルートの探索と案内 ルート探索の設定

各種探索条件やルート学習など、ルートの探索に関する設定ができます。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **ナビ設定** → **探索** にタッチする

2 **<設定項目>** にタッチする



<設定項目> (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、エコ	優先する探索条件を設定します。 ➡ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)
料金表示	軽、5・7ナンバー*、3ナンバー、1ナンバー	本機の料金表示をどの車種の料金で表示するか設定します。 ※日産販売会社で設定済みの場合があります。
道幅の広い道路	優先しない：道幅を考慮せずルートを探します。 優先する*：道幅の広い道路を優先して通るルートを探します。 最優先する：道幅の広い道路を最優先して通るルートを探します。	
スマートICを利用した探索	ON/OFF*	スマートICを利用した探索のON(探索する)、OFF(探索しない)を設定します。 ※スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索のON(探索する)、OFF(探索しない)を設定します。

項目	設定	説明
最適時間を考慮した探索	ON*/OFF	VICS の渋滞情報を考慮した探索の ON（探索する）、OFF（探索しない）を設定します。
ルート学習	ON*/OFF	自宅から半径2km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行すると、実際に走行するルートをナビが学習します。ルート探索時、このルート学習の ON（ルート学習を使用する）、OFF（ルート学習を使用しない）を設定します。
ルート学習初期化	—	学習したルートを初期化します。タッチするとメッセージが表示されます。 はい にタッチすると初期化が開始されます。
到着予想時刻用の平均速度：高速道	5 ~ 100km/h 80km/h*	高速自動車国道走行時の到着予想時刻を計算する平均速度を設定します。
到着予想時刻用の平均速度：有料道	5 ~ 100km/h 60km/h*	高速自動車国道以外の有料道路走行時の到着予想時刻を計算する平均速度を設定します。
到着予想時刻用の平均速度：一般道	5 ~ 60km/h 25km/h*	一般道路走行時の到着予想時刻を計算する平均速度を設定します。
到着予想時刻用の平均速度初期化	—	すべての平均速度を初期設定に戻します。タッチするとメッセージが表示されます。 はい にタッチすると初期化が開始されます。

ルートの探索と案内 ルート案内画面の見かた

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。



① 到着予想時刻と距離

目的地または経由地への到着予想時刻と距離が表示されます。経由地を設定している場合は、この表示をタッチするたびに、目的地または次の経由地に切り替わります。

② 次案内ポイント情報

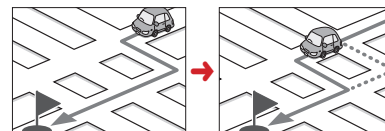
次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

🚗 アドバイス

- 本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

📖 知識

- 案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



③ 次々案内ポイント情報

次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

④ 案内ルート

目的地または経由地までのルートです。

道路の種類(一般道路/高速道路・有料道路/細街路)によって色分けして表示されます。

一般道路：緑色

高速道路・有料道路：水色

細街路：ピンク色

⑤ ◆案内ポイント


割り込み表示が行われる地点を示します。➡案内ポイントでの割り込み表示 (P.108)

⑥ 自転車位置マーク

自転車位置と進行方向を示します。

⑦ レーン情報表示

 (白色矢印)：案内レーン

 (水色矢印)：推奨通過レーン

⑧ 目的地方向表示

目的地の方向が直線で表示されます。

⑨ 案内ポイントの割り込み表示

交差点案内図 ➡ 交差点案内図の表示 (P.108)、または「ここです案内」

➡ ここです案内表示 (P.110) が表示されます。

 知識

- 「ここです案内」 ➡ ここです案内表示 (P.110) はお買い上げ時は「OFF」に設定されています。「ON」に設定しているときに表示されます。

ルートの探索と案内 ルート案内画面の見かた

高速道路でのルート案内

高速道路・有料道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。



① 目的地方向表示

目的地の方向が直線に表示されます。

② 案内ルート

目的地までの経路が表示されます。

③ 自車マーク

自車位置と進行方向を示します。

④ ハイウェイモード画面

高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。

高速分岐イラスト 高速道分岐イラストの表示 (P.109)、または「ここです案内」

ここです案内表示 (P.110) が表示されます。

アドバイス

- 本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

知識

- 案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。
- 一部の有料道路でもハイウェイモード画面が表示されます。
- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路・有料道路を走行中に表示されます。ただし、高速道路・有料道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。
- 「ここです案内」 ここです案内表示 (P.110) はお買い上げ時は「OFF」に設定されています。「ON」に設定しているときに表示されます。

⑤ 規制情報表示

車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が3件までマークで表示されます。マークにタッチすると詳細情報を表示します。情報が複数あるときはリストが表示されます。見たい情報にタッチすると詳細情報を表示します。



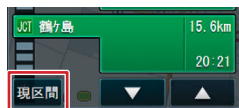
⑥ 施設名称 / 施設案内表示

進行方向にあるインターチェンジ（IC）/ ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。施設情報に表示される設備のマークは、最大8個です。SA・PAの場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。



⑦ スクロールボタン / 現区間

ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると「現区間」ボタンが表示されます。「現区間」にタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。



⑧ 交通情報表示

施設間の渋滞・混雑情報が以下の色で表示されます。
灰色：順調、橙色：混雑、赤色：渋滞

知識

交通情報表示

- 施設間の渋滞・混雑情報が取得できていない場合は、灰色の表示となります。

■ハイウェイモード画面の表示設定をする

1

現在地 を押し、Quick → 地図画面表示変更 にタッチする



2

ハイウェイモード にタッチする
表示設定が切り替わり、現在地図画面に戻ります。
 (チェックを付ける)：ハイウェイモード画面を表示します。
 (チェックを外す)：ハイウェイモード画面を表示しません。



案内ポイントに近づくと、交差点案内図、高速道分岐イラスト、「ここです案内」が割り込み表示されます。

案内ポイントでの割り込み表示について

- 割り込み表示は、現在地画面で表示されます。
- AV 画面を表示しているときに割り込み表示があると、割り込み表示画面に切り替わります。
- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。
- **④ ルート案内の設定 (P.116)**
- 割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示にタッチしてください。消した割り込み表示は、画面右上の **▲** にタッチするともう一度表示できます。

知識

- 「ここです案内」表示はお買い上げ時は「OFF」に設定されています。表示するには設定を「ON」にしてください。
- **④ ルート案内の設定 (P.116)**
- 連続する交差点間の距離が短い場合は、交差点拡大図などの各交差点表示が行われない場合があります。

交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m (高速道路・有料道路は約 800m) 手前に近づくと表示されます。



■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。



高速道分岐イラストの表示

高速道路・有料道路では、分岐する案内ポイントに近づくると高速道分岐イラストが表示されます。

場所によっては、イラスト情報がありません。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。



■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。



■ 出口後分岐

高速道路・有料道路の本線から出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づく则表示されます。



場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。



■ 料金所通過後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。



ETC レーン案内表示

出口または本線料金所に近づくとき、料金所ゲートのETCレーン案内が表示されます。ETCレーン案内は、ルート案内していないときにも表示されます。場所によってはETCレーン案内情報がない場合があります。その場合は表示されません。



知識

- ETCレーン案内の表示はお買い上げ時は「ON」に設定されています。ETCレーン案内を表示しない（ETCを利用しない）場合は、ETCレーンの表示の設定を「OFF」にしてください。
➡ ルート案内の設定 (P.116)

ここです案内表示

曲がる地点の約300m（高速道路・有料道路は約1.2km）手前に近づくとき、曲がる方向とそこまでの距離が表示されます。



知識

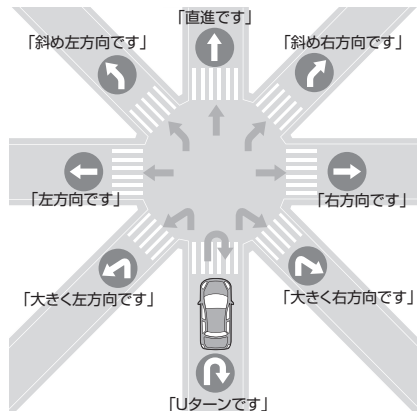
- 「ここです案内」表示はお買い上げ時は「OFF」に設定されています。表示するには設定を「ON」にしてください。
➡ ルート案内の設定 (P.116)

音声案内の種類

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。

■ 進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞考慮探索（最適時間考慮探索）

最適時間を考慮してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 逆走報知の音声案内

高速道路で逆走してしまったときに、音声案内を行います。

➡ [高速道路での逆走報知について \(P.114\)](#)

知識

- 音声案内の前には“ボン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。
➡ [ルート案内の設定 \(P.115\)](#)
- 音声案内の音量調整は ➡ [音量 \(P.267\)](#) をご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。➡ [音量 \(P.267\)](#)
- 音声案内時に **AV** を押すと案内を中止するように設定できます。
➡ [ルート案内の設定 \(P.116\)](#)
- 案内ポイントの直前では“ボンボン”と音が鳴ります。
- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。これらの音声出力の設定は変更することができます。

🔍 ルート案内の設定 (P.115)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行するレーンにご注意ください。
	この先、走行するレーンにご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行するレーンにご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)

■ VICS 渋滞 / VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います（ルート案内中以外でも音声案内を行います）。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名) を先頭に、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、(交差点名) を先頭に、渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、〇〇 km/m 渋滞しています。
	およそ〇〇 km/m 先、渋滞しています。

📖 知識

- 合流案内は都市高速道路のみで音声案内します。入ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

案内の種類	音声
VICS 車線規制	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。
	およそ〇〇 km/m 先、車線規制があります。左へお寄りください。

■ 盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。

案内の種類	音声
盗難多発地点	目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。
	現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

■ 挨拶の音声案内

本機の電源をオンしたとき、曜日や時間帯に応じた音声案内を行います。

案内の種類	音声
挨拶メッセージ	今日も安全運転でいきましょう。
	お酒を飲んだら、運転はやめましょう。

■ その他の音声案内

その他、状況に応じた音声案内を行います。

案内の種類	音声
休憩案内	そろそろ2時間になります。休憩しませんか？
携帯電話接続確認案内	携帯電話が接続されていません。携帯電話を忘れていませんか？

ルートの探索と案内 高速道路での逆走報知について

高速道路で逆走してしまったときに、画面表示と音声で運転者にお知らせします。

■ 画面表示

逆走報知画面は **現在地** を押す、または **閉じる** にタッチすると表示を解除できます。



■ 音声案内

案内の種類	音声
逆走報知	逆走しています。

⚠ 注意

- 高速道路での逆走報知機能は状況によって、報知しないことや報知の内容が実際の状況と異なることがあります。実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。
- 高速道路上で逆走をしてしまった場合は安全を確保したうえで、高速道路上に設置された非常電話などで指示を受けるようにしてください。

📖 知識

- 下記のような条件などの場合には、画面表示、音声で報知しないことや、報知内容が実際の状況と異なることがあります。
 - 走行条件が複雑な都市高速道路のインターチェンジ付近における逆走
 - 周囲に分岐・合流のない本線道路上のUターン
 - ダッシュボードの上に物を置いたなどGPS信号が受信できない場合
 - トンネルなどの遮断によりGPS信号が受信できない場合
 - 高架橋下や高層ビル群地帯などGPS信号が正しく受信できない場合
 - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
 - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行の場合

ルートの探索と案内 ルート案内の設定

ルート案内画面や案内音声など、ルートの案内に関する設定ができます。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **ナビ設定** → **案内** にタッチする

2 **<設定項目>** にタッチする



知識

- 各案内表示や音声は、地図データベース作成当時のものです。
 - データが収録されていない場所／交差点では、各案内は行われません。
 - 案内された内容が実際とは異なる場合があります。

<設定項目> (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	案内音量設定と車速に応じて、案内音量を自動で調整する機能の ON (調整する)、OFF (調整しない) を設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音の ON (出力する)、OFF (出力しない) を設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時または VICS 情報の案内音声の ON (出力する)、OFF (出力しない) を設定します。
合流/踏切/車線案内音声の出力	常に OFF : 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON : ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON* : 音声を出力します。	
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報の ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 ➡ 現在地図画面の見かた (P.50)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板の ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 ➡ 現在地図画面の見かた (P.51)

項目	設定	説明
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストの ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 ➡ 高速道分岐イラストの表示 (P.109)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図の ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。 ➡ 交差点案内図の表示 (P.108)
ここです案内表示		「ここです案内」表示 ➡ ここです案内表示 (P.110) を設定します。 ON : 表示します。 一般道のみ ON : 一般道路のみ表示します。 OFF* : 表示しません。
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内の ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。➡ ETC レーン案内表示 (P.110)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面の ON (割り込みする)、OFF (割り込みしない) を設定します。
休憩案内	ON*/OFF	電源オン状態のまま 2 時間経過すると休憩をうながす音声案内 (「休憩しませんか。’) の ON (音声案内する)、OFF (音声案内しない) を設定します。
高速道での逆走報知	ON*/OFF	高速道路上、SA/PA、IC、JCT で逆走してしまったときに、画面表示と音声で運転者にお知らせする逆走検知の ON (お知らせする)、OFF (お知らせしない) を設定します。➡ 高速道路での逆走報知について (P.114)
AV スイッチで案内音声の取り消し	ON/OFF*	案内音声を出力しているときに、 AV を押したときの音声案内の ON (音声案内を中止する)、OFF (音声案内を中止しない) を設定します。 ➡ 音声案内の種類 (P.111)

ルートの探索と案内 ルート案内の終了とルートの再探索

ルート案内を終了する

ルート案内を終了します。

1 **メニュー** を押し、**ルート** → **ルート消去** にタッチする

2 **はい** にタッチする
ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、エコ）を変更して、ルートを再探索します。

1 **メニュー** を押し、**ルート** → **再探索** にタッチする

2 探索条件を選んで **案内開始** にタッチする
選択したルートでルート案内が開始されます。



知識

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。
- 現在地画面の **Quick** → **ルート消去** にタッチしてもルート案内を終了することができます。👉 **Quickメニュー** の操作 (P.53) (Quickメニューに **ルート消去** 機能を設定しているとき)

知識

- 乗降 IC を指定しているときは、探索条件の選択ができません。探索条件を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。👉 **変更したインターチェンジを元に戻す** (P.124)

ルートの探索と案内 目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1

メニュー を押し、ルート → 目的地表示 にタッチする

2

表示する目的地または経由地にタッチする
選択した地点付近の地図画面が表示されます。



知識

- 経由地が設定されていないときは、手順2のリストは表示されません。

ルート編集画面を表示する

ルートの編集などをします。

1 **メニュー** を押し、**ルート** にタッチする

2 <メニュー項目>にタッチする



<メニュー項目>

ルート編集	経由地の順番の入れ替え、消去など、ルートの編集をします。	<ul style="list-style-type: none"> ➡ 目的地・経由地の順番を入れ替える (P.121) ➡ 目的地・経由地を消去する (P.122)
ルートの全表示	案内中のルート全体や、ルート情報を表示します。また、デモ走行を確認できます。	➡ 走行中のルート全体の表示やデモ走行を確認する (P.125)
ルート消去	ルート案内を終了します。	➡ ルート案内を終了する (P.117)
再探索	現在地から、探索条件を変更して、ルートを再探索します。	➡ ルートを再探索する (P.117)
目的地表示	目的地、経由地付近の地図画面を表示します。	➡ 目的地を表示する (P.118)

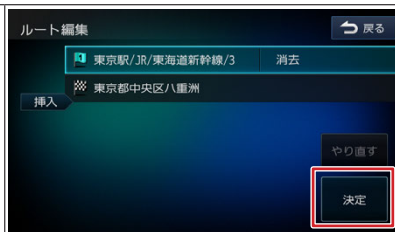
経路地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経路地）を目的地メニュー画面で探して追加します。経路地は5か所まで追加できます。

- 1** 行き先を探す ➡ **行き先を探す**
(P.78) から経路地に設定する地点にカーソルを合わせて、**経路地** にタッチする



- 2** 経路地の挿入位置を確認し、**決定** にタッチする
ルートの探索がはじまります。



- 3** 探索条件を選んで **案内開始** にタッチする
新しいルートで案内が開始されます。



知識

- 目的地が設定されていないときは経路地を設定できません。

知識

- **ルート編集** にタッチすると、到着順を編集することができます。
➡ 目的地・経路地の順番を入れ替える (P.121)

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。

目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 **メニュー** を押し、**ルート** → **ルート編集** にタッチする

2 順番を変更する行き先にタッチする



3 移動先の **挿入** にタッチする



4 **再探索** にタッチする

やり直す にタッチすると、到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで **案内開始** にタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

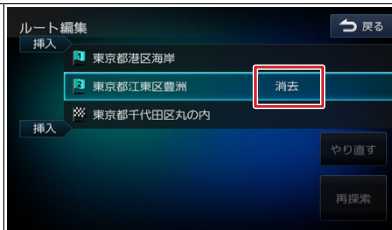
目的地・経由地を消去する

1 **メニュー** を押し、**ルート** → **ルート編集** にタッチする

2 消去する行き先にタッチする



3 **消去** にタッチする
選択した行き先が消去されます。



4 **再探索** にタッチする

5 探索条件を選んで **案内開始** にタッチする
新しいルートで案内が開始されます。

!知識

- 目的地を消去すると、最後の経由地が目的地になります。
- 消去した地点は元に戻せません。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

1 **メニュー** を押し、**ルート** → **再探索** にタッチする

2 変更したい入口または出口 IC にタッチする



3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ

切替 はタッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。**切替** にタッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。



4 **この IC に変更** にタッチする

5 **案内開始** にタッチする

指定した IC を通過するルートが探索されます。

知識

- 探索された入口または出口 IC を中心とした半径 40km 以内にある IC（対象地点に近い IC が、最大 36 件まで）を選ぶことができます。
- 手順 3 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、変更前と変更後の乗降 IC を確認するメッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を変更しようとする、経由地設定を解除するメッセージが表示され、**はい** にタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとする、乗降 IC 変更を解除するメッセージが表示され、**はい** にタッチすると乗降 IC の変更が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、変更した IC が入口 / 出口にならないルートを探る場合があります。
- スマート IC を利用するには設定が必要です。➡ [ルート探索の設定 \(P.101\)](#)
- スマート IC では、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 メニュー を押し、**ルート** → **再探索** にタッチする

2 **IC変更を解除** にタッチする



3 **案内開始** にタッチする
変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索されます。



走行中のルート全体の表示やデモ走行を確認する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションが地図画面上でできます。

1 **メニュー** を押し、**ルート** → **ルートの全表示** にタッチする

現在案内中のルートの全体地図と所要時間、距離、料金（ルートに有料道路がある場合）が表示されます。

2 **デモ走行** にタッチする

デモ走行を開始します。



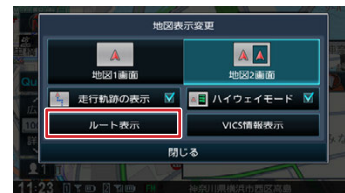
3 **デモ終了** にタッチする

デモ走行を終了します。



知識

- **ルート情報** にタッチすると、ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。
➡ ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)
- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。
- **x1** ~ **x3** にタッチすると、デモ走行の速度を変更できます。
- **現在地** を押し、**Quick** → **地図画面表示変更** → **ルート表示** にタッチしても、ルートの全表示画面を表示することができます。



場所を登録する 地点を登録する

地図のスクロールや目的地メニュー画面から探した地点を本機に登録します。
本機には1ユーザーにつき300件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 **登録** にタッチする



3 登録するグループ名にタッチする



4 **決定** にタッチする

地点が登録されます。

名称変更画面で登録する地点名称を編集することができます。

➡ [文字入力のしかた](#) (P.33)



知識

- **特別メモリ地点1** ~ **特別メモリ地点5** は、Quickメニューから簡単に目的地を設定できます。
➡ [Quickメニューの操作](#) (P.53)
- 地点名称は、後からでも編集することができます。
➡ [登録地を編集する](#) (P.128)
- グループ名は、編集することができます。
➡ [グループ名を編集する](#) (P.130)

場所を登録する 登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

- 1 **メニュー** を押し、画面右側の **☰** をタッチし、
目的地メニューで **登録地** にタッチする

- 2 見たい地点情報のグループ名にタッチ
する
登録地がリストで表示されます。



場所を登録する 登録地を編集する

自宅や特別メモリ地点、グループに登録した地点の名称や電話番号の編集とグループの変更ができます。

1 メニュー を押し、情報・設定 ▾ → ナビ設定 → 登録地編集 → 登録地編集 にタッチする

2 編集したい地点のグループ名にタッチする

3 編集したい地点にタッチし、
<編集項目>にタッチする



< 編集項目 >

名称	名称を編集します。	➡ 名称を編集する (P.129)
グループ	グループを変更します。	➡ グループを変更する (P.129)
電話番号	電話番号を設定および変更します。	➡ 電話番号を設定および変更する (P.129)

■ 名称を編集する

名称 にタッチし、名前を入力して **決定** にタッチする



■ グループを変更する

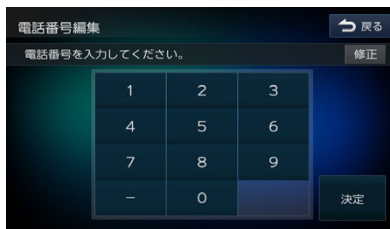
グループ にタッチして、設定したいグループにタッチする

設定したいグループが表示されていない場合は、上下にスクロールをしてください。



■ 電話番号を設定および変更する

電話番号 にタッチし、電話番号を入力して **決定** にタッチする



知識

- 文字の入力方法は [文字入力のしかた \(P.33\)](#) をご覧ください
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。
- 「自宅」、「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」が設定されているときに、別の地点をグループ変更で「自宅」、「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」に設定しようとするすると確認メッセージが表示されます。
- 登録地の住所は編集できません。

電話番号の編集

- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「-」は省略することもできます。

場所を登録する グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。

グループ名を編集する

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ▾ → **ナビ設定** → **登録地編集** → **グループ名編集** にタッチする

2 編集したいグループ名にタッチする

3 グループ名を編集して **決定** にタッチする



知識

- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点1」～「特別メモリ地点5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で48文字まで入力できます。

グループアイコンを編集する

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ⇩ → **ナビ設定** → **登録地編集** → **グループアイコン変更** にタッチする

2 編集したいグループ名にタッチする

3 変更したいアイコンにタッチする
アイコンが変更されます。
設定したいアイコンが表示されていない場合は、上下にスクロールをしてください。



📖!知識

- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点 1」～「特別メモリ地点 5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。

1

メニュー を押し、情報・設定 ▾ → ナビ設定 → 登録地編集 → 登録地消去 にタッチする

2

消去したい地点のあるグループ名にタッチする



3

消去したい地点にタッチし を付ける複数の地点を選択することもできます。
全て選択：リスト内のすべての地点を選択します。
全て解除：リスト内のすべての地点の選択を解除します。



4

消去 にタッチし、はい にタッチする
選択した登録地が消去されます。

知識

- 消去した登録地を元に戻す方法はありません。間違えないように、慎重に操作してください。

場所を登録する 自宅を変更する

本機に登録した自宅を変更します。

1 新しく登録したい自宅の地点情報画面を表示する

2 検索した地点の画面で「登録」に
タッチする



3 「自宅」にタッチする
「この地点を自宅として設定しますか？」
と表示されます。
「はい」にタッチする
タッチすると自宅が変更されます。
先に自宅として登録されていた地点は、
「未分類」グループに変更されます。



4 名称を編集して、「決定」にタッチする
この画面で自宅の名称を編集することが
できます。
➡ 文字入力のしかた (P.33)



知識

- 自宅を消去する場合は
➡ 登録地を消去する (P.132) をご覧ください。

VICIS 情報とは

VICIS (Vehicle Information and Communication System) は、一般財団法人日本道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

■ VICIS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、臨時交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICIS 情報は次の 3 つのレベル (種類) があります。

- **レベル 1 (文字型情報)**
情報が文字で表示されます。
- **レベル 2 (簡易図形型情報)**
情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3 (地図表示型情報)**
情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

■ VICIS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送 (NHK-FM) を通じて、VICIS の情報を受信することができます。また、2015 年 4 月に開始された VICIS サービス (FM 多重放送 「VICIS WIDE」) に対応しています。

■ VICIS 情報利用上のご注意

以下の点に注意してご利用ください。

- FM 多重放送
 - 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
 - サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所 (雑音、マルチパスなどによる) では、受信困難になることがあります。
 - 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります (情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります)。
 - FM 放送時間外は利用できません。

知識

- ラジオの交通情報については、
➡ ラジオで交通情報を聞く (P.159) をご覧ください。

地図に表示される VICs 情報

■ レベル 3 (地図表示型) 情報の表示

VICs 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報

- 赤色：満車
- 橙色：混雑
- 青色：空車
- 黒色：不明

渋滞情報

- 赤色：渋滞
- 橙色：混雑
- 水色：順調

統計情報による

渋滞線 (点線)

- 赤色：渋滞
- 橙色：混雑
- 青色：順調

● 気象・災害情報エリアの表示



気象・災害情報エリア

- ※気象・災害の危険度で赤色または黄色で表示します。

知識

- VICs のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ (<http://www.vics.or.jp/>) をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICs 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図に表示する VICs 情報は設定することができます。
➡VICs 情報の表示設定をする (P.143)
- 地図表示型 (レベル 3) 情報を表示できる地図の縮尺は 10m ~ 1km です (一般道路では 10m ~ 500m です。また、駐車場情報は 10m ~ 200m で表示します)。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。

■ 規制情報と駐車場情報で使用される主要なマーク

事故	通行止め 閉鎖	大型 通行止め	障害物 路上障害	チェーン 規制	故障車	入口閉鎖	入口制限	イベント	出口制限	火災	凍結	車線規制： 左側	車線規制： 右側	進入禁止
														
片側交互 通行	駐車場 閉鎖	駐車場 混雑	駐車場 空き	駐車場 満車	駐車場 不明	SA・PA 閉鎖	SA・PA 混雑	SA・PA 空き	SA・PA 満車	SA・PA 不明	その他の 規制	工事	徐行	速度規制
		 背景橙色	 背景青色	 背景赤色	 背景黒色	 背景赤色	 背景橙色	 背景青色	 背景赤色	 背景黒色				
対面通行	作業	気象警報 速報	災害速報	緊急情報										
		 気象 速報	 災害 速報	 特別 警報										

地図上の VICs 情報を見る

地図画面に表示された VICs の規制情報と駐車場情報マークから、詳しい情報を確認します。

- 1 規制情報または駐車場情報のマークにタッチする
地点情報表示に規制情報または駐車場情報が表示されます。
➡ 規制情報と駐車場情報で使用される主要なマーク (P.136)



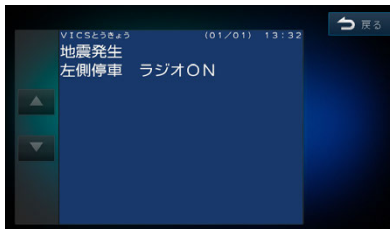
- 2 [詳細] にタッチする
VICs の詳しい情報が表示されます。
[切替]：複数の VICs 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。



緊急情報の割り込み表示

■ VICs サービスによる緊急割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、本機のすべての画面に割り込み表示されます。右の画面は、注意警戒情報の表示例です。



知識

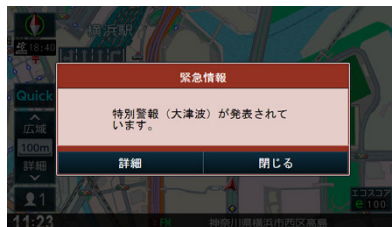
VICs サービスによる緊急割り込み表示

- VICs 図形情報や文字情報の割り込み表示をオフに設定している場合でも表示されます。
- 緊急情報表示は [閉じる] にタッチするまで表示されます。
- 注意警戒情報表示は、約 15 秒経過すると自動的に消えます。

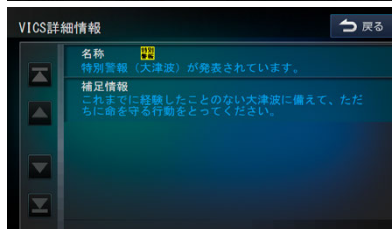
■「VICs WIDE」サービスによる緊急割り込み表示

緊急情報や注意警戒情報は、
本機のすべての画面に割り込み表示されます。

詳細 または **閉じる** にタッチします。



詳細 にタッチすると緊急情報（特別警報）
の詳細を見ることができます。



閉じる にタッチすると 緊急情報（特別警報）を
画面の下部に表示します。

上位置 / **下位置**：表示を画面上部または下部に移動させます。

切替：複数の緊急情報（特別警報）がある場合に
表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

詳細：VICs 詳細情報を表示します。



VICS 図形 / 文字情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

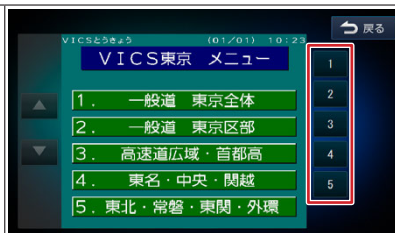
1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ↓ → **情報** → **渋滞情報** にタッチする

2 表示したい情報にタッチする
FM文字情報 : FM VICS 情報から受信した文字情報を表示します。
FM図形情報 : FM VICS 情報から受信した図形情報を表示します。



■ FM VICIS 図形情報 / 文字情報の表示

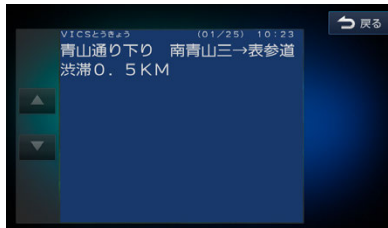
- 1 右側の番号にタッチする
図形 / 文字情報の詳細情報表示が
切り替わります。



- 2 ▲ / ▼ にタッチする
一つ前 / 次の情報に切り替えます。
図形情報



文字情報



VICS の選局方法を切り替える

FM VICS の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

● 自動選局

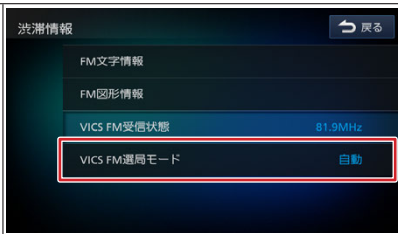
現在地の都道府県に合わせて、FM VICS が自動的に選局されます。

● 手動選局

FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** を開き、**情報** → **渋滞情報** にタッチする

2 **VICS FM 選局モード** にタッチする



知識

- 広域移動する場合は自動選局が便利です。県境付近を移動中でFM VICS を自動変更されたくない場合などは、手動選局が便利です。

■ 自動選局に設定する

1

自動 にタッチして、
 (チェックマーク) を付ける
自動選局が選択されています。



■ 手動で選局する

1

自動 にタッチして、
 (チェックマーク) を外す



2

◀ または **▶** にタッチして、
受信周波数を設定する
受信する周波数が設定されます。



VICIS 情報の表示設定をする

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ⇩ → **ナビ設定** → **表示** → **VICIS 情報表示** にタッチする

2 <表示設定項目>にタッチする
 (チェックマーク) の付いた項目の
 VICIS 情報が地図上に表示されます。

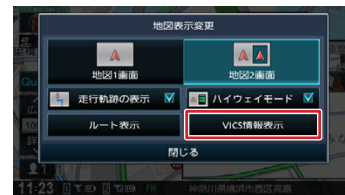


< 表示設定項目 > (* お買い上げ時の設定です。)

渋滞 / 混雑線の表示: 高速道	高速道路・有料道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示: 一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
順調線の表示: 高速道	高速道路・有料道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない* を設定します。
順調線の表示: 一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない* を設定します。
渋滞 / 混雑線 (統計) の表示: 高速道	統計情報による高速道路・有料道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
渋滞 / 混雑線 (統計) の表示: 一般道	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
順調線 (統計) の表示: 高速道	統計情報による高速道路・有料道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない* を設定します。
順調線 (統計) の表示: 一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示する、表示しない* を設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示する*、表示しないを設定します。

知識

- **表示オフ** にタッチするとすべての VICIS 情報が表示されなくなります。
- **現在地** を押し、**Quick** → **地図画面表示変更** → **VICIS 情報表示** にタッチしても、VICIS 情報表示画面を表示することができます。



- 本機では、車両初年度登録日より3年の間に、日産販売会社（ディーラー）で点検入庫時（安心6か月点検、法定12か月点検、初回車検）に限り、全国地図更新を無料で3回ご利用いただけます。
（レンタカー、自家用貨物自動車は、期間内の法定6か月点検も含みます。）
※無料地図更新での更新可能な地図データは2021年第02版までとなりますので、ご了承ください。
- 全国地図更新は、日産販売会社にて取り扱う更新となります。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

知識

- 地図更新ではEV充電スポットなどの収録情報も更新されます。

オーディオ・テレビの基本操作

ソースを切り替える	146
画質を調整する	147
映像の画面表示サイズを変更する	148
AV 画面を表示する	149
ソースをオフにする	150
AV の設定をする	151
その他のサウンド設定をする	157
ソースの音量レベルを設定する	158

ラジオを聞く

ラジオで交通情報を聞く	159
FM/AM 放送を聞く	160
プリセットモードを切り替える	162

テレビを視聴する

テレビを表示する	164
放送局を登録（プリセット）する	169
番組表を見る	171
データ放送を見る	174
緊急警報放送と中継局 / 系列局について	176
テレビの設定をする	177

CD・オーディオファイルディスクを使う

CD・オーディオファイルディスクを入れる / 取り出す	180
CD・オーディオファイルディスクを再生する	182

USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う

USB 機器 / WALKMAN® を接続する / 取り外す	188
SD カードを入れる / 取り出す	189
USB/WALKMAN® / SD を再生する	191
オーディオファイルを再生する	192
ビデオファイルを再生する	199

iPod を使う

iPod を接続する / 取り外す	204
iPod を再生する	207

Bluetooth オーディオ機器を使う

Bluetooth オーディオ機器を再生する	212
------------------------	-----

外部機器の接続

外部機器の映像を見る / 音声を聞く	218
--------------------	-----

オーディオ・テレビの基本操作

ソースを切り替える

AV メニュー画面でソース（音源）を切り替えます。

1

メニュー を押し、画面左側の  にタッチし、AV メニューを表示する

2

<メニュー項目>にタッチする



知識

- CD を挿入すると、ソースが「CD」に切り替わり再生が始まります。
- CD ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。
- ドライブレコーダー装着車は「VTR」が「ドライブレコーダー」表示になります。

<メニュー項目>

iPod	iPod/iPhone の曲を再生します。	⇒ iPod を再生する (P.207)
SD	SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。	⇒ USB/WALKMAN® /SD を再生する (P.191)
FM/AM	FM/AM ラジオ放送を受信します。	⇒ FM/AM 放送を受信する (P.160)
TV	地上デジタル TV 放送を受信します。	⇒ テレビ画面を表示する (P.164)
WALKMAN®/USB	WALKMAN® や USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。	⇒ USB/WALKMAN® /SD を再生する (P.191)
CD	市販のオーディオ CD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。	⇒ 曲を再生する (P.182)
Bluetooth Audio	本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。	⇒ 曲を再生する (P.212)
VTR	本機に接続した外部映像機器のソースに切り替えます。	⇒ 外部機器を再生する (P.218)
ドライブレコーダー	本機に接続したドライブレコーダーの画面に切り替えます。	⇒ ドライブレコーダーの映像を見る (P.226)
AUX	本機に接続した外部オーディオ機器のソースに切り替えます。 (MJ118D-W/ MJE18D-EV のみ)	⇒ 外部機器を再生する (P.218)
交通情報	交通情報を受信します。	⇒ ラジオで交通情報を聞く (P.159)

★ オプションの装着により異なります。

オーディオ・テレビの基本操作

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1 調整したい画面を表示する

2 **現在地** を押し続ける

3 **戻る** または **+** にタッチして<調整項目>を調整 (-4 ~ +4) する
戻る にタッチすると前の画面に戻ります。



知識

- 調整する画面によって調整できる項目が異なります。
- 黒レベル項目は、すべてのソース共通の設定です。
- 明るさの調整は
➡ [画面の明るさを調整する \(P.27\)](#) をご覧ください。

< 調整項目 >

コントラスト	コントラストを調整 (強弱) します。	+ : 白さが増します。 - : 黒さが増します。
ブライトネス	映像の明るさを調整します。	+ : 明るくなります。 - : 暗くなります。
黒レベル	黒い部分の明るさを調整します。	+ : 明るくなります。 - : 暗くなります。
色の濃さ	色の濃淡を調整します。	+ : 色が濃くなります。 - : 色が淡くなります。
色合い	色合いを調整します。	+ : 赤みが強くなります。 - : 緑みが強くなります。

オーディオ・テレビの基本操作

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 **現在地** を押し続ける

3 「アスペクト」の◀または▶にタッチして、<映像サイズ>を調整する
 ◀戻る▶にタッチすると前の画面に戻ります。



<映像サイズ>

		16:9 画像	4:3 画像	その他	
ノーマル	4:3 の比率で表示します。				
フル	画面いっぱいに表示します。				
オリジナル	映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。				

知識

- カメラ映像または TV の映像は、画面表示サイズの変更はできません。
- 「オリジナル」は USB、SD ソースで設定できます。

オーディオ・テレビの基本操作

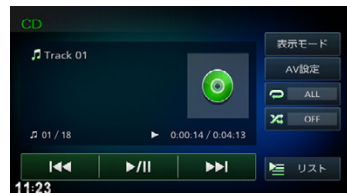
AV画面を表示する

選択しているソースの AV 画面を表示します。

1

AV を押す

AV 画面が表示されます。



または



知識

- AV 画面が表示されているときに **AV** を押すと AV メニュー画面が表示されます。

1

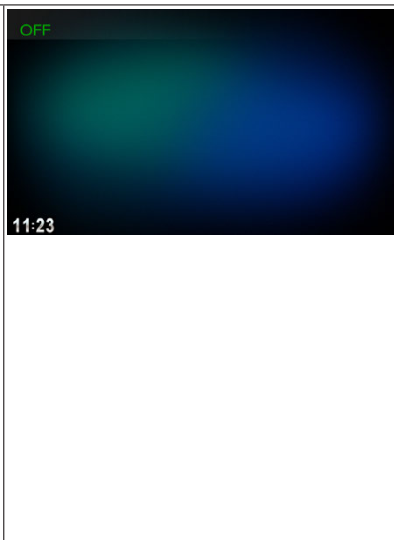
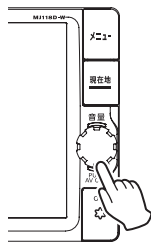
■ MJ118D-A

AV を押し続ける



■ MJ118D-W/ MJE18D-EV

音量 ロータリースイッチを押す



知識

MJ118D-A

- ソースをオンにするには、**AV** を押し続ける、または **AV** を押して AV メニュー画面でソースを選択します。
➡ ソースを切り替える (P.146)

MJ118D-W/ MJE18D-EV

- ソースをオンにするには、**音量** ロータリースイッチを押す、または **AV** を押して AV メニュー画面でソースを選択します。
➡ ソースを切り替える (P.146)

オーディオ・テレビの基本操作

AVの設定をする

音質、音響効果など、本機の AV 設定に関する項目を設定します。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **AV 設定** にタッチする

2 **<設定項目>** にタッチする

知識

- AV 設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ (OFF) のときは、AV の設定はできません。
- ハンズフリー通話中や発信、着信中は設定できません。
- 車速連動音量の設定により自動で音量調整されるのは、AV ソースの音量のみです。
- 各ソース画面の **[AV 設定]** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
- 現在地図画面の **[Quick]** → **[AV 設定]** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
 ➔ Quick メニューの操作 (P.53)
 (Quick メニューに「AV 設定」機能を設定しているとき)


< 設定項目 >

① バランス / フェーダー	バランス / フェーダーを設定します。	➔ バランス / フェーダーを設定する (P.155)
② イコライザー / イコライザープリセット	イコライザーの設定をします。	➔ イコライザープリセットを設定する (P.152)
③ モード	DSP : サラウンドの設定を表示します。 OFF : サラウンドを使用しません。	➔ 音響効果を設定する (P.156)
④ サラウンド	サラウンドの種類を設定します。	➔ 音響効果を設定する (P.156)
⑤ 車速連動音量	ON : 車速に連動して AV ソースの音量を自動で調整します。 OFF : 車速連動音量の設定を解除します。	—
⑥ その他設定	その他の音響効果設定をします。	➔ その他のサウンド設定をする (P.157)

イコライザープリセットを設定する

ジャンル別に設定されたイコライザープリセットをソースごとに設定します。

1 設定したいソースを選ぶ  ソースを切り替える (P.146)

2 **メニュー** を押し、**情報・設定**  → **AV設定** にタッチする

3 「イコライザープリセット」の**設定**にタッチする



4 **プリセット選択** にタッチする

5 設定したいイコライザープリセット (ジャンル) にタッチする
手順 1 で選択したソースに設定されます。



知識

- 各ソース画面の **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
- 現在地図画面の **Quick** → **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
② Quick メニューの操作 (P.53)
(Quick メニューに「AV設定」機能を設定しているとき)
- イコライザープリセット (ジャンル) の種類
 - おすすめ：メリハリのあるサウンドを再現します。
 - VOCAL：ボーカルの音質を鮮明に再現します。
 - ROCK：スピーディーで力強いアタック音を再現します。
 - JAZZ：ウッドベースの音階やボーカルの音質を鮮明に再現します。
 - TOP40：中低域をメインにしたリズムカナルな音を再現します。
 - EASY：中低域をベースにした味わい深いサウンドを再現します。

イコライザーを調整する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整します。イコライザーカーブはソースごとに設定できます。

1 設定したいソースを選ぶ ➡ ソースを切り替える (P.146)

2 **メニュー** を押し、**情報・設定** ⇩ → **AV設定** にタッチする

3 「イコライザープリセット」の **設定** にタッチする



4 画面を指でなぞる
[OFF] にタッチすると、すべての周波数帯域を「0dB」（フラット）にします。



知識

- 各ソース画面の **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
- 現在地図画面の **Quick** → **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
➡ **Quick** メニューの操作 (P.53)
(Quick メニューに「AV 設定」機能を設定しているとき)
- 手順4の指でなぞる以外に、調整したい周波数をタッチし、**▲** または **▼** にタッチするとピンポイントでレベルを設定することもできます。

■ 調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自に調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーのUSER1 ～ 4に保存します。

1 イコライザーカーブを調整する ➡ イコライザーを調整する (P.153)

2 **USERプリセット保存** にタッチする



3 保存先にタッチする
タッチしたイコライザーカーブが保存され、イコライザー画面に戻ります。



バランス / フェーダーを設定する

左右のバランスと前後のフェーダーを調整します。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **AV設定** にタッチする

2 「バランス / フェーダー」の **設定** に
タッチする



3 画面にタッチする
センターに戻す にタッチすると、バランス
とフェーダーを「0」にします。



知識

- 各ソース画面の **AV設定** にタッチしてもAV設定画面を表示できません。
- 現在地図画面の **Quick** → **AV設定** にタッチしてもAV設定画面を表示できません。
➔ Quickメニューの操作 (P.53)
(Quickメニューに「AV設定」機能を設定しているとき)
- ◀ または ▶ にタッチして左右のバランスを調整することもできます。
- ▲ または ▼ にタッチして前後のフェーダーを調整することもできます。
- モードを「DSP」にしてサラウンドを設定しているとき、リアスピーカーは残響音などのサラウンド効果音が多くなるため、音量が小さくなります。
➔ 音響効果を設定する (P.156)

音響効果を設定する

1 メニュー を押し、情報・設定 ▾ → AV設定 にタッチする

2 「モード」の ◀ または ▶ にタッチして「DSP」にする



3 「サラウンド」の ◀ または ▶ にタッチする
サラウンド (STADIUM/CHURCH/
LIVE/ARENA/THEATER/
LISTENING ROOM)
が切り替わります。

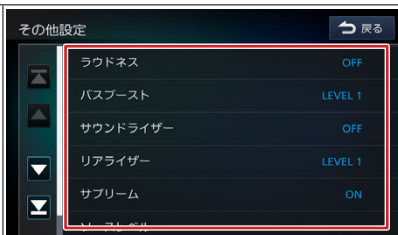


知識

- 各ソース画面の「AV設定」にタッチしてもAV設定画面を表示できます。
- 現在地図画面の「Quick」→「AV設定」にタッチしてもAV設定画面を表示できます。
② Quickメニューの操作 (P.53)
(Quickメニューに「AV設定」機能を設定しているとき)
- モードを「DSP」にしてサラウンドを設定しているとき、リアスピーカーは残響音などのサラウンド効果音が多くなるため、音量が小さくなります。
- 「サラウンド」の種類
 - STADIUM：スタジアムのような音場を体感できます。
 - CHURCH：残響音の多い教会のような音場を体感できます。
 - LIVE：中規模のライブハウスのステージを体感できます。
 - ARENA：大会場でのライブの臨場感を再現して車内を大きな空間に変えます。
 - THEATER：シアタールームのような音場を体感できます。
 - LISTENING ROOM：リスニングルームのような音場を体感できます。

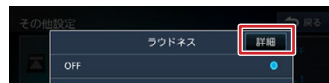
1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **AV設定** → **その他設定** にタッチする

2 **<設定項目>** にタッチする



知識

- 各ソース画面の **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
- 現在地図画面の **Quick** → **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できます。
➡ **Quick メニューの操作 (P.53)**
(Quick メニューに「AV 設定」機能を設定しているとき)
- 設定画面の **詳細** にタッチすると設定項目の説明が表示されます。



< 設定項目 > (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
ラウドネス	OFF*/LOW/HIGH	小音量時に不足する低音と高音を補います。録音レベルが大きい曲の場合は LOW、小さい曲の場合は HIGH が適しています。
バスブースト	OFF/ LEVEL 1*/ LEVEL 2/ LEVEL 3	低音を増強するレベルを設定します。
サウンドライザー	OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置(高さ)を設定します。
リアライザー	OFF/ LEVEL 1*/ LEVEL 2/ LEVEL 3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティ感のある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サブリーム	OFF/ON*	音声を圧縮したことで失われた情報や変化した波形を元に戻すことで自然な音を再現します。圧縮された音楽に効果的です。
ソースレベル	—	各ソースの音量をそろえます。➡ ソースの音量レベルを設定する (P.158)

オーディオ・テレビの基本操作

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ▾ → **AV設定** にタッチする

2 **その他設定** → **ソースレベル** にタッチする

3 **+** または **-** にタッチして、音量を調整する
初期値に戻す にタッチすると、ソースの音量レベルを初期値に戻します。



知識

- 各ソース画面の **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できません。
- 現在地図画面の **Quick** → **AV設定** にタッチしても AV 設定画面を表示できません。
➡ Quickメニューの操作 (P.53)
(Quickメニューに「AV設定」機能を設定しているとき)
- iPhone との接続方法 ➡ 接続方法を設定する (P.204) を「Bluetooth」にしている場合、iPod ソースと Bluetooth Audio ソースは共通の設定となり、「Bluetooth Audio/iPod」項目で調整します。

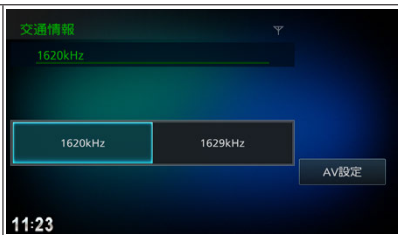
交通情報（1620kHzまたは1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほう自動的に受信されます。

1 **メニュー** を押し、画面左側の **》** をタッチし、AVメニューを表示する

2 **交通情報** にタッチする
交通情報が受信されます。



3 交通情報を切り替える場合は、**1620kHz** または **1629kHz** にタッチする



知識

- 交通情報の受信中に音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量になります。
- **AV設定** にタッチするとAV設定画面が表示されます。
➡ [AVの設定をする \(P.151\)](#)

FM/AM 放送を受信する

1 **メニュー** を押し、画面左側の **FM/AM** をタッチし、AV メニューで **FM/AM** にタッチする

2 **FM/AM** にタッチして、FM 放送または AM 放送を選ぶ



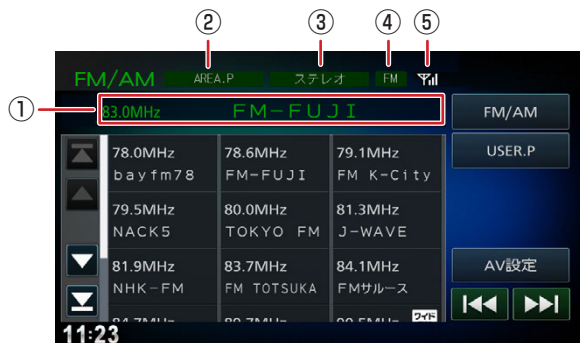
3 受信する放送局にタッチする
タッチした放送局が受信されます。



知識

- 本機はワイドFM (FM 補完放送) に対応しています。ワイドFM とは、AM 放送局の放送区域において、災害や電波障害に強いFMの周波数帯を使いAMラジオの番組を放送することです。AM 放送が聴き取りにくい地域でもFM放送でAMラジオの番組を聴くことができます。ワイドFMの対応、周波数などについては、各地域放送局のWebサイトをご確認ください。
- ワイドFMの場合は、周波数の右側に **ワイドFM** が表示されます。
- 選局操作は、**◀▶** / **▶▶**、または **◀▶▶▶** / **TRACK SEEK** でも行えます。
 - 手動選局：タッチ (またはスイッチを押す / ロータリースイッチを回す) たびに、1ステップずつ周波数を変えて選局します。
 - 自動選局：「サーチ中…」が表示されるまでタッチし (またはスイッチを押す / ロータリースイッチを回す) 続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します。もう一度タッチすると、オート選局を中止します。
- **AV設定** にタッチするとAV設定画面が表示されます。
 - ➡AVの設定をする (P.151)

画面表示の見かた



- ① 受信中の周波数、放送局名
現在受信中の周波数、放送局名が表示されます。
- ② プリセットモード
現在のプリセットモードが表示されています。
🔍 プリセットモードを切り替える (P.162)
- ③ ステレオ受信表示
放送がステレオ受信されている場合に表示されます。
- ④ 受信中のバンド
現在受信中のバンドが表示されます。
- ⑤ 電波の受信状態
現在受信中の電波の受信状態が表示されます。

放送局のプリセットモードには、「エリアプリセット」と「ユーザープリセット」があります。

- **エリアプリセット (AREA.P)**

放送局データと現在地エリアの位置関係から、受信可能な放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、現在地エリアで受信できる可能性の高い放送局が周波数の低い順に自動的に登録されます。

- **ユーザープリセット (USER.P)**

手動でお好みの放送局をユーザープリセットに6局まで登録できます。

➡ ユーザープリセットに放送局を登録する (P.163)

知識

- 現在地の地形や受信環境により、エリアプリセットに受信できない局が表示されたり、受信可能な局が表示されないことがあります。
このような場合は、自動選局、手動選局、またはユーザープリセットモードなどで受信を行ってください。

エリアプリセットの放送局をリストから選局する

エリアプリセットモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1

AREA.P にタッチして、
エリアプリセットモードに切り替える
タッチするたびに、エリアプリセットと
ユーザープリセットが切り替わり、画面
上部に現在のプリセットモードが表示され
れます。



2

受信する放送局にタッチする
タッチした放送局が受信されます。



ユーザープリセットに放送局を登録する

ユーザープリセットモードのプリセットボタンに手動で放送局を6局まで登録します。

- 1** 登録する放送局を受信する
 ➡ FM/AM 放送を受信する (P.160) を参照して、
 登録したい放送局を受信します。

- 2** **USER.P** にタッチして、
 ユーザープリセットモードに切り替える
 タッチするたびに、エリアプリセットと
 ユーザープリセットが切り替わります。
AREA.P 表示のときは
 ユーザープリセットモードです。



- 3** 登録先のプリセットボタンをピッと
 音がするまで2秒以上タッチし続ける
 受信中の放送局がプリセットボタンに
 登録されます。

登録した放送局は、ユーザーモードで
 該当するプリセットボタンに
 タッチすると受信できます。



テレビを視聴する テレビを表示する

本機は、地上デジタル放送のコンテンツ保護専用の方式（コンテンツ権利保護専用方式）を採用しており、従来の B-CAS カードは必要ありません。コンテンツ保護専用の方式については一般社団法人地上放送 RMP 管理センターのサイトをご確認ください。<http://www.trmp.or.jp/>

テレビ画面を表示する

1 **メニュー** を押し、画面左側の **»** をタッチし、AV メニューで **TV** にタッチする

2 **画面にタッチする**
操作ボタンが表示されます。



画面表示の見かた

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



- ① **受信チャンネル番号 / 番組名**
現在受信中のチャンネル番号と番組名が表示されます。
- ② **プリセットチャンネルボタン**
プリセット番号、サービス名、サービス表示が表示されます。
➡ 表示されるボタンとはたらき (P.167)
- ③ **音声の種類**
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。
- ④ **プリセットモード**
現在のプリセットモードが表示されています。
➡ プリセットモードを切り替える (P.170)
- ⑤ **字幕の種類**
字幕を選択しているときに表示されます。

知識

- 操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。

⑥ 受信モード

12セグとワンセグの受信モードを表示します。

受信モードの切り替えについては、➡表示されるボタンとはたらき (P.168) の

受信モード切替 をご覧ください。

⑦ 映像の種類

複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。

⑧ データ放送の種類

データ放送があるか、番組と連動したデータ放送があるかが表示されます。

⑨ 電波の受信状態

現在受信中の電波の受信状態が表示されます。

テレビを視聴する テレビを表示する

表示されるボタンとはたらし

次へ または 前へ にタッチして、右側の操作ボタンを切り替える



知識

- 操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
- 12セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像/音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は5.1chサラウンドには対応しておりません。音声は2chで出力されます。

ボタン	説明
1 ~ 12 (プリセットチャンネルボタン)	プリセットされている放送局に切り替えます。視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、ボタンの右上に■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンにタッチするたびにサービスを切り替えます。
非表示	操作ボタンを消します。
番組表	番組表を表示します。➡ 番組表を表示する (P.171)
d操作	データ放送を操作するボタンを表示します。➡ データ放送を表示する (P.174)
TVメニュー	テレビの設定画面を表示します。➡ 設定画面を表示する (P.177)
AV設定	AV設定画面を表示します。➡ AVの設定をする (P.151)
次へ / 前へ	右側の操作ボタンを切り替えます。

テレビを視聴する テレビを表示する

ボタン	説明
受信モード切替	受信モードを切り替えます。 固定：1Seg ワンセグ固定モードに切り替えます。 固定：12Seg 12セグ固定モードに切り替えます。 自動：自動受信モード（12セグまたはワンセグ）に切り替えます。 設定は「TVメニュー」の「1Seg/12Seg自動切替設定」をご覧ください。➡設定画面を表示する (P.177)
プリセット切替	プリセットモード（エリア／ホーム／お出かけ）が切り替わります。 「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。 ※「ホーム」または「お出かけ」をはじめてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。 ➡設定画面を表示する (P.177)
音声切替	視聴番組に複数の音声／二重音声があるときに、音声を切り替えます。 なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
字幕切替	番組に字幕があるときに、字幕表示を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、番組によっては字幕が放送されていない場合があります。
映像切替	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。

テレビを視聴する 放送局を登録（プリセット）する

はじめてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

放送局を登録（プリセット）する

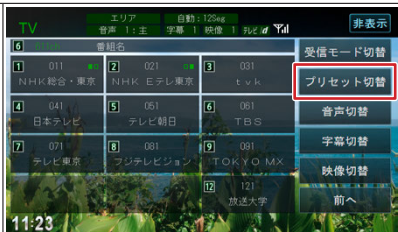
1 次へ にタッチする

右側の操作ボタンを切り替えます。

※操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



2 プリセット切替 にタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える



3 前へ → TVメニュー → 初期スキャン にタッチする

4 現在地の都道府県にタッチして はい にタッチする

受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。
現在地の都道府県が表示されていない場合は、上下にスクロールをしてください。



知識

- **再スキャン** は初期スキャンを行ったあとで、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の3つのモードがあります。
 - エリア：自車の移動先の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するとき便利です。
 - ホーム / お出かけ：それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺ではホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

テレビを視聴する 放送局を登録（プリセット）する

プリセットモードを切り替える

1

次へ にタッチする

右側の操作ボタンを切り替えます。

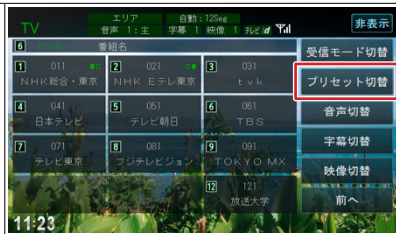
※操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



2

プリセット切替 にタッチする

タッチするたびに、
エリア→ホーム→お出かけ→エリアの
順に切り替わります。



テレビを視聴する 番組表を見る

視聴しているチャンネルでは最大 8 日分の番組表を表示できます。
また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

番組表を表示する

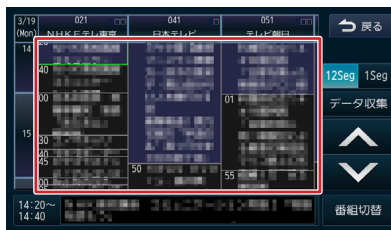
1 **番組表** にタッチする
番組表が表示されます。

※操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



番組表の見かたと操作

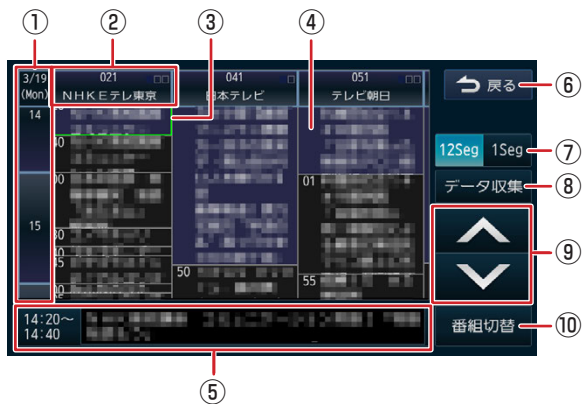
番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。








知識

- 放送が終了した番組は番組表に表示されません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 視聴しているチャンネルでは、番組表データを自動で最大 8 日分を収集し表示します。
- 視聴していないチャンネルの番組表を表示したいときは **[データ収集]** にタッチすると、24 時間分のデータを取得します。番組表は取得したチャンネル毎に表示し、データ取得が完了するまでは **[データ収集]** にタッチできません。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- 番組表が表示されるまで時間がかかる場合があります。

テレビを視聴する 番組表を見る



- ① **日時**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。
- ② **放送局**
タッチするとその放送局を受信します。
- ③ **フォーカス**
選択した番組が、緑色枠で表示されます。
- ④ **現在放送中の番組**
背景が青色で表示されます。
- ⑤ **番組詳細**
フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

- ⑥  番組表を消して、AV 画面に戻ります。
- ⑦  タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。
- ⑧  プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。
- ⑨  フォーカスを移動します。
- ⑩  フォーカスされている番組がマルチ編成番組（1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること）の場合は、番組表内の番組情報が切り替わります。

テレビを視聴する データ放送を見る

視聴中の番組にデータ放送がある場合、データ放送画面を表示します。

データ放送を表示する

1

d操作 にタッチする

※操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



2

d にタッチする

データ放送画面が表示されます。



知識

- データ放送画面では、画面の項目に直接タッチして操作することができません。データ放送用操作ボタンを使用します。
- 地域を対象としたサービスを行っているときは、郵便番号設定の地域情報を表示します。➡ [設定画面を表示する \(P.177\)](#)
- ワンセグを受信中はデータ放送を見ることができません。
- ワンセグのデータ放送には対応していません。

表示されるボタンとはたらき

通常の操作ボタンまたは数字用の操作ボタンに切り替えることができます。

数字 または **操作** にタッチして、操作ボタンの表示を切り替える



ボタン	説明
◀ 位置 / 位置 ▶	操作ボタンの表示位置を切り替えます。
数字 / 操作	数字用の操作ボタン / 通常の操作ボタンを切り替えます。
非表示	操作ボタンを消します。
▲ / ▼ / ◀ / ▶	データ放送画面中のカーソルを移動します。
決定	項目を決定します。
青 / 赤 / 緑 / 黄	青ボタン / 赤ボタン / 緑ボタン / 黄ボタンとして使用します。
d	データ放送画面と放送画面を切り替えます。
戻る	1つ前の操作に戻ります。
1 ~ 12/#	数字を入力します。

緊急警報放送について

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

知識

- 緊急警報放送は、AV ソースが TV のときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、**TVメニュー** の **中継局/系列局サーチ** で設定できます。**中継局/系列局サーチ** を“自動切替（中継局）”に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。🔍 [設定画面を表示する \(P.177\)](#)

知識

- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

テレビを視聴する テレビの設定をする

テレビの設定を変更します。

設定画面を表示する

1

TVメニュー にタッチする

<設定項目>が表示されます。

※操作ボタンが表示されていないときは、画面にタッチすると表示されます。



<設定項目> (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
初期スキャン (ホームまたはお出かけプリセットのみ)	放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。 ➡ プリセットモードを切り替える (P.170)	
再スキャン (ホームまたはお出かけプリセットのみ)	ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録しなおします。 確認画面の はい にタッチすると再スキャンを開始します。	
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨 */12Seg を優先 / 切替頻度を低減	受信モード切替 を「自動」に設定している場合に、優先させる内容を設定します。➡ 表示されるボタンとはたらき (P.168)
中継局 / 系列局サーチ	自動切替しない / 自動切替 (中継局) / 自動切替 (中継局+系列局) *	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない / 第一言語 * / 第二言語	受信中の番組が文字スーパーを提供している場合、文字スーパーを表示するかと、表示する言語を設定します。
データ放送地域	データ放送で使用する地域を設定します。➡ データ放送地域を設定する (P.178)	
郵便番号設定	データ放送で使用する地域を設定します。➡ 郵便番号を設定する (P.179)	
デバイスID	メーカー ID などの情報を表示します。	

データ放送地域を設定する

データ放送で地域を対象としたサービスを行っているときに使用する地域を設定します。

1 TVメニュー → データ放送地域 にタッチする

2 地域にタッチする
設定したい地域が表示されていない場合は、上下にスクロールをしてください。



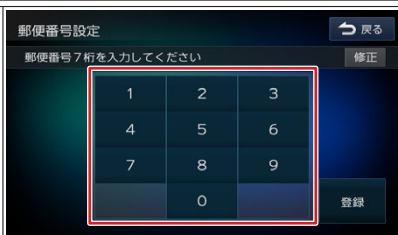
テレビを視聴する テレビの設定をする

郵便番号を設定する

データ放送で地域を対象としたサービスを行っているときに使用する地域を設定します。

1 **TVメニュー** → **郵便番号設定** にタッチする

2 郵便番号をハイフン (-) なしで入力する



3 **登録** にタッチする
郵便番号が設定されます。

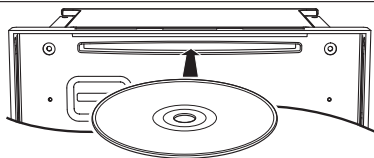
ディスクを入れる

1 ▲ (OPEN) を押す

2 ディスクイジェクト にタッチする



3 ディスクを挿入口に入れる
フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「CD」に切り替わります。





警告

- フロントパネルを開いたまま走行しない
フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。
安全のため、ディスクを出し入れしたあとは、フロントパネルを閉じてください。

知識

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。

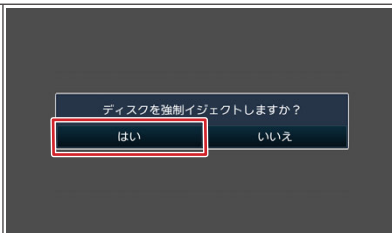
■ ディスクを取り出す

- 1  (OPEN) を押す
- 2 **ディスクイジェクト** にタッチする
フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。
- 3 ディスクを取り出す
- 4  (OPEN) を押す、または **クローズ** にタッチする
フロントパネルが閉じます。

■ ディスクを取り出せないときは

- 1 メッセージが表示されるまで  (OPEN) を押し続ける

- 2 **はい** にタッチする
フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。



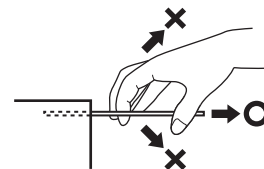
- 3 ディスクを取り出す

⚠ 警告

- フロントパネルを開いたまま走行しない
フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。
安全のため、ディスクを取り出したあとは、フロントパネルを閉じてください。

📖 知識

- ディスクがイジェクトされた後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



CD・オーディオファイルディスクを使う

CD・オーディオファイルディスクを再生する

音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

曲を再生する

1 **メニュー** を押し、画面左側の **▶** をタッチし、AV メニューを表示する

2 **CD** にタッチする



画面表示の見かた

音楽 CD




オーディオファイルディスク







知識

- 本機で再生できる音楽 CD またはオーディオファイルディスクについては、**▶ 本機で再生できるディスクメディア (P.314)**、**▶ 本機で再生できるオーディオ/ビデオフォーマット (P.318)** をご覧ください。


■ 音楽 CD

- ①  **トラック番号**
再生中のトラック番号が表示されます。
- ② **トラック番号 / 総曲数**
再生中のトラック番号と総曲数が表示されます。
- ③ **演奏時間 / 総演奏時間**
演奏時間と総演奏時間が表示されます。

■ オーディオファイルディスク

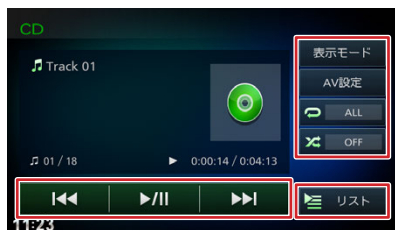
- ①  **曲名 (ファイル名)**
 **アーティスト名**
 **アルバム名 (フォルダ名)**
 **ジャンル**
再生中の曲名 (ファイル名)、アーティスト名、アルバム名 (フォルダ名)、ジャンルが表示されます。
- ② **ファイル番号**
再生中のファイル番号が表示されます。
- ③ **演奏時間 / 総演奏時間**
演奏時間と総演奏時間が表示されます。
- ④ **アルバムアート画像**
再生中のアルバムアート画像が表示されます。
- ⑤ **音声形式**
再生ファイルの音声形式が表示されます。

知識

- アルバムアート画像は、ディスクによっては表示されない場合があります。
- 曲名 (ファイル名)、アーティスト名、アルバム名 (フォルダ名)、ジャンルでそれぞれの情報がすべて表示されないときは、 にタッチするとスクロール表示します。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名、ジャンル名は表示されませんが、曲名は表示されますが、スクロールはできません。

表示されるボタンとはたらき

音楽 CD



オーディオファイルディスク












ボタン	説明
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りされます。
/ (オーディオファイルディスクのみ)	前 / 次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
表示モード	曲順リストの表示 / 非表示を切り替えます。 ➡再生中の曲順リストから選曲する (P.186)
AV設定	AV 設定画面を表示します。➡AV の設定をする (P.151)

知識

- をタッチすると曲の先頭に戻り、さらに をタッチすると前の曲を再生します。

CD・オーディオファイルディスクを使う CD・オーディオファイルディスクを再生する

ボタン	説明
 ALL	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。  ALL：すべての曲を繰り返し再生します。  1：再生中の曲を繰り返し再生します。  フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲を繰り返し再生します。
 OFF	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。  OFF：ランダム再生モードを解除します。  ALL（音楽 CD のみ）：アルバム内の曲をランダム再生します。  フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
リスト	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。  フォルダから選曲する (P.187)

知識

- リピート再生モードを「ALL」以外に設定するとランダム再生モードは「OFF」になります。
- ランダム再生モードを設定するとリピート再生モードは「ALL」になります。

再生中の曲順リストから選曲する

1 **表示モード** にタッチする



2 **曲名にタッチする**
タッチした曲が再生されます。

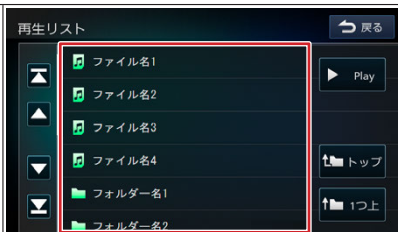


フォルダから選曲する

1 リスト にタッチする




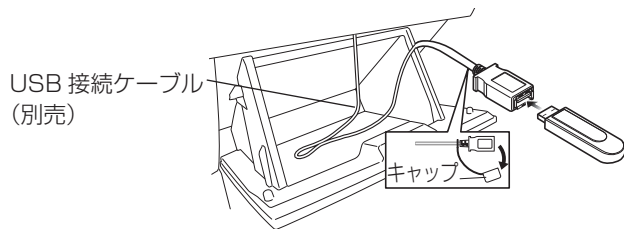
- ### 2 再生したいファイル名にタッチする
- 選択したファイルから再生を開始し、元の画面に戻ります。
- フォルダを選択した場合は、フォルダ内のファイルがリスト表示されます。オーディオファイルディスクの場合は、以下のボタンも選択できます。
- Play**：リストの最初の曲から再生します。
- トップ**：一番上の階層のフォルダに移動します。
- 一つ上**：一つ上の階層のフォルダに移動します。



USB 機器 /WALKMAN® /SD カードのファイルを使う USB機器/WALKMAN® を接続する/取り外す

USB 機器 /WALKMAN® を接続する

本機で再生できる USB 機器は  本機で再生できる USB 機器 / WALKMAN® (P.317) をご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。



1 USB 接続ケーブルに USB 機器 /WALKMAN® を接続する

USB 機器 /WALKMAN® を取り外す

1 **メニュー** を押し、画面左側の  をタッチし、AV メニューを表示する

2 ソースを USB 以外に切り替える

3 USB 機器 /WALKMAN® を取り外す

知識

- 接続には別売の USB 接続ケーブルが必要です。日産販売会社にご相談ください。
- USB 接続ケーブルはグローブボックスなどに配線されています。
- USB 接続ケーブル位置は車種により異なる場合があります。日産販売会社へお問い合わせください。
- USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

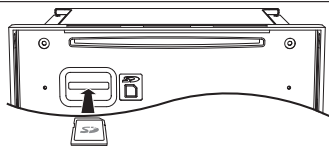
SD カードを入れる

1 ▲ (OPEN) を押す

2 オープン にタッチする
フロントパネルが開きます。



3 SD カードを挿入口に入れる
SD カードは、突き当たるまで奥に
差し込んでください。




4 ▲ (OPEN) を押す、または クローズ にタッチする
フロントパネルが閉じます。

⚠ 警告

- フロントパネルを開いたまま走行しない
フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。
安全のため、SD カードを出し入れたあとは、フロントパネルを閉じてください。

📖 知識

- フルオープン状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- 本機で再生できる SD カードは  本機で再生できる SD カード (P.316) をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

SD カードを取り出す

1 **メニュー** を押し、画面左側の **»** をタッチし、AV メニューを表示する

2 ソースを SD 以外に切り替える

3 **▲** (OPEN) を押す

4 **オープン** にタッチする
フロントパネルが開きます。

5 SD カードを取り出す
SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。

6 **▲** (OPEN) を押す、または **クローズ** にタッチする
フロントパネルが閉じます。

📖!知識

- SD ソースのまま取り外すと、SD カード内のデータが破損する場合があります。

USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う USB/WALKMAN® / SDを再生する

オーディオファイルまたはビデオファイルを再生する

1 **メニュー** を押し、画面左側の **▶** をタッチし、AV メニューを表示する

2 **WALKMAN®/USB** または **SD** に
タッチする



📖 知識

- 本機で再生できる USB、WALKMAN® または SD については、👉 本機で再生できる USB 機器 / WALKMAN® (P.317)、👉 本機で再生できる SD カード (P.316)、👉 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.318) をご覧ください。

USB 機器 /WALKMAN® /SD カードのファイルを使う オーディオファイルを再生する

USB 機器 /WALKMAN® または SD カードに保存されているオーディオファイルを再生します。

画面表示の見かた

WALKMAN® /USB



SD




- ① 曲名 (ファイル名)
アーティスト名
アルバム名 (フォルダ名)
ジャンル

再生中の曲名 (ファイル名)、アーティスト名、アルバム名 (フォルダ名)、ジャンルが表示されます。

- ② アルバムアート画像
再生中のアルバムアート画像が表示されます。
- ③ 音声形式
再生ファイルの音声形式が表示されます。
- ④ ファイル番号
再生中のファイル番号が表示されます。
- ⑤ 演奏時間 / 総演奏時間
演奏時間と総演奏時間が表示されます。

知識

- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- 曲名 (ファイル名)、アーティスト名、アルバム名 (フォルダ名)、ジャンルでそれぞれの情報がすべて表示されないときは、 にタッチするとスクロール表示します。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名、ジャンル名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う オーディオファイルを再生する

表示されるボタンとはたらし

WALKMAN® /USB



SD



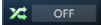



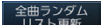

ボタン	説明
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
	前 / 次フォルダの先頭ファイルから再生します。
表示モード *	再生中の曲順をリスト表示します。 ➡ 再生中の曲順リストから選曲する (P.197)
AV設定	AV 設定画面を表示します。➡ AV の設定をする (P.151)
ALL *	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 ALL：すべてのファイルを繰り返し再生します。 1：再生中のファイルを繰り返し再生します。 フォルダ：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

(* ランダム再生モードを「曲」に設定すると選択できません)

知識

- をタッチするとファイルの先頭に戻り、さらに をタッチすると前のファイルを再生します。
- リピート再生モードを設定するとランダム再生モードは「OFF」になります。
- ランダム再生モードを設定するとリピート再生モードは「ALL」になります。ランダム再生モードが「曲」の場合は、リピート再生モードの設定ができません。

USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う オーディオファイルを再生する

ボタン	説明
 OFF	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。  OFF：ランダム再生モードを解除します。WALKMAN® / USB 機器、または SD カードの先頭ファイルから再生を始めます。  フォルダ：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。  曲：WALKMAN® / USB 機器、または SD カード内のすべてのオーディオファイルをランダム再生します。 ➡ 全曲ランダムに再生する (P.195)
 全曲ランダム リスト更新	全曲ランダム用のリスト(データベース)を更新します。ランダム再生モードを「曲」に設定すると表示されます。 ➡ 全曲ランダム用のリストを更新する (P.196)
 リスト *	再生リストを表示します。➡ フォルダから選曲する (P.198)

(*ランダム再生モードを「曲」に設定すると選択できません)

📖!知識

- リピート再生モードを設定するとランダム再生モードは「OFF」になります。
- ランダム再生モードを設定するとリピート再生モードは「ALL」になります。ランダム再生モードが「曲」の場合は、リピート再生モードの設定ができません。

USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う オーディオファイルを再生する

全曲ランダムに再生する

WALKMAN® / USB 機器、または SD カード内のすべてのオーディオファイルをランダムに再生します。

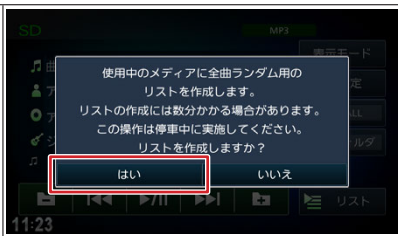
1 にタッチして、「曲」を選択する



2 にタッチする

はじめて全曲ランダム再生するときに表示されます。

リストの作成が完了すると
全曲ランダムの再生が始まります。



知識

- 全曲ランダムで再生するには、リスト(データベース)を作成する必要があります。
- 全曲ランダムリストの作成、更新は、WALKMAN® / USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- 全曲ランダムリスト作成、更新中は他の操作はできません。
- 全曲ランダムリストを更新すると、WALKMAN® / USB 機器または SD カードに「_ContentsDB」フォルダが作成されます。「_ContentsDB」フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。

■ 全曲ランダム用のリストを更新する

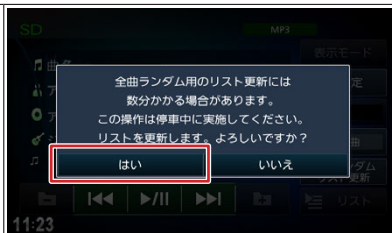
WALKMAN® / USB 機器、または SD カード内のオーディオファイルを追加、削除した場合にリスト（データベース）を更新します。

1  にタッチして、「曲」を選択する

2 全曲ランダムリスト更新 にタッチする



3 はい にタッチする
全曲ランダム用のリストが更新されます。



知識

- 音楽ファイルの追加、削除を行った時には、リスト（データベース）を更新してください。
- 全曲ランダムリストの作成、更新は、WALKMAN® / USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- 全曲ランダムリスト作成、更新中は他の操作ができません。

USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う オーディオファイルを再生する

再生中の曲順リストから選曲する

1 表示モード にタッチする



2 曲名にタッチする
タッチした曲が再生されます。



フォルダから選曲する

1 リストにタッチする



2 再生したいファイル名にタッチする

選択したファイルから再生を開始し、元の画面に戻ります。
フォルダを選択した場合は、フォルダ内のファイルがリスト表示されます。

[Play] : リストの最初の曲から再生します。

[トップ] : 一番上の階層のフォルダに移動します。

[1つ上] : 一つ上の階層のフォルダに移動します。



USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う ビデオファイルを再生する

USB 機器 / WALKMAN® または SD カードに保存されているビデオファイルを再生します。

画面表示の見かた

画面にタッチすると操作ボタンが表示されます。



知識

- 操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の「非表示」でも消すことができます。
- ファイル名、フォルダ名でそれぞれの情報がすべて表示されないときは、◀◀◀ にタッチするとスクロール表示します。

USB/WALKMAN®



SD



- ① **ファイル名**
フォルダ名
再生中のファイル名、フォルダ名が表示されます。
- ② **映像形式、音声形式**
再生ファイルの映像形式、音声形式が表示されます。
- ③ **ファイル番号**
再生中のファイル番号が表示されます。
- ④ **再生時間 / 総再生時間**
再生時間と総再生時間が表示されます。

USB 機器 /WALKMAN® /SD カードのファイルを使う ビデオファイルを再生する

表示されるボタンとはたらき

USB/WALKMAN®



SD













ボタン	説明
	再生または一時停止（ポーズ）します。
/	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
/	前 / 次フォルダの先頭ファイルから再生します。
	操作ボタンを消します。
	再生中のファイルリスト表示します。 ➡ 再生中のファイルリストから再生する (P.202)
	AV 設定画面を表示します。➡ AV の設定をする (P.151)

📖!知識

- をタッチするとファイルの先頭に戻り、さらに をタッチすると前のファイルを再生します。

USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う ビデオファイルを再生する

ボタン	説明
 ALL	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。  ALL：すべてのファイルを繰り返し再生します。  1：再生中のファイルを繰り返し再生します。  フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。
 OFF	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。  OFF：ランダム再生モードを解除します。  フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）：再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。  曲：ビデオファイルは再生できません。 WALKMAN® / USB 機器、または SD カード内のすべてのオーディオファイルをランダム再生します。  全曲ランダムに再生する (P.195)
リスト	再生リストを表示します。  フォルダから再生する (P.203)

知識

- リピート再生モードを設定するとランダム再生モードは「OFF」になります。
- ランダム再生モードを設定するとリピート再生モードは「ALL」になります。ランダム再生モードが「曲」の場合は、ビデオファイルを再生できません。

USB 機器 /WALKMAN® /SD カードのファイルを使う ビデオファイルを再生する

再生中のファイルリストから再生する

1 「表示モード」にタッチする



2 ファイル名にタッチする
タッチしたファイルが再生されます。



USB 機器 / WALKMAN® / SD カードのファイルを使う ビデオファイルを再生する

フォルダから再生する

1 リスト にタッチする

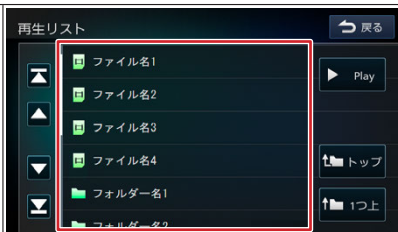


2 再生したいファイル名にタッチする
選択したファイルから再生を開始し、元の画面に戻ります。
フォルダを選択した場合は、フォルダ内のファイルがリスト表示されます。

Play：リストの最初のファイルから再生します。

トップ：一番上の階層のフォルダに移動します。

1つ上：一つ上の階層のフォルダに移動します。



本機の iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は USB 接続と Bluetooth 接続から選択することができます。

● USB 接続ケーブルで接続する場合

iPod/iPhone に付属の Lightning-USB ケーブルと USB 接続ケーブル（別売）で接続します。➡ [iPod を接続する \(USB 接続\) \(P.205\)](#)

● Bluetooth で接続する場合

あらかじめ本機に iPod/iPhone を Bluetooth 機器として登録（ペアリング）が必要です。➡ [Bluetooth 機器を登録する \(P.43\)](#)

接続方法を設定する

1

メニュー を押し、情報・設定 ▾ → システム設定 → その他設定 にタッチする

2

iPhone との接続方法 にタッチする



3

接続する方法にタッチする

USB : USB 接続ケーブルで接続します。

Bluetooth : Bluetooth で接続します。



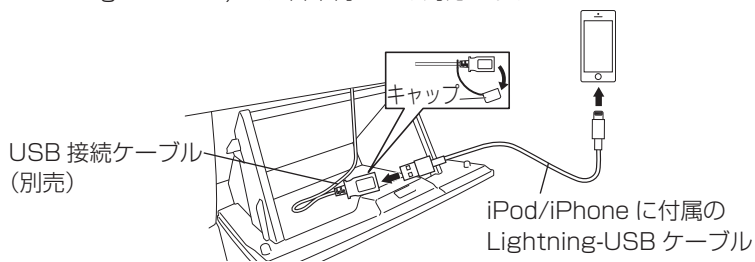
知識

- 接続方法を設定する前に、本機に USB 接続している機器がある場合は取り外してください。
- 音楽再生のみ対応しています。
- Bluetooth 接続対応の iPod/iPhone :
 iPhone X、
 iPhone 8 Plus、
 iPhone 8、
 iPhone 7 Plus、
 iPhone 7、
 iPhone SE、
 iPhone 6s Plus、
 iPhone 6s、
 iPhone 6 Plus、
 iPhone 6、
 iPhone 5s、
 iPod touch 6th generation

iPod を接続する (USB 接続)

Lightning® コネクタモデル

Lightning® コネクタモデル (iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8、iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPod touch 6th generation、iPod nano 7th generation) は、音楽再生のみ対応です。



- 1 USB 接続ケーブルに iPod/iPhone に付属の Lightning-USB ケーブルを接続し、iPod を接続する

iPod を取り外す

- 1 **メニュー** を押し、画面左側の **▶** をタッチし、AV メニューを表示する

- 2 ソースを iPod 以外に切り替える

- 3 iPod を取り外す

知識

- 接続には別売の USB 接続ケーブルが必要です。日産販売会社にご相談ください。
- USB 接続ケーブルはグローブボックスなどに配線されています。
- USB 接続ケーブル位置は車種により異なる場合があります。日産販売会社へお問い合わせください。
- iPod は、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- iPhone または iPod touch を接続して使用する際は、iPhone または iPod touch 側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

 知識

- 本機への接続前と取り外し後で、iPod のリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod が正しく動作しないときは、本機から iPod を取り外して iPod をリセットし、再度接続してください。iPod のリセット方法は、iPod の取扱説明書をご覧ください。
- iPod に楽曲を追加する操作を行う場合は、iPod を本機から取り外してください。
- iPod の動作や、バージョンアップされる iPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続して iPod を使用中に、iPod のデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- 接続中は、iPod を操作しないでください。
- iPod の説明書もよくお読みください。
- iPod のリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- iPod の取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPod およびケーブルは、運転や乗り降りを妨げたり、エアバッグの動作を防げないように固定してください。
- iPod を車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 車のキースイッチを「OFF」にしたあとは、必ず iPod を取り外してください。iPod の電源が切れず、iPod の電池を消耗することがあります。
- iPod を USB 接続ケーブルで接続している場合は、WALKMAN[®] や USB メモリーは使用できません。
- iPod を USB 接続ケーブルで接続している場合は、本機が起動中に接続すると、iPod が充電されます。
iPod の動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPod ソースのときに、iPod の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。

iPod を使う iPodを再生する

iPod の曲を再生します。

曲を再生する

1 **メニュー** を押し、画面左側の **▶** をタッチし、AV メニューを表示する

2 **iPod** にタッチする



画面表示の見かた



- ① **曲名**
アーティスト名
アルバム名
ジャンル
再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルが表示されます。
- ② **ファイル番号 / 総曲数**
再生中のファイル番号と総曲数が表示されます。
- ③ **接続方法**
iPod の接続方法が表示されます。
- ④ **アルバムアート画像**
再生中のアルバムアート画像が表示されます。
- ⑤ **演奏時間 / 総演奏時間**
演奏時間と総演奏時間が表示されます。

知識

- 曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルでそれぞれの情報がすべて表示されないときは、◀◀◀ にタッチするとスクロール表示します。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名、ジャンル名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

表示されるボタンとはたらき



ボタン	説明
	再生または一時停止（ポーズ）します。
	前/次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
	再生中の曲順をリスト表示します。 ➡ 再生中の曲順リストから選曲する (P.210)
	AV 設定画面を表示します。➡ AV の設定をする (P.151)
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 OFF：リピート再生モードを解除します。 ALL：リスト内のすべての曲を繰り返し再生します。 1：再生中の曲を繰り返し再生します。
	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 OFF：シャッフル再生モードを解除します。 曲：リスト内の曲をシャッフル再生します。 アルバム順：アルバムをシャッフル再生します。アルバム内の曲は曲順どおりに再生されます。
	再生リストを表示します。➡ リストから曲を選択する (P.211)

知識

- をタッチするとファイルの先頭に戻り、さらに をタッチすると前のファイルを再生します。

再生中の曲順リストから選曲する

1 **表示モード** にタッチする



2 曲名にタッチする
タッチした曲が再生されます。



知識

- カテゴリーリストを選択していないときは、**表示モード** が無効表示になります。
➡ [リストから曲を選択する \(P.211\)](#) を参照して、曲を選択します。

リストから曲を選択する

iPod 本体での操作と同様に、再生する曲を本機から選択できます。

1 <リスト表示アイコン>にタッチする



2 再生するカテゴリー、または曲にタッチする





Play：リストの最初の曲から再生します。

トップ：一番上の階層のフォルダに移動します。

1つ上：一つ上の階層のフォルダに移動します。



<リスト表示アイコン>

	アーティストからの選択リスト画面になります。		アルバムからの選択リスト画面になります。
	ジャンルからの選択リスト画面になります。		再生中のカテゴリーリスト画面になります。

Bluetooth オーディオ機器を使う Bluetoothオーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

準備する

Bluetooth オーディオ機器を使用するには、本機に Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを Bluetooth 機器として登録（ペアリング）が必要です。

➡ Bluetooth 機器を登録する (P.43)

曲を再生する

1 **メニュー** を押し、画面左側の **》** にタッチし、AV メニューを表示する

2 **Bluetooth Audio** にタッチする



知識


- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種や使用しているアプリケーションによっては、操作ボタンや楽曲情報、リストを表示できない場合があります。また、再生方法（スキップ操作やランダム再生モード切替など）や表示モードを操作できない場合があります。

画面表示の見かた



- ① **曲名**
アーティスト名
アルバム名
再生中の曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されます。
- ② **ファイル番号**
再生中のファイル番号が表示されます。
- ③ **デバイス名**
Bluetooth オーディオ機器のデバイス名が表示されます。
- ④ **演奏時間 / 総演奏時間**
演奏時間と総演奏時間が表示されます。

知識

- 曲名、アーティスト名、アルバム名でそれぞれの情報がすべて表示されないときは、 にタッチするとスクロール表示します。

Bluetooth オーディオ機器を使う Bluetoothオーディオ機器を再生する

表示されるボタンとはたらき




ボタン	説明
	再生します。
	一時停止（ポーズ）します。
	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻しまたは早送りします。
	再生リストを表示します。 ➡ カテゴリ / フォルダリストから選曲する (P.216)
	Bluetooth デバイス接続画面を表示します。 ➡ 登録した機器を接続 / 解除する (P.229)
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 OFF：リピート再生モードを解除します。 ALL：リスト内のすべてのファイルを繰り返し再生します。 1：再生中のファイルを繰り返し再生します。

知識

- をタッチするとファイルの先頭に戻り、さらに をタッチすると前のファイルを再生します。

Bluetooth オーディオ機器を使う Bluetoothオーディオ機器を再生する

ボタン	説明
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 ☒ OFF：ランダム再生モードを解除します。 ☒ ALL：すべてのファイルをランダム再生します。
AV 設定	AV 設定画面を表示します。➡ AV の設定をする (P.151)
リスト	再生リストを表示します。➡ 再生中の曲順リストから選曲する (P.217)

カテゴリ / フォルダリストから選曲する

1 **表示モード** にタッチする



2 フォルダにタッチして、
曲名にタッチする
タッチした曲が再生されます。

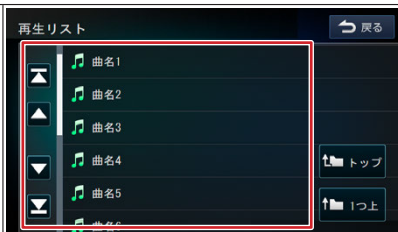


再生中の曲順リストから選曲する

1 リスト にタッチする



2 再生したいファイル名にタッチする
選択したファイルから再生を開始し、元の画面に戻ります。
フォルダを選択した場合は、フォルダ内のファイルがリスト表示されます。
[トップ]：一番上の階層のフォルダに移動します。
[一つ上]：一つ上の階層のフォルダに移動します。



知識

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種や使用しているアプリケーションによっては、再生リストを表示できない場合があります。

本機に接続した外部ビデオ機器の映像や外部オーディオ機器の音楽を視聴します。

外部機器を再生する

1 **メニュー** を押し、画面左側の **▶** にタッチし、AV メニューを表示する

2 **VTR** *または **AUX** にタッチする
AUX は MJ118D-W/MJE18D-EV のみ表示されます。

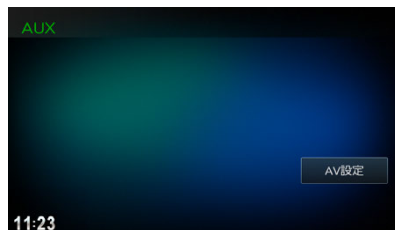


■ 画面の表示例

VTR*



AUX (MJ118D-W/MJE18D-EV のみ)



📖!知識

- 外部ビデオ機器の接続には別売の AV ケーブルが必要です。日産販売会社にご相談ください。

MJ118D-W/MJE18D-EV

- 外部オーディオ機器の接続には市販品のステレオミニプラグ (φ 3.5mm) のオーディオケーブルが必要です。

📖!知識

- **AV 設定** にタッチすると AV 設定画面が表示されます。
 ⤵️ **AV の設定をする (P.151)**

VTR*の表示について

- ドライブレコーダーを本機に接続している場合は選択できません。
- 画面にタッチするとソース名が表示されます。
- ソース名は一定の時間がすぎると消えます。
- 画面右上の **非表示** にタッチしても消すことができます。

★ オプションの装着により選択できない場合があります。

バックビューモニター★・ドライブレコーダー★

バックビューモニター★

バックビューモニターシステムについてのご注意	220
バックビューモニターの見かた	221
バックビューモニターの目安線を調整する	225

ドライブレコーダー★

ドライブレコーダーの映像を見る	226
-----------------	-----

★ オプションの装着が必要です。

■ 使用上のお願い

■ カメラには強い衝撃を与えない

カメラ部は精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。破損して火災・感電の原因となることがあります。

■ カメラを汚さない

- カメラ部に泥・雨滴・雪などが付着すると、バックビューモニターの映りが悪くなりますので、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- カメラ部に泥・雪などが付着して、泥が固まったり、氷がついてしまっているときは、棒などでたたいて泥や氷を落とさず、ぬるま湯をかけて洗い流してください。破損して火災・感電の原因となることがあります。

■ タバコなどの火気を近づけない

カメラやコード類にタバコなどの火気を近づけないでください。破損や発火の原因となることがあります。

■ 安全な保守・点検を行うために

● カメラレンズ部は傷をつけない

ボディ洗車する場合やカメラレンズ部の汚れを拭き取る際は傷をつけないよう注意してください。カメラレンズ部への洗車ブラシ等のご使用はしないでください。バックビューモニター映像への影響がでることがあります。

● ボディワックスはカメラレンズ部に付けない

ボディワックスをかける場合は、ワックスがカメラレンズ部に付かないよう注意してください。カメラレンズ部のコーティング性能を劣化させる原因となることがあります。

■ カメラの映像について

部分的に明るい光を映したとき、画面が白くぼやけて見えにくくなることがありますが、故障ではありません。

■ 無線機のアンテナを近くに取り付けない

無線機の電波がケーブルに飛び込むと、バックビューモニター映像にナナメの縞模様が出ることがあります。

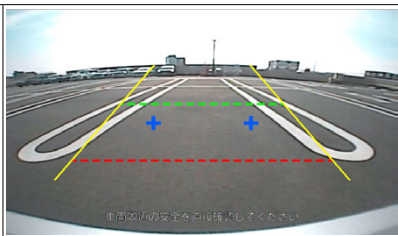
バックビューモニター★

バックビューモニターの見かた

本機に接続したバックビューモニター（ディーラーオプション）の映像を表示します。カメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。

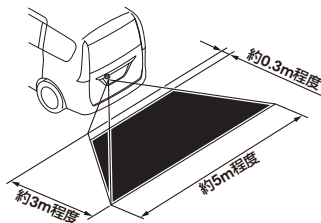
バックビューモニターの映像を表示する

- 1** シフトレバーを“R”（リバース）にする
バックビューモニターの映像が表示されます。



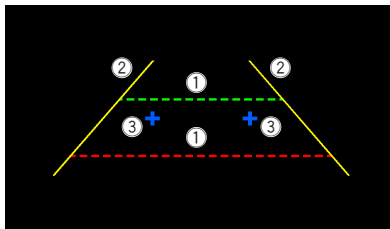
<映し出す範囲のイメージ図>

※車種によりバックビューモニターの映し出す範囲が異なります。



<目安線について>

- ① 距離目安線（緑色：車両後端約 2 m、赤色：車両後端約 0.5 m）
車両後方の距離の目安を表示
- ② 車幅目安線（黄色）
後退したときの車幅の目安を表示
- ③ バックドア開閉目安点（青色）
バックドアの開閉に必要なスペースの目安を表示



★ オプションの装着が必要です。

⚠ 注意

- モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

🚗 アドバイス

- バックビューモニターシステムは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。

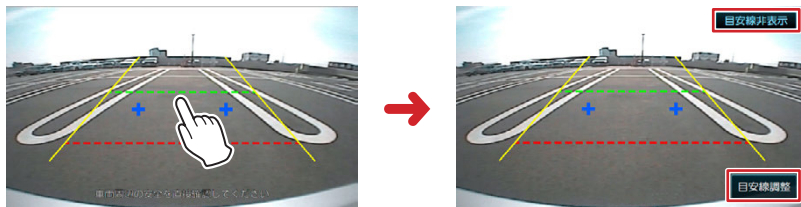
📖知識

- カメラのレンズ部が汚れていると、映りが悪くなりますので清掃してください。
- 次のような場合は、バックビューモニターの映像が見づらくなることがありますが、故障ではありません。
 - 暗いところ（夜間など）や極端に暑いとき（寒いとき）は、映りが悪くなることがあります。
 - 直接カメラに強い光が入ると、映像に影響が出ることがあります。
 - 蛍光灯等の照明の下では、画面がちらつくことがあります。
 - バンパーなどからの強い反射光が入ると、映像に影響が出ることがあります。
- 夜間や暗い場所、照明の下などではモニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 字光式ナンバープレートを装着すると、バックビューモニターの映像が一部映らなくなることがあります。

■バックビューモニター操作ボタンを使う

1

バックビューモニター映像にタッチする
バックビューモニター操作ボタンが表示されます。

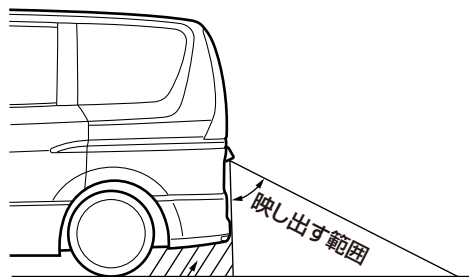


目安線表示 / **目安線非表示** : 目安線を表示、または目安線を消します。

目安線調整 : 目安線を調整します。

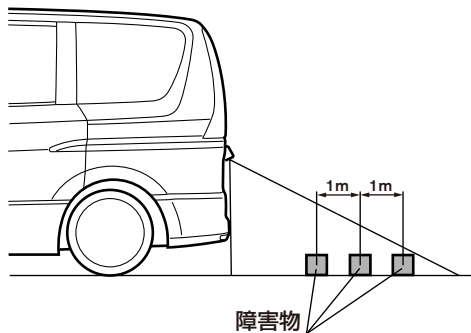
★ オプションの装着が必要です。

バックビューモニター使用時のご注意

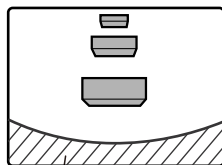


映し出されません

<バックビューモニター映像画面>



障害物



車体

⚠ 警告

- バックビューモニターが映し出す範囲には限界があります。後退するときは、直接目で後方および周囲の安全を確認しながら後退を開始してください。
- バックビューモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- バックビューモニターの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。

⚠ 注意

- バックビューモニターの映像は広角レンズを使用しておりますので、実際の距離と感覚が異なります。ゆっくり後退してください。
- バックビューモニターの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた鏡像です。

<p>1</p>	<p>バックビューモニター映像にタッチする</p>
<p>2</p>	<p>目安線調整 にタッチする バックビューモニター操作ボタンが表示されます。</p> 
<p>3</p>	<p>調整するカーソル (⊕) にタッチする カーソルに緑枠 (⊕) が付きます。</p> 
<p>4</p>	<p>← / → / ↓ / ↑ にタッチして、 ガイド線を調整する 初期状態：ガイド線の位置を初期状態に戻します。</p> 

★ オプションの装着が必要です。

ドライブレコーダー★

ドライブレコーダーの映像を見る

本機に接続したドライブレコーダー（ディーラーオプション）の映像を見ることができます。

1

メニュー を押し、画面左側の **▶** をタッチし、AV メニューを表示する

2

ドライブレコーダー にタッチする
ドライブレコーダーの映像が
表示されます。



知識

- 画面にタッチするとソース名が表示されま
す。
- ソース名は一定の時間がすぎると消えま
す。
- 画面右上の **非表示** でも消すことができ
ます。
- 本機からはドライブレコーダーを操作でき
ません。操作手順については、ドライブレ
コーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ 画面の表示例



★ オプションの装着が必要です。

Bluetooth 機器の設定

Bluetooth 機器の登録について	228
登録した機器を接続 / 解除する	229
登録した機器を消去する	231
Bluetooth の設定をする	232
パスキーを変更する	233
本機のデバイス名を変更する	234
携帯電話接続確認案内を設定する	235

ハンズフリーフォンを使う

ハンズフリーフォンの基本操作	236
電話をかける電話機を選ぶ	240
ワンタッチダイヤルを使う	241
履歴から電話をかける	244
電話帳を登録する	245
電話帳から電話をかける	246
電話帳を消去する	247
ダイヤルして電話をかける	248

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、[👉Bluetooth 対応プロファイル \(P.323\)](#) をご覧ください。
- 本機の電源を入れたときに、ハンズフリーで使用する携帯電話と接続できない場合は、[携帯電話接続確認案内をします。](#) [👉携帯電話接続確認案内を設定する \(P.235\)](#)

📖!知識

- Bluetooth 機器の操作方法は、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用するには登録（ペアリング）が必要です。

登録操作は [👉Bluetooth 機器を登録する \(P.43\)](#) をご覧ください。

Bluetooth 機器を接続する

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth 設定** → **機器選択** にタッチする

2 接続する Bluetooth 機器にタッチする

1**2** : ハンズフリー接続

1 : Bluetooth Audio/アプリケーション
連携接続



3 接続する種別にタッチして、

閉じる にタッチする

電話 1 : 「電話 1」として使用します。

電話 2 : 「電話 2」として使用します。

Bluetooth Audio/アプリケーション連携 :
Bluetooth オーディオ再生と本機対応
のスマートフォン連携アプリケーション
を Bluetooth 接続で使用します。



知識

- Bluetooth Audio/アプリケーション連携接続は 1 台のみ設定できます。
- Bluetooth 機器を複数登録しているときに接続する機器を切り替えたい場合は、接続したい機器の種別を選び直してください。

Bluetooth 機器の接続を解除する

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth 設定** → **機器選択** にタッチする

2 解除したい Bluetooth 機器に
タッチする





3 解除する種別にタッチして、**閉じる** にタッチする
接続をすべて解除するには、
 (チェックマーク) をすべて外します。
電話 1 / **電話 2** : (チェックマーク)
を外すと、ハンズフリーフォンとしての
接続を解除します。
Bluetooth Audio/アプリケーション連携 :
 (チェックマーク) を外すと、
Bluetooth オーディオ再生と本機対応
のスマートフォン連携アプリケーション
を使用するための接続を解除します。



Bluetooth 機器の設定 登録した機器を消去する

本機に登録した Bluetooth 機器を消去します。

1	メニュー を押し、電話 → Bluetooth 設定 → 機器選択 にタッチする
2	<p>消去 にタッチする</p> 
3	<p>消去する Bluetooth 機器を選んでタッチし、消去 にタッチする 選択した機器は <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) が付きます。 複数選択することもできます。 全て選択 : リスト内のすべての機器を選択します。 全て解除 : リスト内のすべての機器の選択を解除します。</p> 
4	はい にタッチする 選択した機器が消去されます。

Bluetooth 機器の設定

Bluetoothの設定をする

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth 設定** にタッチする

2 **<設定項目>** にタッチする



< 設定項目 > (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/OFF	Bluetooth 接続の ON (接続する)、OFF (接続しない) を設定します。
機器登録	—	本機に Bluetooth 機器を登録します。➡ Bluetooth 機器を登録する (P.43)
機器選択	—	Bluetooth 機器の使用する種別を選択します。➡ 登録した機器を接続 / 解除する (P.229)
デバイス名	—	現在の本機のデバイス名 (NISSAN MJ118D* または NISSAN MJE18D*) が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。➡ 本機のデバイス名を変更する (P.234)
デバイスアドレス	—	本機のデバイスアドレスが表示されます。
パスキー	0000*	現在の本機のパスキーが表示されます。また、本機のパスキーを変更します。 ➡ パスキーを変更する (P.233)
携帯電話接続確認案内	ON*/OFF	本機の電源を入れたときに、「電話 1」または「電話 2」に接続されている Bluetooth 電話機と接続できなかった場合にメッセージと音声で案内する接続確認の ON (案内する)、OFF (案内しない) を設定します。 ➡ 携帯電話接続確認案内を設定する (P.235)
着信の自動応答	ON/OFF*	ON に設定すると着信時に、自動的に通話可能になります。

Bluetooth 機器の設定 パスキーを変更する

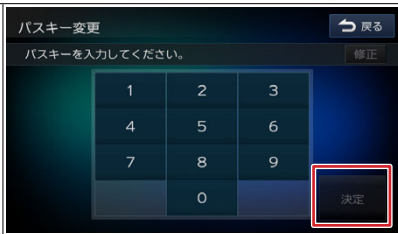
Bluetooth オーディオ機器など、パスキーが固定されている場合、接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機のパスキーを変更します。

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth 設定** → **パスキー** にタッチする

2 **修正** にタッチして、
カーソルの前にある
パスキーを消去する



3 パスキーを入力して、
決定 にタッチする
パスキーが変更されます。



知識

- パスキーは、Bluetooth 機器を登録する際に使用する暗証番号です。
- 設定できるパスキーの桁数は、4～8 桁です。

Bluetooth 機器の設定 本機のデバイス名を変更する

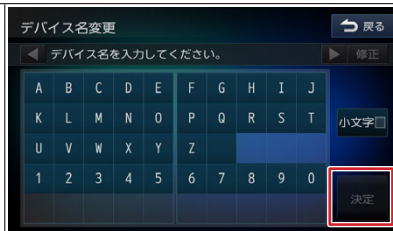
本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth 設定** → **デバイス名** にタッチする

2 **修正** にタッチして、
カーソルの前にある
デバイス名を消去する



3 デバイス名を入力して、
決定 にタッチする
デバイス名が変更されます。



知識

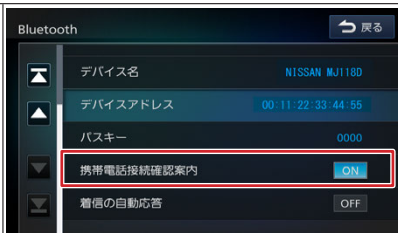
- デバイス名は 20 文字まで入力できます。入力できる文字はアルファベット(大文字、小文字)、数字とスペースのみです。
- **小文字** にタッチすると、アルファベットの小文字を入力できます。
- **◀** または **▶** にタッチして消去したい文字の後ろにカーソルを移動して、**修正** にタッチすると文字を消すことができます。
- **修正** にタッチし続けると、入力した文字列が全て消去されます。

携帯電話接続確認案内を設定する

本機の電源を入れたときに、「電話 1」または「電話 2」に登録されているスマートフォンと接続できなかった場合に、メッセージと音声で案内します。

1 **メニュー** を押し、**電話** → **Bluetooth 設定** にタッチする

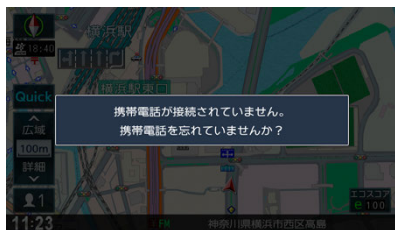
2 **携帯電話接続確認案内** にタッチする
ON：接続確認の案内をします。
OFF：接続確認の案内をしません。



知識

- Bluetooth Audio/アプリケーション連携にのみ接続設定されている機器については接続確認の案内は行いません。
- お買い上げ時は、「携帯電話接続確認案内」は ON に設定されています。
- 「電話 1」と「電話 2」に登録している場合は、「電話 1」と「電話 2」の両方と接続できなかったときに、接続確認が案内されます。

■ 携帯電話と Bluetooth 接続ができなかったときに表示される携帯電話接続確認案内
起動時に音声と画面で案内します。



ハンズフリーフォンを使う ハンズフリーフォンの基本操作

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。電話を着信すると、着信画面が表示され電話を受けたり、切ることができます。

準備する

ハンズフリーフォンを使用するには、本機に Bluetooth 対応携帯電話、またはスマートフォンを Bluetooth 機器として登録（ペアリング）が必要です。

➔ Bluetooth 機器を登録する (P.43)

電話画面を表示する

1

メニュー を押し、**電話** にタッチする
電話メニューが表示されます。



< インジケーター >

- ① **デバイス名**
発信に使用する Bluetooth 電話機のデバイス名が表示されます。
- ② **電波受信状態**
接続した Bluetooth 電話機の電波受信状態が表示されます。
- ③ **バッテリー残量**
接続した Bluetooth 電話機のバッテリー残量が表示されます。

知識



- Bluetooth 電話機のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 電話機の表示と一致しない場合や表示できない場合があります。

<メニューリスト>

履歴	発信、着信、不在着信履歴を表示します。	➡ 履歴から電話をかける (P.244)
電話帳	電話帳を表示します。	➡ 電話帳から電話をかける (P.246)
ダイヤル	電話番号を入力します。	➡ ダイヤルして電話をかける (P.248)
販売会社	購入した日産販売会社に発信します。	—
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤルに登録された番号に発信します。	➡ ワンタッチダイヤルから電話をかける (P.242)
リダイヤル	直前にかけた番号に発信します。	—
Bluetooth 設定	Bluetooth 機器を設定します。	➡ Bluetooth の設定をする (P.232)
電話 1 / 電話 2	発信に使用する電話機を選択します。	➡ 電話をかける電話機を選ぶ (P.240)

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

1

 にタッチする
 にタッチすると、着信を拒否します。







2

通話が終わったら、 にタッチする





!!知識

- 電話機を2台接続しているときに通話すると、通話していない電話機とのBluetooth接続が切れます。通話が終わると再度Bluetoothが接続されます。
-  にタッチするとボタンの表示を最小化します。もう一度表示するには  /  にタッチします。
- ハンズフリー通話中は、**音量** ロータリースイッチ、または  (音量) スイッチで受話音量を調整できます。
- ハンズフリーフォンの着信音量と受話音量は、AVの音量とは別に調整できます。
➔ [音量 \(P.268\)](#)
- 着信したときに自動で電話を受けるように設定できます。
➔ [Bluetoothの設定をする \(P.232\)](#)
- 車種によってステアリングスイッチでも電話を受けたり、切ることができます。
➔ [ステアリングスイッチ \(P.22\)](#)

通話中画面の見かた



- ① **ミュート**
送話音声を消します。
- ② **送話音量**
送話音量を調整します。
- ③ **トーン**
トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。
- ④ **ハンズフリー切替**
ハンズフリーでの通話と、携帯電話機での通話を切り替えます。
- ⑤ **電話切替**
電話を切ります。
- ⑥ **閉じる**
タッチするとボタンの表示を最小化します。もう一度表示するには  /  にタッチします。

アドバイス

- 走行中に携帯電話での通話に切り替えて、運転者が通話することはおやめください。

ハンズフリーフォンを使う 電話をかける電話機を選ぶ

携帯電話またはスマートフォンを2台接続している場合に、発信に使用する電話機を選択します。

1

メニュー を押し、電話 にタッチする

2

電話1 または 電話2 にタッチする
ボタンが選択状態になり、デバイス名
が左上に表示されます。



ハンズフリーフォンを使う ワンタッチダイヤルを使う

よく使用する電話番号をワンタッチダイヤルに登録すると、簡単に発信できます。
あらかじめワンタッチダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。

ワンタッチダイヤルに電話番号を登録する

1 **メニュー** を押し、**電話** → **ワンタッチダイヤル** にタッチする

2 **編集** にタッチする



3 登録する位置にタッチする



4 登録方法にタッチし、電話番号を登録する

履歴から登録：登録する電話番号を発信、着信、不在着信履歴から選んでタッチします。

電話帳から登録：登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

10キーで登録：電話番号を入力し、**登録** にタッチします。



知識

- ワンタッチダイヤルに登録できる電話番号は8件までです。

ワンタッチダイヤルから電話をかける

1 **メニュー** を押し、**電話** → **ワンタッチダイヤル** にタッチする

2 発信するダイヤルにタッチする
選択した電話番号に発信されます。



ワンタッチダイヤルの登録を消去する


1 **メニュー** を押し、**電話** → **ワンタッチダイヤル** にタッチする

2 **編集** にタッチする



■ 全て消去する場合

1 **全て消去** にタッチし、**はい** にタッチする
全てのワンタッチダイヤルが
消去されます。




■ 選んで消去する場合

1 消去したいワンタッチダイヤルに
タッチする



2 **消去** にタッチし、**はい** にタッチする
選択したワンタッチダイヤルが
消去されます。



ハンズフリーフォンを使う

履歴から電話をかける

携帯電話が Bluetooth プロファイルの PBAP に対応している場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。Bluetooth プロファイルの PBAP に対応していない携帯電話は使用できません。

1 **メニュー** を押し、**電話** → **履歴** にタッチする

2 **発信** / **着信** / **不在着信** のいずれかに
タッチする



3 発信する履歴にタッチして、**はい** に
タッチする
選択した電話番号に発信されます。



知識

- 電話機によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。電話機でアクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、[Bluetooth 対応プロファイル \(P.323\)](#) をご覧ください。
- 携帯電話が PBAP に対応しているかは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

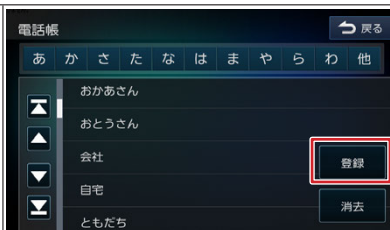
電話帳を登録する

携帯電話が Bluetooth プロファイルの PBAP に対応している場合に電話帳を登録することができます。
電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録できます。

1 **メニュー** を押し、**電話** → **電話帳** にタッチする

2 **登録** にタッチする

Bluetooth プロファイルの PBAP 対応携帯電話の場合は電話帳の登録が始まります。
携帯電話によっては、電話帳および履歴情報へアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。



知識

- Bluetooth プロファイルの PBAP に対応していない携帯電話は使用できません。
- 電話帳登録中に下記の操作や状態になると電話帳登録を中断します。中断した場合は、電話帳を登録しなおしてください。
 - 画面を地図画面やトップメニュー画面に切り替える
 - ソースを切り替える
 - 電話に着信がある
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

ハンズフリーフォンを使う 電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 **メニュー** を押し、**電話** → **電話帳** にタッチする

2 発信する相手にタッチする



3 発信する電話番号にタッチして、**はい** にタッチする
選択した電話番号に発信されます。



知識

- 電話帳を利用するには、はじめに電話帳の登録が必要です。
➡ 電話帳を登録する (P.245)

ハンズフリーフォンを使う 電話帳を消去する

1 **メニュー** を押し、**電話** → **電話帳** にタッチする

2 **消去** にタッチする



3 消去する登録名にタッチして、**消去** にタッチする

複数選択することもできます。

全て選択：リスト内のすべてを選択します。

全て解除：リスト内のすべての選択を解除します。



4 **はい** にタッチする
選択した登録が消去されます。

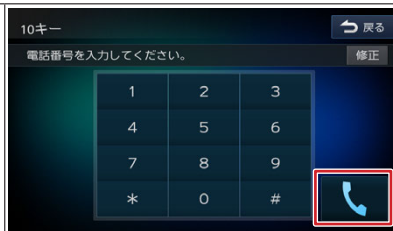
知識

- 本機に登録した情報のみを消去します。電話機側の電話帳は消去されません。

ハンズフリーフォンを使う ダイヤルして電話をかける

1 **メニュー** を押し、**電話** → **ダイヤル** にタッチする

2 電話番号を入力して、**電話** にタッチする



3 **はい** にタッチする
入力した電話番号に発信されます。

NaviCon を使う

NaviCon を準備する	250
NaviCon の操作	252
NaviCon 友達マップ機能を使う	253

NaviCon を使う NaviCon を準備する

「NaviCon」は、地点や店舗を検索して登録しておくことができるスマートフォン専用アプリです。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することができます。

NaviCon について

NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や詳細については下記の URL をご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。

準備する

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する
本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。
対応スマートフォンについては、下記の URL をご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。➡Bluetooth 機器を登録する (P.43)

📖!知識

- 「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

■ iPhone を接続する場合

接続方法は USB 接続と Bluetooth 接続から選択することができます。

● USB 接続ケーブルで接続する場合 ➡ iPod を接続する (USB 接続) (P.205)

Lightning-USB ケーブルと USB 接続ケーブル (別売) で接続します。

● Bluetooth で接続する場合

あらかじめ本機に iPhone を Bluetooth 機器として登録 (ペアリング) が必要です。

➡ Bluetooth 機器を登録する (P.43)

● 接続方法を設定する

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **システム設定** → **その他設定** にタッチする

2 **iPhone との接続方法** にタッチする



3 **接続する方法にタッチする**

USB : USB 接続ケーブルで接続するときに設定します。

Bluetooth : Bluetooth で接続するときに設定します。



知識

- 接続方法を設定する前に、本機に USB 接続している機器がある場合は取り外してください。
- 対応の iPhone :
iPhone X、iPhone 8 Plus、iPhone 8、iPhone 7 Plus、iPhone 7、iPhone SE、iPhone 6s Plus、iPhone 6s、iPhone 6 Plus、iPhone 6、iPhone 5s、iPod touch 6th generation

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。

なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

NaviCon を使って目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に転送して、行き先として設定することができます。

1 スマートフォン側で「NaviCon」を起動する

- 2 アプリで目的地を設定し、「NaviCon」から本機に地点情報を転送する
転送された場所が本機に表示されます。
転送方法については、下記の URL をご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>

- 3 **目的地** にタッチする
ルートの探索が始まります。
👉 ルートの探索条件を選択して案内を開始する (P.98)



友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。友達の位置を目的地に設定することもできます。

ナビの友達マップ機能を ON にする

1 本機にスマートフォンを接続する

2 スマートフォン側で「NaviCon」を起動して、友達マップ機能をオンにする

3 **メニュー** を押し、**情報・設定** を開き、**システム設定** にタッチする

4 **スマートフォン連携** にタッチする



5 **NaviCon 友達マップ表示** にタッチして ON にする

現在地図画面を表示すると
友達アイコンが表示されます。

➡ 友達マップ機能のアイコンについて
(P.254)

OFF にすると、友達マップ機能を
オフにします。



知識

- 友達マップは、NaviCon で事前にお友達を招待する必要があります。操作方法については、下記の URL をご覧ください。
<https://navicon.com/user/support/>
- 本機の友達マップ機能を ON に設定しても他のスマートフォンを接続したときは、**NaviCon 友達マップ表示** 機能が OFF になります。設定を ON にしたときと違うスマートフォンを使用する場合は、設定を ON にしなおしてください。

■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。



📖!知識

- 友達アイコンは NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。
- NaviCon と通信できない状態が 10 分続くと友達マップ機能が OFF になります。

🟢 本機との接続状態表示アイコン

- 緑色：友達マップ機能は ON になっている
- 黄色：友達マップ機能は ON になっているが通信エラーが発生している
- 灰色：友達マップ機能が OFF になっている、または NaviCon と通信できない状態

友達アイコン

- 緑色：友達の NaviCon が通信できる状態
- 灰色：友達の NaviCon が通信できない状態

友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示させることができます。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ⇩ → **システム設定** → **スマートフォン連携** にタッチする

2 **NaviCon 友達マップ全体表示** にタッチする
全体表示画面が表示されます。

スマートフォン連携

戻る

NaviCon友達マップ表示

ON

NaviCon友達マップ全体表示

- ・NaviConをiPhoneで利用する場合、メニュー→情報・設定>システム設定>その他設定>[iPhoneとの接続方法]を[Bluetooth]にしてください。
- ・友達マップ表示を[ON]に設定すると、地図画面上のユーザーボタンが友達マップボタンに変更されます。
- ・友達マップ表示を[OFF]に設定すると、地図画面上にユーザーボタンが表示されます。

3 **友達を選択する**
友達の位置を目的地に設定することができます。📍 **友達の位置を目的地に設定する** (P.256)



友達の位置を目的地に設定する

1 地図画面に友達の位置を表示させる ➡ **友達の位置を全体表示する (P.255)**

2 ◀、▶ にタッチして友達を選び、
この友達を選択 にタッチする
リスト：友達をリスト表示します。
目的地に設定する友達の名前をタッチ
します。



3 目的地 にタッチする
ルートの探索がはじまります。
➡ ルートの探索条件を選択して案内を
開始する (P.98)



知識

- 画面に表示される友達アイコンをタッチしても選択できます。

情報表示や設定について

情報・設定メニューについて	258
---------------	-----

エコ運転診断

エコ運転診断を確認する	260
エコ運転診断を保存/リセットする	263

ユーザーの設定

ユーザーを切り替える	264
ユーザー名を編集する	265

システム設定

システムの設定をする	266
システムを初期化する	271
セキュリティコードの設定	272
オプションスイッチをカスタマイズする	275

車両のメンテナンス情報設定

車両のメンテナンス情報を設定する	276
------------------	-----

情報を見る

システム情報を見る	278
接続状態を確認する	280


情報表示や設定について

情報・設定メニューについて

情報・設定メニューでは、VICS 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1
メニュー を押し、情報・設定 にタッチする

2
<メニュー項目>にタッチする



<メニュー項目>

情報	渋滞情報	FM VICS 情報を表示します。	➔ VICS 図形 / 文字情報を見る (P.139)
	システム情報	本機のソフトウェアのバージョン、ナビゲーション ID、地図データに関する情報を表示します。	➔ システム情報を見る (P.278)
	取扱説明書	Web サイトで閲覧する取扱説明書の QR コードを表示します。	➔ スマートフォンで取扱説明書を閲覧する (P.3)
ナビ設定	表示	地点のアイコンなど、地図に表示させるものに関する設定を行います。	➔ 地図の表示を設定する (P.67)
	案内	ルート案内画面や案内音声など、ルートの案内に関する設定を行います。	➔ ルート案内の設定 (P.115)
	探索	各種探索条件やルート学習など、ルートの探索に関する設定を行います。	➔ ルート探索の設定 (P.101)
	登録地編集	自宅や特別メモリ地点、グループに登録した地点に関する設定を行います。	➔ 登録地を編集する (P.128)
	イーजीセットアップ	イーजीセットアップを行います。	➔ イーजीセットアップを行う (P.37)

AV設定	バランスや音質など AV サウンドの設定をします。	➡ AV の設定をする (P.151)
システム設定	セキュリティや音量などシステムに関する設定をします。	➡ システムの設定をする (P.266)

現在地図画面でエコ運転診断情報を見ることができます。

エコ運転診断情報を見る

エコ運転診断は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100点満点で表示されます。加速状況、減速状況、巡航状況を判定して表示します。



簡易エコスコア

知識

- エコ運転診断機能を表示するか設定できます。👉 [地図の表示を設定する \(P.69\)](#)

エコスコアを見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、エコ度判定や総合評価グラフが表示されます。

1

エコスコア にタッチする

エコスコアが表示されます。



知識

- エコ運転診断情報で表示される内容は、あくまで目安です。
- エコ運転診断情報の各スコアはリセットされるまでの蓄積情報で計算をしていますので、リセット間隔が長いほどスコアが変動しにくくなります。

■ 画面表示の見かた



< 評価グラフの各項目 >

発進	発進の加速状態の評価です。ふんわりアクセルでやさしい発進を心がけましょう。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
巡航	走行中の加減速の評価です。車両間隔に余裕をもって、速度にムラがないと高評価となります。
減速	減速状態の評価です。早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキを利用して減速しましょう。急減速の回数が少ないと、高評価となります。

< 操作ボタン >

	エコ運転度を表示します。➡ エコ運転度について (P.262)
	燃費度合グラフを表示します。➡ 履歴表示について (P.262)
	エコスコアとエコ運転度のデータを SD カードに保存します。 確認のメッセージで はい にタッチすると、SD カードに保存します。 確認のメッセージで いいえ にタッチすると、エコ運転診断のリセットのみを行うか確認のメッセージが表示されます。 ➡ エコ運転診断を保存 / リセットする (P.263)
	エコスコア画面を閉じます。

エコ運転度について

エコスコア画面で **エコ運転度** にタッチすると、エコ運転度が表示されます。
エコ運転度画面で **エコスコア** にタッチすると、エコスコア画面に戻ります。



< 評価グラフの各項目 >

瞬間	車の速度・加速度などから現在の運転を評価します。
平均	リセットしてから次にリセットするまでの平均を表します。

履歴表示について

エコスコア画面、またはエコ運転度画面で **履歴** にタッチすると、それぞれの履歴がグラフで表示されます。



リセットと同時に SD カードへ E1 Grand Prix に参加するためのデータを保存するか選ぶことができます。

1

保存 にタッチする

メッセージが表示されます。



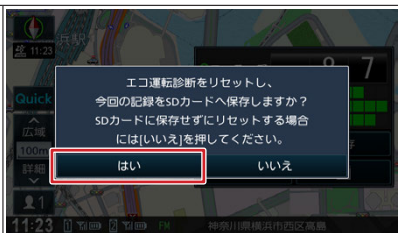
2

はい にタッチする

SD カードに保存されます。

エコ運転診断データのリセットを行います。

いいえ : メッセージが表示され **はい** にタッチすると、SD カードへの保存はせずに、エコ運転診断データのリセットのみを行います。



📖!E1 Grand Prix のご案内

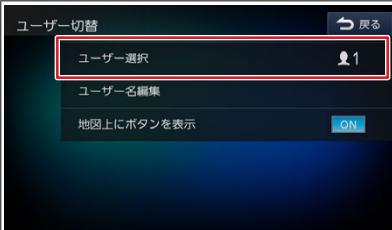
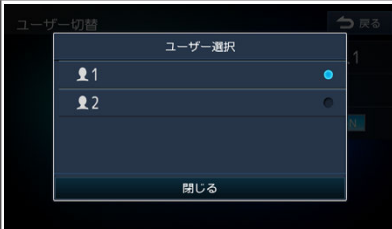
- E1 Grand Prix とは、燃費やスコアを競いながら、お客さまの車をエコカーにしていけるプロジェクトです。他のドライバーと競争しながら、楽しくエコ運転を続けることができます。登録は無料、Web サイト (<http://e1gp.jp>) からすぐにエントリーできます。
- E1 Grand Prix に関するお問い合わせは、E1 Grand Prix 運営事務局 (<http://e1gp.jp/e1gp/cgi/FaqEtc.cgi>) へお願いします。

📖!知識

- SD ソースでファイル再生中は保存できません。
- SD カードが挿入されていない場合は、エコ運転診断データのリセットのみを行います。

ユーザーの設定 ユーザーを切り替える

本機は2ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。
またユーザー名を編集したり、現在地図画面にユーザーボタン表示の設定ができます。

1	メニュー を押し、情報・設定 ▾ → システム設定 → ユーザー切替 にタッチする
2	ユーザー選択 にタッチする 
3	ユーザーを選択する 設定が切り替わります。 

知識

- 保持できる項目
 - トップメニュー画面のカスタマイズ設定
 - オプションスイッチ設定
 - 音量設定（音声案内、着信、受話、送話）
 - 地図表示の設定（分割、コンパス、縮尺、ランドマーク）
 - ユーザー登録地点
 - 目的地検索履歴

ユーザーの設定 ユーザー名を編集する

表示するユーザー名を編集します。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ⇩ → **システム設定** → **ユーザー切替** → **ユーザー名編集** に
タッチする

2 ユーザー名を入力し、**決定** に
タッチする
ユーザー名が編集されます。
戻る にタッチして情報・設定メニュー
に戻ります。
文字の入力方法は
➡ [文字入力のしかた \(P.33\)](#) を
ご覧ください。



知識

- 入力した文字を **修正** ですべて消去すると編集する前の「**1**」または「**2**」になります。
- 4文字まで入力できます。

システム設定 システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **システム設定** にタッチする

2 <システム設定メニュー>に
タッチする






<システム設定メニュー>

Bluetooth	Bluetooth 接続や登録などを設定します。	➔ Bluetooth の設定をする (P.232)
セキュリティ	セキュリティ の設定、盗難多発地点の音声案内や表示案内などを設定します。	➔ セキュリティ (P.267)
オプションスイッチ	オプションスイッチに割り当てる機能を設定します。	➔ オプションスイッチをカスタマイズする (P.275)
音量	案内音声や着信 / 受話 / 送話音量などを設定します。	➔ 音量 (P.267)
ユーザー切替	ユーザーの切り替えやユーザー名などを設定します。	➔ ユーザー切替 (P.268)
スマートフォン連携	NaviCon 友達マップの機能を使用します。	➔ NaviCon 友達マップ機能を使う (P.253)
Language	表示言語と音声言語を設定します。	➔ Language (P.268)
その他設定	車両のメンテナンス情報の設定や GPS アンテナなどの接続確認、システムの初期化などを行います。	➔ その他設定 (P.269)

(* お買い上げ時の設定です。)

■ セキュリティ

項目	設定	説明
セキュリティ設定	—	本機の起動のためのセキュリティコードを設定します。セキュリティコードが設定されている場合は表示されません。➡ セキュリティコードを設定する (P.272)
セキュリティ解除	—	設定したセキュリティコードを解除します。セキュリティコードが設定されていない場合は表示されません。➡ セキュリティコードを解除する (P.274)
セキュリティ変更	—	設定したセキュリティコードを変更します。➡ セキュリティコードを変更する (P.273)
セキュリティインジケータ	ON/OFF*	ナビの電源をオフにしたときのセキュリティインジケータの ON (点滅する)、OFF (点滅しない) を設定します。 (➡MJ118D-W/MJE18D-EV (P.19)、➡MJ118D-A (P.21)) ※初めに「セキュリティ設定」をする必要があります。
盗難多発地点 音声案内	ON*/OFF	盗難多発地点の音声案内の ON (音声案内する)、OFF (音声案内しない) を設定します。
盗難多発地点 表示案内	ON*/OFF	盗難多発地点の表示案内の ON (表示案内する)、OFF (表示案内しない) を設定します。縮尺が 100 m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色  、橙色  、黄色  で区分し表示します。(お買い上げ時、市街地図では表示しません) ※盗難の危険が高い順に赤色→橙色→黄色で表示します。(地域により基準は異なります) ※お客さまの設定によっては表示されません。
市街地図での盗難多発地点表示案内	ON/OFF*	上記の「盗難多発地点 表示案内」を「ON」に設定しているときに、盗難多発地点の市街地図での表示案内の ON (表示案内する)、OFF (表示案内しない) を設定します。

■ 音量

項目	設定	説明
案内音声の音量	1 ~ 15* ~ 40	案内音声の音量を設定します。
案内音声出力時の AV 音量	そのまま / 下げる * / 消音	音声案内時の AV ソースの音量を設定します。

システム設定 システムの設定をする

(* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
着信音量	0 ~ 15* ~ 40	着信音量を設定します。
受話音量	0 ~ 15* ~ 40	相手の声の音量 (受話音量) を設定します。 ※接続した携帯電話によっては、携帯電話側で設定した受話音量になる場合があります。
送話音量	1 ~ 11* ~ 20	相手に伝わる自分の声の音量 (送話音量) を設定します。
案内 / 通話音量調整	ON*/OFF	案内音声の音量とハンズフリー通話中の受話音量は、それぞれ音量ロータリースイッチ / 音量スイッチで調整することができます。OFF に設定すると案内音声の音量とハンズフリー通話中の受話音量の調整ができなくなります。

■ ユーザー切替

項目	設定	説明
ユーザー選択	1*/2	本機は2ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。ユーザーを選択します。 ➡ ユーザーを切り替える (P.264)
ユーザー名編集	—	ユーザー名を編集します。➡ ユーザー名を編集する (P.265)
地図上にボタンを表示	ON*/OFF	現在地図画面に表示されるユーザーカスタマイズボタンの ON (表示する)、OFF (表示しない) を設定します。

■ Language

項目	設定	説明
表示言語	Japanese*/ English/ Korean/ Chinese	ナビに表示する言語を設定します。
音声言語	Japanese*/ English/ Korean/ Chinese	ナビの音声案内に使用する言語を設定します。

■ その他設定

項目	設定	説明
販売会社専用メニュー	—	日産販売会社専用のメニューとなります。 [いいえ] にタッチします。日産販売会社以外での設定変更は行わないでください。
車両メンテナンス	—	車両のメンテナンス情報を設定すると交換時期をお知らせします。 ➡ 車両のメンテナンス情報を設定する (P.276)
接続確認	—	GPS など各接続状態を確認します。➡ 接続状態を確認する (P.280)
システムの初期化	—	ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。
操作音の出力	ON*/OFF	操作音の ON（出力する）、OFF（出力しない）を設定します。
iPhone との接続方法	USB*/Bluetooth	iPod/iPhone との接続方法を設定します。➡ 接続方法を設定する (P.204)
リバース時の AV 音量ダウン	ON*/OFF	バックするとき AV ソースの音量の ON（下げる）、OFF（下げない）を設定します。
Quick メニュー設定	—	[Quick1] ～ [Quick6] に機能を割り当てることができます。 ➡ Quick メニューのボタンの設定を変更する (P.54)
時計表示	ON*/OFF	時計の ON（表示する）、OFF（表示しない）を設定します。
オープンソースライセンス	—	ライセンスを表示します。
SD カード初期化	—	SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、すべて消去されます。
入力履歴の初期化	—	目的地メニューの「名称」検索で使用した入力履歴を初期化します。
センサー学習の初期化	—	センサー学習を初期化します。➡ センサーの学習について (P.270) タッチすると確認メッセージが表示されます。[はい] にタッチすると初期化します。

センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自転車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。

一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自転車位置のずれが大ききようであれば、センサー学習の初期化を行ってください。

➡ その他設定 (P.269)

センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自転車マークの位置が正しく表示されます。

■ 正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物（建物、街路樹など）が少ない場所を走行してください。

📖!知識

- センサー学習中は、自転車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態は、本機の画面で確認することができます。
- センサーの学習初期化は、タイヤを交換したときなどに使用してください。

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** → **システム設定** にタッチする

2 **その他設定** にタッチする



3 **システムの初期化** にタッチして、**はい** にタッチする
すべての設定をお買い上げ時の状態に戻し、本機を再起動します。



知識

- セキュリティコードは、システムの初期化をしても削除されません。➡ [セキュリティコードを解除する \(P.274\)](#) で解除してください。

盗難防止対策のためのセキュリティコードを設定します。

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードを設定すると、本機を取り外した場合、または車のバッテリーを交換した場合（+Bを外した場合）に、ここで設定したセキュリティコードの入力が必要になります。

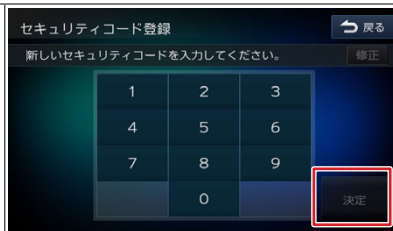
正しいセキュリティコードが入力されないと、本機は起動しません。

1

メニュー を押し、**情報・設定** ▾ → **システム設定** → **セキュリティ** → **セキュリティ設定** にタッチする

2

設定する 4～8 桁の
セキュリティコードを入力し、**決定** にタッチする



3

もう一度、同じセキュリティコードを入力し、**決定** にタッチする

🚗 アドバイス

- セキュリティコードを忘れた場合は、お買い上げの日産販売会社へご相談ください。
- セキュリティコード記入欄

--	--	--	--	--	--	--	--

セキュリティコードを変更する

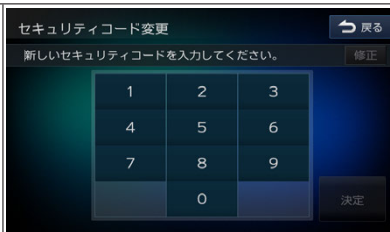
1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ⇩ → **システム設定** → **セキュリティ** にタッチする

2 **セキュリティ変更** にタッチする



3 現在設定されているセキュリティコードを入力し、**決定** にタッチする

4 新しく設定する 4～8桁の
セキュリティコードを入力し、
決定 にタッチする



5 もう一度、同じセキュリティコードを入力し、**決定** にタッチする

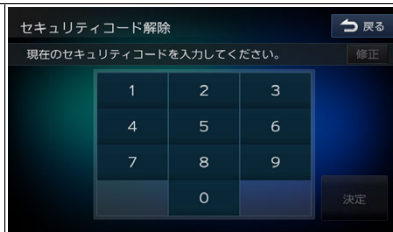
セキュリティコードを解除する

1 メニュー を押し、情報・設定 ▾ → システム設定 → セキュリティ にタッチする


2 セキュリティ解除 にタッチする



3 現在設定されている
セキュリティコードを入力し、
決定 にタッチする
現在のセキュリティコードが
解除されます。

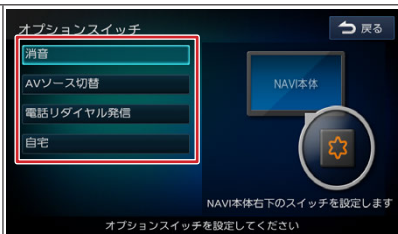


オプションスイッチをカスタマイズする

操作パネルの  (オプションスイッチ) に割り当てる機能を設定します。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定**  → **システム設定** → **オプションスイッチ** にタッチする

2 **<割り当てる機能>** にタッチする



<割り当てる機能> (* お買い上げ時の設定です。)

消音*	AV ソースの音を一時的に消します。 もう一度押すと元の音量に戻ります。
AVソース切替	押すたびに AV ソースが順番に切り替わります。
電話リダイヤル発信	直前にかけた番号に発信します。
自宅	現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。

車両のメンテナンス情報設定 車両のメンテナンス情報を設定する

車両のオイル交換など、メンテナンス情報を登録すると交換時期にお知らせします。

1 **メニュー** を押し、**情報・設定** ▾ → **システム設定** → **その他設定** → **車両メンテナンス** にタッチする

2 設定する情報にタッチする



3 <設定項目> にタッチする



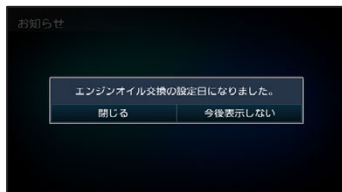
< 設定項目 > (* お買い上げ時の設定です。)

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/ OFF*	お知らせの ON (お知らせする)、OFF (お知らせしない) を設定します。
通知年月日	年月日 / 未設定 *	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし * / 3 日前から / 7 日前から	通知年月日 を設定すると表示されます。お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	*** km / 未設定 *	お知らせを通知する距離を設定します。

項目	設定	説明
通知まであと	—	お知らせを通知するまでの残りの距離を表示します。
メンテナンス名称	—	お好み 1、お好み 2 でお知らせする名称を設定します。 文字入力については 👉 文字入力のしかた (P.33) をご覧ください。
設定消去	—	設定内容を消去します。

📖!知識

- **通知開始距離** は「バッテリー交換」、「お好み 1」、「お好み 2」では設定できません。
- **メンテナンス名称** は「お好み 1」、「お好み 2」のみ設定できます。
- 通知開始設定の日になった / 設定日当日になった / 設定日をすぎた、または設定をした距離を走行すると、本機を起動したときにそれぞれの下の画面でお知らせします。

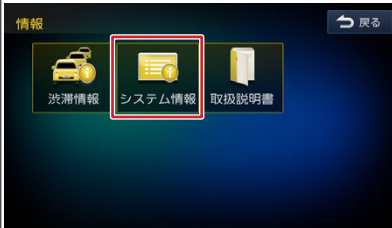



※ **今後表示しない** をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。（“お知らせ設定” しないになります）

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げの日産販売会社へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず **設定消去** をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPS からの日付情報と車速信号を使用します。

情報を見る システム情報を見る

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータの情報を確認します。


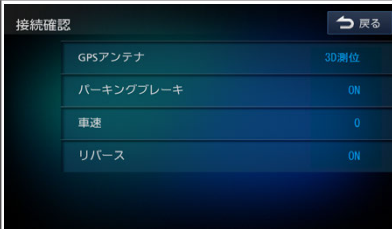
1	メニュー を押し、情報・設定 ▾ → 情報 にタッチする
2	システム情報 にタッチする 
3	<表示項目>を確認する 

< 表示項目 >

利用開始日	利用開始日を表示します。
地図データバージョン	地図データバージョンを表示します。
無料地図更新（1回目）	無料地図更新（1回目）の有効期間を表示します。
無料地図更新（2回目）	無料地図更新（2回目）の有効期間を表示します。
無料地図更新（3回目）	無料地図更新（3回目）の有効期間を表示します。
地図データクーポン	地図データクーポンの有効期間を表示します。
ナビゲーションバージョン	ナビゲーションバージョンを表示します。
ナビゲーションID	ナビゲーションIDを表示します。
地図更新ID	地図更新IDを表示します。

情報を見る 接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

1	メニュー を押し、情報・設定 ▾ → システム設定 → その他設定 にタッチする
2	接続確認 にタッチする 
3	<表示項目>を確認する 

<表示項目>

GPS アンテナ	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキングブレーキの状態を表示します。 パーキングブレーキがかかっている場合は「ON」、パーキングブレーキが解除されている場合は「OFF」と表示します。
車速	車速パルスの値を表示します。
リバース	シフトレバーのリバース状態を表示します。 リバースにしている場合は「ON」、リバース以外は「OFF」と表示します。

困ったとき

故障かなと思ったら	282
こんなメッセージが表示されたら	293

知っておいていただきたいこと

自車位置の測位精度について	296
地図データベースについて	300
ソフトウェア使用許諾契約書	303
VICS について	309
メディアおよびファイルについて	314
Bluetooth について	323
iPod について	325
商標など	326
主な仕様	331
保証とアフターサービス	334
索引	335

困ったとき 故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの日産販売会社にご相談ください。

共通

症状	考えられる原因	対処方法
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素があるが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがある。	液晶パネル特有の現象です。 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。 ➡ 画面の明るさを調整する (P.27)
画面が見にくい。	フロントパネルの角度や視野角、明るさ、コントラストが合っていない。	フロントパネルの角度や視野角、画面の明るさ、コントラストを調整してください。➡ フロントパネルの角度と画面の明るさを調整する、画面表示を消す (P.26) 、➡ 画質を調整する (P.147)
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。➡ 画質を調整する (P.147)
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。 ➡ バランス / フェーダーを設定する (P.155)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。 MJ118D-W/MJE18D-EV : ➡ MJ118D-W/MJE18D-EV (P.19) MJ118D-A : ➡ MJ118D-A (P.21)
車を後退させたときにAVの音量が下がる。	リバース時のAV音量ダウンが“ON”に設定されている。	リバース時のAV音量ダウンを“OFF”に設定してください。 ➡ その他設定 (P.269)

ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは 500m 以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を消去してください。 ➡ 登録地を消去する (P.132)
経由地を設定できない。	すでに 5 か所が設定されている。	不要な経由地を消去してください。 ➡ 目的地・経由地を消去する (P.122)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。 ➡ 行き先を探す (P.78)
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。 ➡ 行き先を探す (P.78)
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 50 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50 か所までです。不要な履歴を消去してください。 ➡ 履歴を消去する (P.90)
デモ走行で目的地まで到達しない。	—	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにデモ走行のスタート地点に戻ることがあります。

症状	考えられる原因	対処方法
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサー学習の初期化をしてください。 ➡ その他設定 (P.269) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICsの地図表示情報(レベル3)が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICsの地図表示情報(レベル3)を表示できるのは、10m～1km(一般道路は10m～500m、一般道路の駐車場情報は10m～200m)のスケールです。
	—	VICsの受信状態が悪い場合は、表示できません。
	VICsからの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。 ➡ VICsの選局方法を切り替える (P.141)
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が“昼色に固定”に設定されている。	“時刻連動”などに設定してください。 ➡ 地図の表示を設定する (P.67)
音声案内されない。	ルート案内音声の出力が“OFF”に設定されている。	ルート案内音声の出力を“ON”に設定してください。 ➡ ルート案内の設定 (P.115)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	現在地 を押して現在地図画面に切り替えてください。 ➡ 現在地図画面の見かた (P.49)
	画面がオフになっている。	現在地 を押すか、画面にタッチしてください。 ➡ 画面表示をオンにする (P.28)

困ったとき
故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。 ➡ 地図の向きと 2D/3D 表示を切り替える (P.60)
実際の道路と案内が違う。 ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。 また、目印となるランドマークを省略して表示する場合があります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声小さい。	—	案内音声の音量を大きくしてください。➡ 音量 (P.267)
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。 ➡ 目的地に設定してルートを探索する (P.96)
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自転車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。
地図画面が黄色く表示された。	VICS 情報の気象・災害情報エリアが表示されている。	画面の異常ではありませんので、そのままご使用ください。 ➡ 地図に表示される VICS 情報 (P.135)

AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。 ➡ バランス / フェーダーを設定する (P.155)
	音量が小さすぎる。	音量を適正に調整してください。 MJ118D-W/MJE18D-EV : ➡ MJ118D-W/MJE18D-EV (P.19) MJ118D-A : ➡ MJ118D-A (P.21)
音質が悪い (音がひずむ)。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。 MJ118D-W/MJE18D-EV : ➡ MJ118D-W/MJE18D-EV (P.19) MJ118D-A : ➡ MJ118D-A (P.21)
TV や USB 機器、SD カードなどの動画が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。 ➡ ディスクを取り出す (P.181)
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置 (約 1 時間) してから使用してください。 ➡ ディスクを取り出す (P.181)
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	ディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。 ➡ ディスクを取り出す (P.181)

困ったとき 故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。 ➡ <u>ディスクを取り出せないときは (P.181)</u>
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。 ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。 これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

■ ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	ファイルフォーマットが、本機で再生できないファイルフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。➡ <u>本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.318)</u>
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。➡ <u>本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.318)</u>
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合がある。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが 4 GB 以下のビデオファイルが再生できます。

TV

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしておいてください。 ➡ 放送局を登録（プリセット）する (P.169)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合がある。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。 ➡ 放送局を登録（プリセット）する (P.169)
	「ホーム」または「おでかけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。 ➡ 放送局を登録（プリセット）する (P.169)
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	見通しのいい場所に移動してください。 ワンセグに切り替えてください。 受信モードの切り替えについては、 ➡ 表示されるボタンとはたらき (P.168) の 受信モード切替 をご覧ください。
	ワンセグ / 12 セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。リセット方法は iPod の取扱説明書をご覧ください。
	iPod との接続設定が合っていない。	iPod との接続方法に合わせて、USB か Bluetooth かの設定が必要です。➡ 接続方法を設定する (P.204)
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。リセット方法は iPod の取扱説明書をご覧ください。iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	コネクタを奥までしっかりと接続してください。
音が歪む。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）をオフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。充電は本機の電源がオンのときにできます。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。

USB/WALKMAN® /SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルを使用している。	USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。 ➡ <u>本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.318)</u>
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、"、[、]、 ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。
全曲ランダム再生ができない。	USB 機器や SD カードに全曲ランダム用リストを書き込めない。	表示されたメッセージにしたがって原因を取り除いてください。
	全曲ランダム用リストが壊れている。	パソコンで USB 機器または SD カード内の「_ContentsDB」フォルダを削除してください。そのあと、全曲ランダム用リストを作成します。➡ <u>全曲ランダムに再生する (P.195)</u>
全曲ランダム再生で表示された曲が再生できない、またはあるはずの曲が出てこない。	USB 機器や SD カード内のオーディオファイルとリストの情報合っていない。	USB 機器や SD カード内のオーディオファイルを追加、削除した場合は全曲ランダム用リストの更新が必要です。 ➡ <u>全曲ランダム用のリストを更新する (P.196)</u>


困ったとき 故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
WALKMAN® に転送したファイルを再生できない。	転送したファイルの形式が本機に対応していない。	本機に対応している形式のファイルを転送してください。 ➡ 本機で再生できるオーディオ/ビデオフォーマット (P.318)
	x - アプリを使用して転送している。	ドラッグ & ドロップ転送、または Music Center for PC を使用して転送してください。
	著作権保護されたファイルを転送している。	著作権保護されたファイルは再生できません。

Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	認証コードが合っていない。	Bluetooth 機器側の登録を削除して、もう一度 Bluetooth 機器の登録を行ってください。 ➡ Bluetooth 機器を登録する (P.43)
	パスキーが合っていない。	本機に設定したパスキーを確認してください。 ➡ パスキーを変更する (P.233) 初期設定は "0000" です。
	Wi-Fi 機器と電波が干渉している。	Wi-Fi 機能をオフにするか、Wi-Fi 機器を離して操作してください。
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠い。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中、または、他のプロファイルで通信中。	たとえば、電話帳の登録中などには、音声途切れる場合があります。

困ったとき 故障かなと思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ハンズフリー通話の受話 が小さい。	受話音量が小さい。	通話中に 音量 ロータリースイッチ、または  (音量) スイッチで調整してください。通話中以外でもシステム設定の「受話音量」で設定できます。➡ 音量 (P.268)

バックビューモニター★

症状	考えられる原因	対処方法
バックビューモニター映像が 出ない。	シフトレバーが“R”（リバース）の位置に なっていない。	シフトレバーが“R”（リバース）の位置になっているか 確認してください。
バックビューモニター映像の 映りが悪い。	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布等で軽く拭いてください。
	太陽光や後続車のヘッドライトの光が直接 カメラレンズ面に当たっている。	レンズ面に当たっている光が消えれば元に戻ります。
バックビューモニター映像が 暗い。	画面の明るさ等が正しく調整されていない。	画面の明るさ等の調整を行ってください。 ➡ 画面の明るさを調整する (P.27)

★ オプションの装着が必要です。

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

共通

メッセージ	対処
セキュリティコードが違います。 もう一度入力してください。	正しいセキュリティコードを入力してください。セキュリティコードを思い出せない場合は、日産販売会社にご相談ください。
システムの起動ができませんでした。 お買い上げの販売会社にお問い合わせください。	お買い上げの日産販売会社にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は販売会社にお問い合わせください。	
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	
車速パルスに異常があります。 接続を確認してください。 問題が解消されない場合は販売会社にお問い合わせください。	
SD カードのフォーマットができませんでした。	

ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 他の場所に「目的地」「経由地」を設定して、再度ルート探索を行ってください。 ➡ 目的地に設定してルートを探索する (P.96)

VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できる場所に移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

AV (共通)

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。 ➡ 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット (P.318)
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声は再生できません。	音声は再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。

AV(Disc)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。 ➡ 使用できないディスク (P.315)
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。➡ ディスクを取り出せないときは (P.181) それでもディスクが取り出せない場合は、日産販売会社にお問い合わせください。

■ マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自転車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。

GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。



マップマッチング
していない場合



マップマッチング
している場合

■ 内蔵センサーによる測位とは

車速パルスと内蔵のジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

■ 3D センサーについて

内蔵の3D センサーによって、道路傾斜や自転車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。

高さ情報があるのは、高速道路・有料道路/国道/県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしております。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

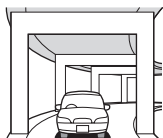
■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

- 1) 次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。

トンネルの中や
ビル内の駐車場



2 層構造の高速
道路の下



高層ビルの群衆地帯



密集した樹木の間



- 2) GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
- 3) 3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

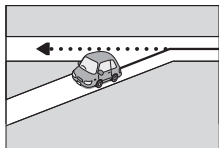
■ GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

- 1) 電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 2) GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

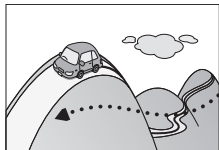
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

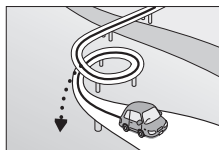
角度の小さいY字路を走行した場合



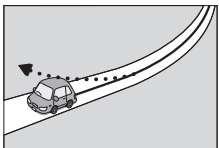
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



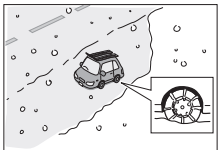
ループ橋などを走行した場合



直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後



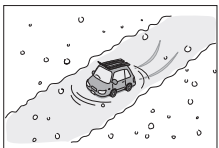
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



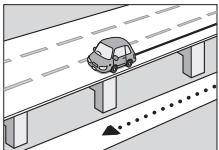
地図データにはない、新設道路を走行した場合



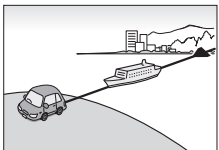
砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合



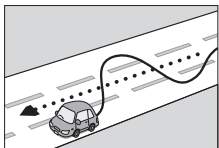
高速道路と側道などが隣接している場合



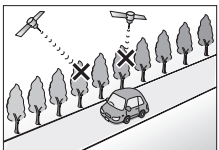
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



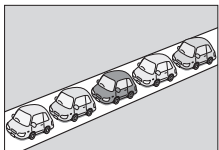
蛇行運転をした場合



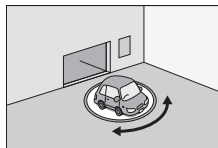
GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合



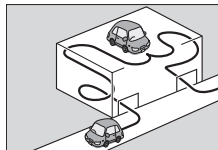
渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



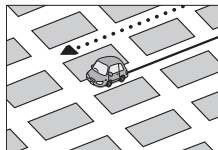
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



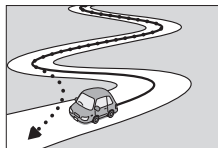
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



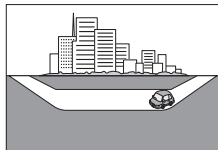
碁盤の目状の道路を走行した場合



ヘアピンカーブが続いた場合



地下駐車場やトンネルなど、GPS衛星による測位が長時間できない場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星について

従来の GPS 衛星からの信号に加え、準天頂衛星からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。
(2016年5月現在、準天頂衛星初号機「みちびき」が稼働中です。現時点では、受信できる時間帯に制限があります。また、季節によって時間帯は異なります。)

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017 一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第 44 条に基づく成果使用承認）**2017年3月発行データ使用**
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1 - No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。（承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分 1 国土基本図を使用した。（承認番号 平 26 情使、第 74 号 - 46 号）
- このデータは、国土地理院の技術資料 C1- No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成 26 年 12 月 10 日撮影）」を利用して作成したものである。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。（承認番号 平 27 情使、第 199 号 - 46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平 27 情使、第 308 号 - 46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の応急復旧対策基図を使用した。（承認番号 平 28 情使、第 1121 号 - 46 号）
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地図情報）及び数値地図（国土基本情報）電子国土基本図（地名情報）を使用した。（承認番号 平 28 情使、第 1122 号 - 46 号）
- 上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。
URL：http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2018_1.pdf

■ 交通規制データについて

本製品に使用している交通規制データは、2017年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。

■ 放送局リストのデータについて

- 放送局リストのデータは2018年1月現在のものです。
- 放送局の開局、廃局、名称変更、周波数（チャンネル）変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

■ 施設情報および個人情報（電話番号）について

- 電話番号検索は、ハローページおよびタウンページのデータを使用しています。
- これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
- 本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。

■ 道路地図データについて

本製品の道路地図データは、2017年3月に一般財団法人日本デジタル道路地図協会から発行された全国デジタル道路地図データベースを使用しています。

■ EV充電スポット情報について

EV充電スポット情報は2017年9月現在のものです。

■ その他

- タウンページデータは、NTT タウンページ株式会社が提供する 2017 年 9 月号のデータを収録しています。
- もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。
- 一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。
- 駐車場データは、2018 年 4 月 1 日まで対応する。但し、2017 年 11 月時点のデータです。
- タイムズデータについては、パーク 24（株）提供リストに準拠し、2017 年 11 月時点のデータです。
- 高速道路（有料道路を含む）料金データは、2017 年 9 月調査で 2018 年 4 月 1 日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車のデータです。

■ 注意事項

- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
- 収録するデータはその正確性を保証するものではありません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
- 本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017（一般財団法人）日本デジタル道路地図協会
©2018 INCREMENT P CORPORATION

■ 本製品をご使用前に必ずお読みください

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVC ケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

■ 使用許諾契約書

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。

2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含めたとに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第 3 条 (許諾条件)

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第 4 条 (許諾ソフトウェアの権利)

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第 5 条 (ライセンサーの免責)

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第 6 条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとしします。

第 7 条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとしします。

第 8 条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとしします。

- (1) 本契約に定める条項に違反したとき
- (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第 9 条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から 2 週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとしします。

第 10 条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。

2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第 12 条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代替りの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

■ ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVC ケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVC ケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。

当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVC ケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

知っておいていただきたいこと ソフトウェア使用許諾契約書

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVC ケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は [情報・設定](#) ▾ — [システム設定](#) — [その他設定](#) — [オープンソースライセンス](#) です。

VICIS サービスの問い合わせ

VICIS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- VICIS 関連商品、VICIS 情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することはお買い上げの日産販売会社へお問い合わせください。
- VICIS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICIS センターへお問い合わせください。(ただし、地図表示の表示内容は除く)

<問い合わせ先>

VICIS センター

電話番号：0570-00-8831

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

電話受付時間：9:30 ~ 17:45 (但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)

FAX 番号 (全国)：03-3562-1719

FAX 受付時間：24 時間

- VICIS の最新情報について

VICIS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。インターネット URL <http://www.vics.or.jp/>

VICIS リンクの更新について

VICIS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICIS リンク (主要交差点毎に道路を区切った単位) というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICIS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。

この結果、新しい VICIS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICIS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICIS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

知識

- VICIS リンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはお買い上げの日産販売会社にご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第147条の規定に基づき、このVICSI情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICSI情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICSI情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICSI サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICSI サービス契約

当センターからVICSIサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICSIサービス契約を締結した者

(4) VICSI デスクランブラー

FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSI サービスの種類)

第4条 VICSI サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

- 第 12 条 1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。
- また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料金

(料金の支払い義務)

- 第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
- なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保守

(当センターの保守管理責任)

- 第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

- 第 15 条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2. 当センターは、前項の規定により VICIS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供する VICIS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

- 第17条
1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICIS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICIS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない日デジタル道路地図上でも、VICIS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
 2. VICIS サービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICIS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICIS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 300 円 (税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人交通情報通信システムセンター(VICIS センター)の技術が用いられています。

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

■ ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	説明
DVD	—	×	—
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	—
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	—
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	—
	フォト CD	×	—
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	—
その他	デュアルディスク	×	—
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます △：一部のみ再生できます ×：再生できません

■再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/Joliet

■使用できないディスク

- 以下のディスクは使用しないでください。



- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていないCD-R/RWは再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。
- レーベル面に印刷ができるディスクを使用するときは、ディスクの説明書や注意書きを確認してください。ディスクによっては取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

■ディスクのご使用上の注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因となります。

■ 本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC*1
最大容量	2GB (SD) /32GB (SDHC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32*2

*1：MMC（MultimediaCard）には対応していません。

*2：この他のファイルシステム（NTFS等）には対応していません。

- SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

■ SD カード使用上のご注意

- miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
- ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
- 本機で使用できない場合は、ファイルシステムが FAT16 または FAT32 であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
- 本機は SD-Audio には対応していません。
- 全ての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
- SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本機で再生できる USB 機器 / WALKMAN®

規格	USB 1.1/USB 2.0* ¹
デバイスクラス	マスストレージクラス (MSC device) * ²
最大消費電流	1A 以下 (USB ケーブル接続時)
ファイルシステム	FAT16/FAT32* ³

*1 : USB3.0 には対応していません。

*2 : 使用する USB デバイスが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。

*3 : この他のファイルシステム (NTFS、exFAT 等) には対応していません。

- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USB メモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

■ USB 機器使用上のご注意

- 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB ハブを介して USB 機器を接続しないでください。
- マルチカードリーダーを使用する場合は、複数のメモリーカードを挿さないでください。
- セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
- USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
- USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
- 全ての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
- USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

知っておいていただきたいこと メディアおよびファイルについて

- 下記の WALKMAN® /USB メモリーには対応していません
 - パーティションが複数あるもの
 - パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
 - セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
 - 全ての WALKMAN®、USB メモリーの動作を保証するものではありません。

■ 本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック		メディア		
		CD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○
	WMA	○	○	○
	AAC	○	○	○
	WAV	○	○	○
	FLAC	○	○	○
	Vorbis	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	○	○

○：再生できます ×：再生できません

■ 著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

■ オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、 HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCMのみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット 数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit	16bit	16bit/24bit
ビットレート	8 ~ 320kbps, VBR	8 ~ 320kbps	8 ~ 320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング 周波数	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz	16k ~ 48kHz
タグ	ID3 タグ ver 1.0/ 1.1/ 2.2/ 2.3/ 2.4 (ID3v2 の非同期化は 非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタ データ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイント ステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再 生可能 DRM/ マルチチャン ネルは非対応	圧縮レベル： 0 ~ 8	-	-

※オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが 650KB 以下のファイルです。

■ ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC			
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC			
ファイルコンテナ	AVI	MP4	M4V	AVI	MP4	FLV	M4V
拡張子	.avi	.mp4	.m4v	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.m4v
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル			
対応音声コーデック	MP3, AAC			MP3, AAC			
最大ピクチャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080			
最大フレームレート	30fps			30fps			
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps			

※ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れを
する可能性があります。

※本機ではファイルサイズが 4GB 以下のビデオファイルが再生できます。

■ ファイル名とフォルダ名

- 本機で表示できる文字：半角英数文字、半角カタカナ、全角文字
- 文字数制限：ファイル名 全角 80 文字 *¹（拡張子は除く）
フォルダ名 全角 80 文字 *¹

ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字
数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

*¹：文字数は 3 バイト換算です。

- 使用できない文字：¥、\、/、:、*、?、”、[、]、|
ファイルには正しく拡張子を付けてください。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

■ ファイル数とフォルダ数の制限

- ディスク
 - 1 フォルダ内の最大ファイル数：999
 - ディスク内の最大フォルダ数：500
 - ディスク内の最大ファイル数：5000
 - フォルダ階層数は、ルートを含めて最大 8 階層となります。
- USB 機器および SD カード
 - 1 フォルダ内の最大ファイル数：9999
 - 1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999
 - フォルダ階層数は、ルートを含めて最大 8 階層となります。ただし、フォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
 - デバイス内の最大フォルダ数と最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

■ 再生する順番について

● ディスク

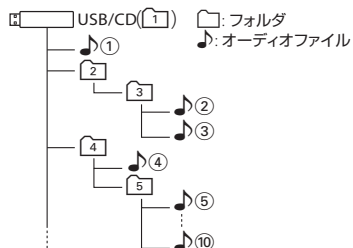
ライティングソフトで書き込まれた順

ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。

● USB 機器および SD カード

ファイル名の昇順

下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



■ ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。

再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP (ver.1.6) (ハンズフリープロファイル)
ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP (ver.1.2) (フォンブックアクセスプロファイル)
電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP (ver.1.3)* (高度オーディオ配信プロファイル)
オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
- AVRCP (ver.1.5) (オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル)
オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP (ver.1.2) (シリアルポートプロファイル)
Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.3.0 準拠

*SCMS-T 対応

(SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。)

■ 対応コーデック

SBC/AAC

ハンズフリーフォンについて

- ハンズフリーフォンを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。
- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- ハンズフリーフォンは付属のマイクを使用して通話します。
安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意になったりしないようにしてください。)

📖 知識

- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

知っておいていただきたいこと Bluetoothについて

- 通話時は通話する相手と交互にお話してください。通話する相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。（故障ではありません。）
- 運転席以外からハンズフリーフォンで通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- 通話中に本機から離れる（無線通信が不可能な状態になる）と通信は終了（切断）されます。
- 本機は、通話アプリケーションに対応していません。スマートフォンなどにおいて、ハンズフリーフォンの発信ができない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信ができないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- Bluetooth 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されています。携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと、音が悪くなったり接続できなくなったりする場合があります。
- ハンズフリーフォンの状態で、携帯電話側での操作はしないでください。誤動作をする場合があります。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAX モード」などの機能を解除してから Bluetooth 接続してください。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、Bluetooth の接続性が低下する場合（発信ができないなど）があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリーフォンの操作を行ってください。
- 携帯電話を車内に放置しないでください。炎天下など、車内が高温となり、故障の原因となります。

■ 本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。

Made for

iPod nano (7th generation)*	iPhone 7 Plus	iPhone 6 Plus
iPod touch (6th generation)	iPhone 7	iPhone 6
iPhone X	iPhone SE	iPhone 5s
iPhone 8 Plus	iPhone 6s Plus	
iPhone 8	iPhone 6s	

*USB 接続のみに対応

※ Lightning® コネクタモデル 音楽再生のみに対応

- 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と表記する場合があります。
- 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。
- iOS および iPod OS のバージョンにより対応状況が変わる場合があります。

■ iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod を接続するときは、別売の iPod 接続ケーブルが必要です。

- 接続ケーブル：iPod/iPhone に付属の Lightning-USB ケーブル
 - ※ Lightning® コネクタモデル 音楽再生のみに対応



「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

「Microsoft」、「Windows」、「Windows NT」、「Windows Media」は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国や地域における登録商標または商標です。

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod nano, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.

本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社 JVC ケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

VICS、VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「Android™」および「Android ロゴ™」、「Google Play™」は Google Inc. の商標または登録商標です。

「WALKMAN®」はソニー株式会社の日本国およびその他の国における登録商標または商標です。

ETC は一般財団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

 **FontAvenue**

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。

「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。

Copyright© 2015 Ubiquitous Corp. All rights reserved.



本製品には株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

ACCESS、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本またはその他の国における商標または登録商標です。

Copyright (c) 2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本製品の一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

**ACCESS**

NetFront® Browser DTV Profile

日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）の compact Wnn を使用しています。

compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2015 All Rights Reserved.

libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■ モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリクス
画面サイズ	7.0V 型ワイド*
使用光源（照明方式）	LED バックライト方式

* 画面サイズの V 型（7.0V 型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

■ ナビゲーション部

受信周波数	1575.42MHz（C/A コード）
受信方式	GPS（+MSAS） & QZSS

■ 地上デジタルチューナー部

受信チャンネル	UHF13～52ch
受信方式	地上デジタルテレビ放送方式（日本）（12セグ / ワンセグ対応）

■ CD 部

S/N 比	75dB
周波数特性	20Hz～20,000kHz
高調波歪み率	0.1%以下（1kHz）

■ ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオ PLL 方式
受信周波数	FM 76.0MHz ~ 99.0MHz (0.1MHz) AM 522kHz ~ 1629kHz (9kHz)
実用感度	FM 10dBuVEMF AM 36dBuVEMF
S/N 比	FM 55dB (DIN AUDIO フィルター使用時) AM 50dB (DIN AUDIO フィルター使用時)
ステレオセパレーション	FM 20dB 以上 (DIN AUDIO フィルター使用時)
歪み率	FM/AM 0.5%

■ 入出力端子

電源入力端子	TH18 専用コネクタ
外部入力端子	TH08 専用コネクタ
GPS アンテナ入力端子	GT5 専用コネクタ
DTV アンテナ入力端子	GT13S 専用コネクタ
ラジオ入力端子	GT13SH 専用コネクタ
マイク入力端子	TH04 専用コネクタ
フロント AUX 入力端子 (MJ118D-W/MJE18D-EV のみ)	Φ 3.5 ミニジャック
USB 端子	GT17 (A) 専用コネクタ

■ その他

電源電圧		13.2V (9V ~ 16V)
最大出力		49W × 4 (16V)
外形寸法	MJ118D-W/ MJE18D-EV	206mm x 106mm x 162mm (幅×高さ×奥行き) *突起部は除く
	MJ118D-A	178mm x 100mm x 162mm (幅×高さ×奥行き) *突起部は除く
質量	MJ118D-W/ MJE18D-EV	2.5kg (本体のみ)
	MJ118D-A	2.4kg (本体のみ)

* 本書に記載の寸法・質量はおよその数値です。

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

■ 保証について

保証期間は、お買い上げ日またはお取付け日から3年です。
ただし、その期間内でも走行距離が60,000 kmまでといたします。
お買い上げの日産販売会社から発行される「日産純正オプション部品保証書」に必要事項が記入されているかお確かめのうえ、お客さまの「車検証入れ」などに入れて大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

本機が正常に動作しないときは、この説明書を再度ご覧になってお調べください。
それでも本機が正常に動作しないときは、お買い上げの日産販売会社にご相談ください。

数字		F		S	
10 キー（電話をかける）.....	241, 248	FM 放送を聞く.....	160	SD カード初期化.....	269
3D ビュー.....	60	G		SD カードの出し入れ.....	189
A		GPS.....	296	SD カードのファイル再生.....	191
AM 放送を聞く.....	160	GPS アンテナの接続状態.....	280	U	
AUX 端子.....	19	I		USB 機器のファイル再生.....	191
AV 設定.....	151	iPod 接続ケーブル.....	325	USB 機器を接続する.....	188
AV メニュー.....	146	iPod を再生する.....	207	V	
B		iPod を接続する（Bluetooth 接続）.....	43	VICS 情報.....	134
Bluetooth オーディオ機器の再生.....	212	iPod を接続する（USB 接続）.....	205	VICS 情報の表示設定.....	143
Bluetooth 機器の登録.....	43	L		VICS 図形 / 文字情報を見る.....	139
Bluetooth 設定.....	232	Language.....	268	W	
Bluetooth 対応プロファイル.....	323	N		WALKMAN® のファイル再生.....	191
C		NaviCon 友達マップ.....	253	WALKMAN® を接続する.....	188
CD の再生.....	182	NaviCon を使用する.....	250	あ	
E		Q		アスペクト（画面表示サイズ）.....	148
E1 Grand Prix のご案内.....	263	Quick メニュー.....	53	案内音声出力時の AV 音量.....	267
ETC レーンの表示設定.....	116	Quick メニュー 設定の変更.....	54	案内音声の音量.....	267
EV 充電スポット		い		イコライザー調整.....	153
ジャンルから探す.....	83	イコライザープリセット.....	152		
周辺施設から探す.....	85				
名称から探す.....	81				

一般道路でのルート案内	103
緯度・経度検索	93
緯度・経度表示設定	69
インターチェンジを変更する	123

え

映像の画面表示サイズ変更	148
エコ運転診断情報	260
エラーメッセージ	293

お

オーディオファイルディスク再生	182
オートリルート	103, 105
オープンスイッチ	18, 20
オプションスイッチ	275
音楽 CD 再生	182
音響効果の設定	156
音声案内について	111

か

画質の調整	147
画面消し (オン/オフ)	28
画面の明るさの調整	27
画面の操作	25, 29
冠水注意ポイント表示	68

き

休憩案内設定	116
--------------	-----

け

携帯電話接続確認案内	235
経由地	120
経由地の順番変更	121
経由地の消去	122
言語設定 (Language)	268
現在位置の修正	73
現在地図画面	49
検索履歴の消去	90

こ

交差点案内図の表示	108
高速道分岐イラストの表示	109
高速道路での逆走報知について	114
高速道路でのルート案内	105
交通情報 (ラジオ)	159
合流案内音声	115
コンパスボタン	49, 60

さ

再生できるディスク	314
再探索 (ルート)	117
最適時間を考慮した探索	102
サウンドの設定	151

サウンドライザー	157
サブプリム	157

し

市街地図の表示設定	68
自車マーク	50
システム情報	278
システムの初期化	269
システムの設定	266
自宅へ帰る	79
自宅を登録	40
自宅を変更する	133
視野角	26
車線 (レーン) 案内音声	115
車速	280
車速パルス	296
シャッフル再生 (iPod)	209
車両のメンテナンス情報の設定	276
ジャンル検索	83
住所検索	88
渋滞情報	135
周辺施設検索	85
受話音量	268
情報設定	258

す

スマート IC を利用した探索	101
-----------------------	-----

せ

セキュリティインジケータ	19, 21, 267
セキュリティコード	272
全曲ランダム再生 (USB/WALKMAN® /SD)	195
全曲ランダム用リスト更新 (USB/WALKMAN® /SD)	196
センサー学習	269, 270

そ

走行軌跡の消去	72
走行軌跡の表示	50, 68
走行軌跡表示を設定	72
操作音の出力設定	269
送話音量	268
ソース切替画面	146
ソースレベル調整	158
ソースをオフにする	150

た

ダイヤル (電話をかける)	248
---------------	-----

ち

地図記号	75
地図更新について	144
地図の縮尺	64
地図表示の設定	67

地図割り込み表示 (AV 時)	116
地図を 2 画面表示	66
地点登録	126
着信音量	268
着信の自動応答	232
チャンネルスキャン (テレビ)	169
駐車場情報	135

て

ディスク挿入口	19, 21
ディスクの出し入れ	180
データ放送を見る (テレビ)	174
デモ走行	125
テレビの設定をする	177
テレビを視聴する	164
電源オン / オフ	24
電話 1 / 電話 2	240
電話帳	245, 246
電話の着信	238
電話番号検索	91
電話をかける	
ダイヤル	248
電話機を選ぶ	240
電話帳	246
履歴	244
ワンタッチ	242

と

統計情報による渋滞	135
到着予想時刻 / 距離	103
盗難多発地点	113, 267
登録機器の消去 (Bluetooth)	231
登録地検索	87
登録地の編集	
グループの編集	130
登録地の消去	132
登録地の編集	128
登録地表示設定	67
特別メモリ地点の登録	126
特別メモリ地点の呼び出し	87
特別メモリ地点の呼び出し (Quick メニュー)	53
時計	50
時計表示の設定	269
トップメニュー画面	31
ドライブレコーダーの映像を見る	226
取扱説明書	3

な

ナビ設定	258
------	-----

に

入力履歴の初期化	269
----------	-----

の		ほ		
ノースアップ	60	ポイントスクロール	61	
は		方面看板	51	
パーキングブレーキ	280	方面看板の表示設定	115	
ハイウェイモード画面	105	ま		
ハイウェイモード画面の表示設定	107	マップコード検索	92	
パスキー	233	マップコード表示設定	69	
バスブースト	157	む		
バックビューモニター	220	無料地図更新	144	
バランス調整	155	め		
番組表を見る (テレビ)	171	名称検索	80	
ハンズフリー通話	236	メッセージ	293	
販売会社 (電話をかける)	237	メンテナンス情報の設定	276	
ふ		も		
フェーダー調整	155	目的地検索	78	
フェリーを利用した探索	101	目的地設定とルート探索	96	
踏切案内音声	115	目的地の削除	122	
フライビューマップ表示	68	目的地の順番変更	121	
プリセットイコライザー	152	目的地表示	118	
フロントパネルの角度調整	26	目的地付近の地図表示	118	
へ		目的地メニュー	78	
ペアリング (Bluetooth)	43	文字の入力	33	
平均走行速度の設定	102	文字の入力 (トグル入力)	35	
ヘディングアップ	60			
			文字の入力 (入力パレット)	34
			ゆ	
			ユーザー切替	264
			ユーザー名の編集	265
			郵便番号検索	94
			ら	
			ラウドネス	157
			ラジオを聞く	160
			ランダム再生	
			Bluetooth オーディオ機器	215
			CD・オーディオファイルディスク	185
			USB 機器・WALKMAN®・SD カードの	
			オーディオファイル	194
			USB 機器・WALKMAN®・SD カードの	
			ビデオファイル	201
			ランドマーク情報の表示	52
			り	
			リアライザー	157
			リダイヤル (電話をかける)	237
			リバース	280
			リバース検出コード	280
			リバース時の AV 音量	269
			リピート再生	
			Bluetooth オーディオ機器	214
			CD・オーディオファイルディスク	185

iPod	209
USB 機器・WALKMAN®・SD カードの オーディオファイル	193
USB 機器・WALKMAN®・SD カードの ビデオファイル	201
履歴から電話をかける	244
履歴検索 (目的地)	89

る

ルート案内音声	115
ルート案内の終了	117
ルート学習	100
ルート学習の初期化	102
ルート消去	117
ルート選択	98
ルート探索方法の設定	98
ルートの再探索	117
ルートの種類	98
ルートの全表示	125

れ

レーン (車線) 情報	50
-------------------	----

わ

ワンタッチダイヤルから電話をかける	242
ワンタッチダイヤルの登録	241
ワンタッチダイヤルの登録を消去	242

MEMO

MEMO

本機は、日産自動車株式会社向けに、株式会社 JVC ケンウッドが
開発・製造しています。
お問い合わせは、下記の「日産自動車株式会社 お客様相談室」へ
お願いいたします。

日産自動車へのご相談は下記をお願いいたします。

お客様相談室

0120-315-232

受付時間：9:00～17:00（年末年始を除く）

お問い合わせ・ご相談内容につきましては、お客様対応や品質向上のために
記録し活用させていただいております。

なお、内容によっては、当社の販売会社等から回答させていただくことが適切と
判断した場合には、必要な範囲で情報を開示し、当該販売会社等からお客様に
ご連絡をとらせていただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
当社における個人情報の取り扱いの詳細については、日産自動車ホームページ
(<http://www.nissan.co.jp>) にて掲載しています。

日産自動車株式会社

〒220-8686 神奈川県横浜市西区高島一丁目1番1号

日産オリジナルナビゲーション 取扱説明書



B5A-2540-00